令和６年度用
内容解説資料

この資料は，一般社団法人教科書協会
「教科書発行者行動規範」に則っております。

アタマとココロを刺激する！
探究を楽しく学べる教科書

学習を深められる 4+1（プラス1）の特色

- 特色1 深くておもしろい！歴史への興味と考える力を育てる，とっておきの日本史
- 特色2 豊富な史資料，要点をおさえた記述で歴史の知識・技能をしっかり身につける！
- 特色3 地域・日本・世界の歴史がつながる！視野が広がる！
- 特色4 歴史を掘り下げ興味を引き出す32テーマの多彩なコラム
- プラス1 38個のQRコンテンツ

内容解説資料は
弊社HPでも
ご覧いただけます
▶▶▶

教授用データの
サンプルも公開中！

高等学校 日本史探究

新視点による日本通史とアジア・世界

35清水／日探 704　B5 判 300 ページ

学びと教育の未来をめざして
清水書院

高等学校日本史探究

新視点による日本通史とアジア・世界

35・清水／日探 704 ／ B5 判／ 300 ページ

新科目「日本史探究」のポイント

科目の特徴

- **各時代の特色を問いや仮説を設定して考察**
  時代の転換を歴史的環境から考察して生徒が問いを表現し，資料を活用して仮説を立てる。
- **諸事象の解釈や歴史の画期を表現**
  主題を設定して，事象の意味や意義，関係性などを考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期を表現する。
- **現代の日本の課題の形成に関わる歴史を探究**
  現代の日本の課題の形成に関わる歴史と展望について，多面的・多角的に考察，構想して表現する。

（文部科学省資料，学習指導要領解説より）

■ 日本史探究のねらい

◉前近代を扱うA ～ Cの学習においては，
・多様な資料を効果的に活用して，歴史を考察し表現する。
・「歴史総合」で育んだ歴史の学び方を活用しつつ，日本史の展開や，日本の伝統・文化への理解を深める。
◉近現代を扱うDの学習においては，
・「歴史総合」で獲得した概念や前近代の学習とのつながり，その中で成長させた歴史を考察する力を活用し，諸事象や，地域と日本・世界との関係性などを整理して構造的に理解する。
・現代の日本の諸課題について多面的・多角的に考察，構想する。

（学習指導要領解説より）

日本史探究の内容

A　原始・古代の日本と東アジア

(1) 黎明期の日本列島と歴史的環境
(2) 歴史資料と原始・古代の展望
(3) 古代の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈，説明，論述）

B　中世の日本と世界

(1) 中世への転換と歴史的環境
(2) 歴史資料と中世の展望
(3) 中世の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈，説明，論述）

C　近世の日本と世界

(1) 近世への転換と歴史的環境
(2) 歴史資料と近世の展望
(3) 近世の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈，説明，論述）

D　近現代の地域・日本と世界

(1) 近代への転換と歴史的環境
(2) 歴史資料と近代の展望
(3) 近現代の地域・日本と世界の画期と構造
(4) 現代の日本の課題の探究

開かれた視点を育む「グローバル・ヒストリー」としての日本史

学習を深められる 4+1（プラス） の特色

特色1 深くておもしろい！歴史への興味と考える力を育てる，とっておきの日本史

- 完全見開き1テーマ。先生・生徒が学習の計画を立てやすい！
- 基本をおさえながらも新視点が満載！新しい日本史が見えてくる
- 具体性のある記述で生徒自身が歴史を解釈し，その実像をつかめる

特色2 豊富な史資料，要点をおさえた記述で歴史の知識・技能をしっかり身につける！

- 日本史の知識を幅広く得ながら探究のスキルをさらに磨く！
- 様々な史資料を活用しながら日本史を深堀りできる！
- 具体的な事例で実践的に歴史研究の手法を学べる！

特色3 地域・日本・世界の歴史がつながる！視野が広がる！

- 日本と世界の歴史をダイナミックに見渡せる編扉
- アジアや世界と連動した日本史が見えてくる！
- ローカル・ヒストリーと結びつく記述で，歴史がもっと近くなる！

特色4 歴史を掘り下げ興味を引き出す32テーマの多彩なコラム

- 本文記述を補完し，多視点・新視点でさらに深める
- 新鮮な驚きと発見が続々！読み物としても楽しめる！

プラス1 視覚的理解が深まる38個のQRコンテンツ

Contents

構成とねらい …… 4
教科書の特色解説 …… 6
副教材 …… 34
デジタルコンテンツ・教材活用一覧 …… 40
教師用指導書 …… 42
デジタル教材 …… 55
執筆者紹介 …… 57
シラバス等各種資料 …… 58

教科書本編の構成とねらいをご紹介

深くておもしろい日本史をよりわかりやすく！

- **完全見開き1テーマ**で学習がしやすい！
- **読みやすさと内容の深みを両立した本文記述**と興味を引く図版を多数掲載した充実の内容
- **前近代を中心に，文字史料には口語訳**を付し，つまずきをなくす工夫
- **文章だけではとらえにくい内容も豊富な視覚資料**で理解を助ける

歴史の知識・探究の技能がしっかり身につく！

- **単元タイトルの問いで焦点を絞って**学習目標を明確に！
- **資料を読み解く手がかりになる「問い」**を随所に配置，答えに導くだけではない**「考える力」**を養う
- **新説**や時代をまたぐ話題を盛り込んだ**「補説」**を随所に配置
- **単元末に「探究しよう」**を配置，考察，対話，討議，発表などに利用できる

▲1 **演説会**　自由民権を主張し，政府批判をする弁士と，中止させようとする警官。（『絵入自由新聞』）

▲2 **板垣退助**　土佐藩の上級武士の出身。戊辰戦争では会津藩の攻略に功があった。

1 元老院の起草した憲法草案は，1880年に「日本国憲按」として完成したが，岩倉具視らの反対で廃案となった。
2 議毀・誹謗の略で，ともに悪口をいうこと。
3 立志社では，西南戦争直前に西郷軍に呼応して挙兵するうごきもあった。しかし，西南戦争が鎮圧されたのちは，言論による自由民権運動に専念するようになった。
4 国会期成同盟第2回大会で各結社が憲法草案をもちよることが決議されると，各結社は**私擬憲法**を作成した。なかでも，植木枝盛（1857～92）の「**東洋大日本国国憲按**」には主権在民・国民の抵抗権などが規定され，千葉卓三郎（1852～83）らの「**五日市憲法**」にも詳細な人権規定があった。

史料　民撰議院設立建白書（「日新真事誌」第一〇六号）

臣等伏シテ方今政権ノ帰スル所ヲ察スルニ，上帝室ニ在ラス，下人民ニ在ラス，而シテ有司ニ帰ス。実ニ二百有余年ノ久シキ，政令百端，朝ニ出テ暮ニ改ム。賞罰愛憎二出ツ。言路壅蔽困苦スルモノ乃チ之ヲ振救スルヲ講求スルニ，唯天下ノ公議ヲ張ルニ在ル而已。天下ノ公議ヲ張ル民撰議院ヲ立ルニ在ル而已。…

口語訳　私どもが聞くんで現在政権がどこにあるかを考えてみると，上は皇室にもなく，下は人民にもなく，ただ上級役人に独占されている。法令が次々に出され，朝出たものが夕方には改正されるというありさまで，政治も私情に左右され，賞罰も愛憎しみによって決められている。言論の道もふさがれており，困難や苦しみを訴えることもできない。私どもは愛国の情をおさえがたく，このような状況を救う道を考えたが，ただ天下の世論を盛んにするしかなく，それには民撰議院を立てる以外にはない。

63 自由民権運動はなぜはじまったのか

国会開設の要求

征韓派の参議らが辞職した征韓論政変後，大久保利通を中心とする政権が成立した。大久保は，同年の1873年に**内務省**を設立して対民衆政策を一手ににぎり，殖産興業政策として製糸・紡績業や農業・牧畜業の育成を進めた。（→p.161）

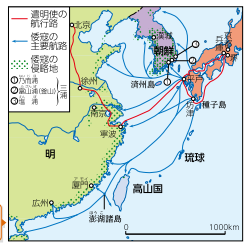
一方，西郷隆盛は，一緒に辞職した陸軍将校らとともに鹿児島へ帰った。西郷をのぞく，**板垣退助**・**後藤象二郎**や江藤新平ら征韓派元参議は，1874年1月に**民撰議院設立建白書**を政府に提出し，新聞でも発表した。これは大久保による専制政府を強く批判し，公議世論の伸張のために民撰議院（国会）の開設を主張するものであった。これ以後，**自由民権運動**が展開することになる。

自由民権運動と士族反乱

高知へ帰った板垣は，同年4月，片岡健吉らと**立志社**を設立した。翌1875年には立志社のよびかけにより，全国各地の反政府的な不平士族が大阪に集まって，**愛国社**を組織した。一方，佐賀に帰った江藤は，不平士族に取り巻かれて，1874年に征韓などを掲げて蜂起した。しかし，政府軍を率いた大久保によって，すぐに鎮圧された（**佐賀の乱**）。

1875年1月，大久保は，板垣，および先に台湾出兵に反対して参議を辞職していた木戸孝允と大阪で会談（**大阪会議**）し，板垣・木戸の政府復帰の代償として，政体改革を約束した。同年4月，**漸次立憲政体樹立の詔**が出された。まず，左院・右院が廃止されて**元老院**[1]が開設されたが，依然として政府の諮問機関にとどまった。また，各府知事・県令などを集めた地方官会議や，最高裁判所としての**大審院**が設置された。その一方，政府は，**新聞紙条例**・**讒謗律**[2]の制定や出版条例の改定をおこない，新聞・雑誌などによる反政府的言論を取り締まった。

▲1 **倭寇**　明朝末期の倭寇のようすを，中国人が描いたもの。（「倭寇図巻」，東京大学史料編纂所蔵）



▲2 **倭寇の侵略地と遣明船航路**

? 倭寇の侵略地はどんな地理的特徴をもつだろうか。

＊勘合

本来は文書の真偽を確認するために，文書におされた割り印を照合することをいい，そこから転じて割り印がおされた文書のことも指した。明の洪武帝は，海路で入国する国の国王に文書としての勘合を発給し，明への入国時に携帯することを義務づけた。したがって，勘合はその使者が国王によって派遣された正式な使者であることを証明するにすぎず，勘合によって倭寇を排除することはできない。

1 天竜寺船派遣について，1341年冬に明州（のちの寧波）に入港，翌年上陸したという史料や，1342年秋に日本を出港した，という史料もある。
2 中世の日本では，奴隷などの人身売買がおこなわれ，彼らも売買の対象となった。
3 倭寇の活動が活発になった背景には，彼らがおもに居住していた対馬・壱岐・五島・松浦などの慢性的な食糧不足があり，また，南北朝の内乱時代でこれらの地域に対する中央政府の統制が不十分であったことなどがある。なお，倭寇は，初期はほとんどが対馬・五島などの日本人で，16世紀以降は武装商人として組織化された中国人が多かったと考えられているが（→p.99），当時の人々の「国籍」を現代的な尺度で決定することはできない。

28 元寇後の東アジアの交流はどのようなものか

東アジアに広がる倭寇の活動

蒙古襲来ののちも，日本と大陸や朝鮮半島との交流は続いた。鎌倉末期には建長寺造営のために貿易船が派遣され，1341年には天竜寺造営の資金を得るために，足利直義が貿易船を元に派遣している。[1] しかし，このころから，元・高麗の衰退に乗じて日本人を中心とする海賊集団が出没し，彼らはその沿岸部などで米穀類を奪い，住民を連行して奴隷とした。[2] こうした日本人主体の海賊集団を**倭寇**[3]といい，その被害は東アジア世界共通の解決すべき課題となっていった。

日明の勘合貿易

1368年，中国では，朱元璋（初代皇帝**洪武帝**）が**明**を建て元を北方に追いやった。洪武帝は日本にたびたび倭寇の禁圧と朝貢を求めてきた。その当時，室町幕府の基礎を固めつつあった足利義満は，明との貿易による利益を求めて，国内でも新たな権威を確立しようとしていた。義満は，1401年に博多商人の肥富や僧祖阿らを明に送り，形式的に明皇帝の臣下となって「日本国王」に任命された（**冊封**）。（→p.21）そして，義満は明皇帝から正式な朝貢の使者であることを証明する**勘合**の発給をうけ，定期的に朝貢することとなった。明への朝貢は1404年にはじまり，その機会ごとに貿易がおこなわれた（**朝貢貿易**・**勘合貿易**）。明は外国船の入港を，冊封した国王たちが派遣する朝貢使の船に限定したため，冊封国は朝貢貿易で異国産の高級品を入手でき，日本側の利益が大きかった。[1]

4代将軍義持は朝貢という形式をきらったこともあって，明と断交したが，貿易の利益を重視した6代将軍義教は，ふたたび冊封を受け入れて日明貿易を復活させた。しかし，応仁・文明の乱ののちは，幕府の

教科書紙面の詳しい紹介は P.6から

教科書

◀3 西南戦争での西郷軍　徴兵令によって集められた政府軍は，近代的な装備と訓練をうけていたが，西郷軍はその政府軍を「農民の軍」と軽蔑していた。（国立国会図書館蔵）

▶4 士族反乱　神風連の乱では旧熊本藩士約190名が参加し，熊本鎮台司令官らを殺害した。これに呼応して福岡県秋月では旧秋月藩士の230名が，山口県萩では前原一誠（1830〜76）ら旧長州藩士数百名が決起したが，いずれも政府軍によってすぐに鎮圧された。

しかし，特権を奪われた士族，とくに倒幕をになった西日本の士族には，政府に対する不満が高まっていた。そして1876年の帯刀禁止令（廃刀令）と家禄の支給打ち切りが引き金となって，熊本で神風連の乱（敬神党の乱）がおこると，これに呼応した秋月の乱や萩の乱などの**士族反乱**があいついだ。さらに，翌1877年には**西郷隆盛**が鹿児島で兵をあげた。しかし，7か月におよぶ激戦のすえ，政府軍によって鎮圧された（**西南戦争**[5]）。この戦争は，最大にして最後の士族反乱であった。

大久保は，西南戦争を鎮圧して，政府の権力基盤を強化したが，翌1878年に不平士族によって暗殺された（紀尾井坂の変）。

国会開設へのうごき

1878年，自然消滅状態にあった愛国社が再興され，翌年の第3回大会で国会開設建議案の作成をよびかける決議がなされると，各地の結社はこれに呼応して請願運動を開始した。1880年3月の愛国社の第4回大会では，**国会期成同盟**[6]が組織された。民権運動の高まりをうけて，政府は，同年4月に**集会条例**を制定して，民権派の言論・集会・結社をきびしく取り締まった。しかし，国会開設へのうごきが収まることはなかった。

自由民権運動をになった結社は，新聞や雑誌を刊行して，自分たちの意見を主張した。演説会が盛んに開かれ，一般の人々が民権家の演説に熱狂した。

当初，自由民権運動をになったのは士族であったが，豪農や豪商など地方有力者も運動に加わるようになり，しだいにその中心になっていった。1878年に設置された府県会に参加することによって，彼らの政治意識がより強化されたことが，その背景にあったと考えられる。

また，このころになると，少数ではあったが，岸田（のち中島）俊子（1863〜1901）や景山（のち福田）英子（1865〜1927）のように，自由民権運動に参加する女性もあらわれ，各地に女性の結社も生まれた。

▶5 岸田俊子　宮中に仕えたのち，民権論や男女同権を説いて人々の注目を集めた。

＜地域の視点＞

◆士族反乱の地域性

「西南雄藩」とよばれるように，江戸幕府を倒した勢力は西日本に多かった。倒幕をになった士族たちは多くの褒賞があたえられると期待していたところ，大部分の士族は褒賞をあたえられるどころか，明治になって士族としての特権を奪われていった。こうして，不平士族による反乱は西日本に多くみられることになった。

5 川上音二郎（1864〜1911）は，流行歌「オッペケペー節」で，「権利幸福きらひな人に自由湯をば飲ませたい」などと歌い，自由民権思想を広めた。
6 景山英子を中心とする岡山女子慈親会のほか，仙台女子自由党，愛甲婦女協会（神奈川）などが，1880年代前半に結成された。これより前，1870年代末に高知県で，のちに「民権ばあさん」とよばれるようになった楠瀬喜多（1833〜1920）は，選挙権がないなら納税の義務もないはずと，税を滞納し，女性参政権を要求した。

探究しよう

❶自由民権運動と士族反乱はどのような関係にあったのか考えてみよう。
❷なぜ士族反乱は西日本の地域で多発したのか考えてみよう。
❸自由民権運動は何をめざす運動だったのかまとめてみよう。

地域の歴史5　近世の蝦夷地とアイヌの人々

アイヌの人々と松前藩

アイヌの人々は，中世末期にはサハリン（樺太），千島，北海道本島から本州の津軽・下北半島にかけて地域ごとにまとまりをもって暮らしていた。江戸時代に入り，徳川家康は1604（慶長9）年に松前氏に独占的な蝦夷地（北海道本島）の支配交易権を保障した。これにより蝦夷地は松前氏を通じて支配されることになった。以後，将軍の代替わりごとに朱印状が出され，その地位は保障された。松前藩は，農業生産に立脚しない藩であり，アイヌ交易や松前・箱館などの港の運営が主たる財源であった。また，国家を形成していなかったアイヌ民族との間では，「撫育」というたてまえで幕府の巡見使や松前藩主に対して「御目見」（ウイマム）の儀式がおこなわれるようになった。

商場知行制とシャクシャインの蜂起

松前氏は，蝦夷地を松前藩の直接支配する和人地とアイヌの人々が居住する蝦夷地に分けた。和人地以外の蝦夷地に和人が自由に行くことは禁じられていた。そして寛永期（1624〜44年）のころから，家臣にアイヌと交易場（商場）で交易する権利を，他大名・家臣にあたえられる知行と同じものとして給付し，家臣はそこで米・酒・漆器などとアイヌ側の毛皮・干鮭などを物々交換して収入を得るようになった（商場知行制）。アイヌの人々は和人たちと間での自由な交易や文化的な接触もできなくなっていった。

▲ 松前の町　松前氏の城下町として，また港町として栄えた。（松前郷土資料館蔵）

1669（寛文9）年には，商場での不公平な交換への不満から，近世最大のアイヌ民族の抵抗といわれるシャクシャインの蜂起がおこった。この蜂起によって広範な地域で交易船の船頭や水夫たちが多数殺害された。シャクシャインは，和睦という松前藩の口実に誘い出されて殺され，蜂起は鎮圧された。

しかし，ほどなく商場での交易も行きづまってきた。18世紀になると藩の財政が悪化し，商人たちが運上金を支払ってこの経営を請け負うようになった（場所請負制）。アイヌは，請負場所での過酷な労働と不正な商取引に苦しみ，1789（寛政元）年にクナシリ・メナシで蜂起した。

ロシアの脅威と蝦夷地の直轄化

18世紀後半から，ロシアが交易を求めて蝦夷地にやってくるようになり，幕府は対応をせまられた。そして，アイヌの人々と蝦夷地を松前藩に任せるという従来のやり方から，幕府の直轄地にしようといううごきがみられるようになった。1802（享和2）年に東蝦夷地を松前藩から取り上げて永久直轄地とした。

▼ アイヌと松前藩主　手をつないで腰をかがめる正式の礼法で藩主に座敷で面会するアイヌの代表者。松前藩は，のちに庭先に場所を変更した。（函館市中央図書館蔵）

▶ アイヌの首長　1789年におきたクナシリ・メナシ地方のアイヌの蜂起で，松前藩に協力して鎮圧にあたったアイヌの首長たちの一人。松前藩主の弟で家老の蠣崎波響が描いた。（函館市中央図書館蔵）

地域・日本・世界のつながりを体感できる！

●要所でアジアや世界との関連を記述し，一国史にとどまらないグローバル・ヒストリーを体感できる

●補説「地域の視点」
ローカル・ヒストリーとのつながりを重視する近現代史に補説を設置

歴史的な見方・考え方が身につく32テーマのコラム

●「もっと知りたい日本史」
史料やエピソードをひもときながら，歴史の新たな側面を探究

●「女性の歴史」
各時代の女性と生き方，取り巻く社会の在り方にスポットを当てる

●「地域の歴史」
北海道・沖縄をはじめとした地域に着目して，歴史を掘り起こす

収録テーマ一覧➡P.29から

目次構成

厳選された105のテーマで日本通史の基礎を多角的に学べる！

日本史Bの
後継科目として
日本通史をしっかり
おさえました。

各編第１章では
時代の転換期を学び，

第２章では
それに基づいて
時代を通観する
問いと仮説を
立てます。

これにより
第３章の学習に
見通しをもって
臨むことができます。

もくじ

序　私たちはなぜ歴史を学ぶのか ―― 6

第１編　原始・古代の日本と東アジア ―― 10

第１章　黎明期の日本列島と歴史的環境
1 日本列島域の旧石器文化とはどのようなものか ―― 12
2 縄文人はどのような暮らしをしていたのか ―― 14
3 弥生人はどのような暮らしをしていたのか ―― 16

第２章　歴史資料と原始・古代の展望 ―― 18

第３章　古代の国家・社会の展開と画期

第１節　古代国家の形成と東アジア
4 倭国は東アジア世界とどうかかわったのか ―― 20
5 前方後円墳は何をあらわしているのか ―― 22
6 ヤマト政権はどのように倭国をまとめていたのか ―― 24
7 飛鳥文化を生み出した背景とは ―― 26
8 律令国家はどのように形成されたのか ―― 28
9 律令体制の仕組みとは ―― 30
10 奈良時代の政治はどのように推移したのか ―― 32
11 天平文化を生み出した背景とは ―― 34
女性の歴史 1　出土資料にみる先史時代の女性 ―― 36
もっと知りたい日本史 1　奈良時代の政治史と木簡 ―― 37

第２節　古代国家の推移と社会の変化
12 律令政治の再建はどのようにおこなわれたのか ―― 38
13 平安初期の文化はどのような国際環境で育まれたのか ―― 40
14 摂関時代の政治はどのように推移したのか ―― 42
15 東アジアの変動と国風文化にはどんな関係があるのか ―― 44
もっと知りたい日本史 2　仏像からみる古代史 ―― 46
もっと知りたい日本史 3　国風文化を生み出した東アジアの変動 ―― 47

【凡例】

●年代は西暦を主体に，年号（元号）を（　）で示した。ただし，おもに世界史にかかわる年代には年号を示していない。改元の年にあたる場合，原則として改元前のできごとは旧年号と新年号を併記し，改元後のできごとは新年号のみとした。また，一世一元の制となった明治時代以降は，１テーマに１か所とした。

●陰暦と西暦との間には，月日にずれがあるが，太陽暦が定められた 1872（明治５）年以前は陰暦の年月日にあわせ，西暦の年はそのときの陰暦の年と大半が重なる年を示した。例えば，日露和親条約の調印は 1855 年２月７日であるが，陰暦では安政元年 12 月 21 日であるため，「1854 年」とした。

●引用した史料は，学習上必要な範囲にとどめた。その際，「前略」「後略」などの表記は省略し，「中略」は「…」で示した。また，原文は，句読点や濁点を付したり，漢字を仮名に改めたり，常用漢字にかえたりした場合がある。おもに近代以前の史料には適宜口語訳も付したが，その際は中略の「…」を省略した。

●歴史理解に必要な人物については，原則としてその初出に生没年を示した。なお，天皇・皇帝は在位年間（院政の上皇はその期間），将軍は在任期間とし，在○○～○○であらわした。天皇の死後，皇后や皇太子が即位せずに政権をにぎることがある（称制）が，その期間は，称制○○～○○と表示した。

●中国の人名・地名の読み方は，日本語の慣用にしたがった。ただし，地名と近代以降の人名には，初出にのみ原語読みを併記した。

●朝鮮の人名については，原則として近代以前は日本語の慣用にしたがい，近代以降は原語読みを基本とし，初出のみ日本語の慣用読みを併記した。朝鮮の地名については，現在もある地名は原語読みにしたがい，それ以外は日本語の慣用読みとした。

●本文で記載した旧国名と江戸時代の藩名については，初出の国名・藩名に該当する現在の都道府県名を付記した。

本書に掲載されている QR コードからは，インターネットを通じて関連する情報にアクセスすることができます。

テーマごとの問いから「主体的・対話的で深い学び」を実践できる

教科書

第２編　中世の日本と世界 ―― 48

第１章　中世への転換と歴史的環境
16 中世社会はどのようにして成立したのか ―― 50
17 国家の武力はだれがになったのか ―― 52
18 中世の国家はどのように形成されたのか ―― 54
19「武者の世」はどのようにしてはじまったのか ―― 56
第２章　歴史資料と中世の展望 ―― 58
第３章　中世の国家・社会の展開と画期
第１節　武家政権の成立と展開
20 鎌倉幕府はどのようにして成立したのか ―― 60
21 鎌倉幕府はどのように勢力を拡大したのか ―― 62
もっと知りたい日本史 4　硫黄の交易にみる東部ユーラシアと日本列島 ―― 64
地域の歴史 1　東国御家人の移住―西遷御家人・北遷御家人 ―― 65
22 鎌倉仏教の特色は何か ―― 66
23 鎌倉文化の特色は何か ―― 68
24 モンゴル（元）はなぜ日本を攻め取れなかったのか ―― 70
25 鎌倉幕府はなぜ滅びたのか ―― 72
第２節　武家政権の変容と中世の社会
26 建武政権はなぜ崩壊したのか ―― 74
27 室町幕府の政治はどのように推移したのか ―― 76
28 元寇後の東アジアの交流はどのようなものか ―― 78
もっと知りたい日本史 5　中世の随筆から読み解く社会と「唐物」 ―― 80
地域の歴史 2　古代・中世の蝦夷地とアイヌ ―― 81
29 一揆はどのようにして生まれ，中世の自治を支えたのか ―― 82
30 中世の産業は民衆生活をどのように豊かにしたのか ―― 84
31 中世の商業・流通はどのようにうごいたのか ―― 86
32 戦国時代はなぜはじまったのか ―― 88
33 戦国大名の領国支配の国際的背景とは ―― 90
34 14 ～ 16 世紀の文化の特色は何か ―― 92
地域の歴史 3　関東の戦国時代―後北条氏による関東統一への道 ―― 94
女性の歴史 2　「戦う」女性たち ―― 95

第３編　近世の日本と世界 ―― 96

第１章　近世への転換と歴史的環境
35 近世初頭の東アジア情勢はどのようなものか ―― 98
36 信長と秀吉はどのようにして天下を統一したのか ―― 100
37 秀吉の政治と対外政策はどのようなものか ―― 102
38 信長・秀吉の時代の文化の特色は何か ―― 104
地域の歴史 4　九州地方と東アジア海域世界 ―― 106
もっと知りたい日本史 6　秀吉の対外政策 ―― 107
第２章　歴史資料と近世の展望 ―― 108
第３章　近世の国家・社会の展開と画期
第１節　幕藩体制の成立と近世の社会
39 幕藩体制はどのようなものか ―― 110
40 江戸時代の社会はどのようなものか ―― 112
41 近世の国際関係はどのように形成されたのか ―― 114
地域の歴史 5　近世の蝦夷地とアイヌの人々 ―― 116
地域の歴史 6　近世の琉球と奄美 ―― 117
42 江戸幕府の政治はどのように推移したのか ―― 118
43 江戸時代の産業はどのように発展したのか ―― 120
44 江戸時代の交通と都市はどのように発達したのか ―― 122
45 儒学と学問はどのように展開したのか ―― 124
46 江戸時代中期までの文化の特色は何か ―― 126

見開き２ページに
１テーマを
配当しています。

様々な角度から
日本史を捉え，
興味・関心を
喚起するコラムも
充実させました。

目次構成

厳選された105のテーマで日本通史の基礎を多角的に学べる！

各時代の政治や社会・文化の動きを一体的に理解できるように構成しています。

時系列にも配慮しながら主題ごとにまとめた構成で歴史の推移を把握しやすくしています。

もっと知りたい日本史 7　近世社会を構成したさまざまな人々 ―― 128
女性の歴史 3　江戸時代の遊女 ―― 129
第２節　幕藩体制の動揺と社会の変化
47 吉宗はどのような政治をおこなったのか ―― 130
48 村と町はどのように姿をかえていったのか ―― 132
49 田沼の政治や寛政の改革は何をめざしたのか ―― 134
50 外国船の接近は幕府にどのような影響をあたえたのか ―― 136
51 幕府・諸藩はどのような改革をおこなったのか ―― 138
52 近世後期の文化の特色は何か ―― 140
53 近世後期の学問と思想はどのように発達したのか ―― 142
もっと知りたい日本史 8　江戸時代の朝幕関係 ―― 144
地域の歴史 7　元禄大地震と大津波 ―― 145

第４編　近現代の地域・日本と世界 ―― 146
第１章　近代への転換と歴史的環境
54 日本はなぜ開国したのか ―― 148
55 開港は国内にどのような影響をあたえたのか ―― 150
56 尊王攘夷運動はどのように展開したのか ―― 152
57 江戸幕府はどのように滅びたのか ―― 154
第２章　歴史資料と近代の展望 ―― 156
第３章　近現代の地域・日本と世界の画期と構造
第１節　近代国家の形成
58 新政府はどのような国家をめざしたのか ―― 158
59 明治政府はどのような経済政策を進めたのか ―― 160
60 明治政府の宗教・文教政策はどのようなものだったのか ―― 162
61 明治初期の対外関係はどのように変化したのか ―― 164
地域の歴史 8　近代の蝦夷地・北海道 ―― 166
地域の歴史 9　近代の琉球・沖縄 ―― 167
62 欧米文化は社会にどのような影響をあたえたのか ―― 168
63 自由民権運動はなぜはじまったのか ―― 170
64 自由民権運動はなぜ衰退したのか ―― 172
65 立憲体制はどのようにして確立したのか ―― 174
66 条約改正はどのようにして達成されたのか ―― 176
67 日清戦争前後の国内政治はどのようなものか ―― 178
68 日清戦争はなぜおきたのか ―― 180
69 日清戦争後の東アジア情勢はどのように推移したのか ―― 182
70 日露戦争はどのような戦争だったのか ―― 184
71 日露戦争後の東アジア情勢はどのように変化したのか ―― 186
72 近代産業はどのように発展したのか ―― 188
73 社会問題に政府はどのように対応したのか ―― 190
74 明治の思想・教育・学問の特色は何か ―― 192
75 明治文化の特色は何か ―― 194
女性の歴史 4　製糸業と工女 ―― 196
もっと知りたい日本史 9　近代漫画の先駆者北沢楽天 ―― 197
第２節　政党政治と大衆社会
76 政党政治はどのように発展したのか―明治から大正へ ―― 198
77 第一次世界大戦に日本はどのようにかかわったのか ―― 200
78 第一次世界大戦は日本にどのような影響をあたえたのか ―― 202
79 第一次世界大戦後の日本外交はどのようなものか ―― 204
80 大正デモクラシーとはどのようなものか ―― 206
81 政党内閣制はどのようにして確立したのか ―― 208
82 大正前後の文化の特徴は何か ―― 210
女性の歴史 5　新しい女 ―― 212
地域の歴史 10　関東大震災 ―― 213

テーマごとの問いから「主体的・対話的で深い学び」を実践できる

教科書

第３節　第二次世界大戦と日本の社会
83 昭和初期の経済不況はどのようなものだったのか ―― 214
84 昭和初期の外交はどのようなものだったのか ―― 216
85 ファシズムはどのようにして台頭したのか ―― 218
86 日本はなぜ国際連盟を脱退したのか ―― 220
87 軍部はどのようにして台頭したのか ―― 222
88 日中戦争の長期化のなかでつくられた戦時体制とは ―― 224
89 第二次世界大戦は日本にどのような影響をあたえたのか ―― 226
90 アジア太平洋戦争はどのように推移したのか ―― 228
91 戦時下の国民生活はどのようなものだったのか ―― 230
92 アジア太平洋戦争はどのようにして終結したのか ―― 232
地域の歴史 11　都市への空襲と模擬原爆投下訓練 ―― 234
もっと知りたい日本史 10　戦時下の植民地と満州 ―― 235
第４節　現代の日本と世界
93 占領政策はどのように進められたのか ―― 236
94 占領下の経済と政治はどのように推移したのか ―― 238
95 戦後の経済政策はどのように転換したのか ―― 240
96 戦後の人々の暮らしはどのようなものか ―― 242
もっと知りたい日本史 11　アジアの解放 ―― 244
地域の歴史 12　復員と引揚げ―舞鶴港 ―― 245
97 冷戦は占領政策にどのような影響をあたえたのか ―― 246
98 独立後の政治はどのように推移したのか ―― 248
99 55 年体制はなぜ成立したのか ―― 250
100 独立後の日米関係はどのように変化したのか ―― 252
地域の歴史 13　沖縄と基地 ―― 254
女性の歴史 6　女性のファッション ―― 255
101 高度経済成長はなぜおきたのか ―― 256
102 高度経済成長は社会にどのような影響をあたえたのか ―― 258
103 55 年体制下の政治はどのように推移したのか ―― 260
104 1990 年代の政治や経済におきた変化とは ―― 262
105 日本はこれからどのような道を歩むのか ―― 264
もっと知りたい日本史 12　『昭和天皇実録』にみる昭和天皇の幼少期 ―― 266
もっと知りたい日本史 13　戦後の文化 ―― 267
第４章　近現代の歴史の画期 ―― 268
第５章　現代の日本の課題の探究 ―― 270

歴代内閣総理大臣 ―― 278
年表 ―― 280
さくいん ―― 292

世界の動きと関連づけながら学習を進めることができます。

第４編第４章では，近現代史を構造的に整理し画期を見出す学習をおこないます。

科目の総まとめとして，現代の課題を歴史的に考察する第４編第５章。

特色 1

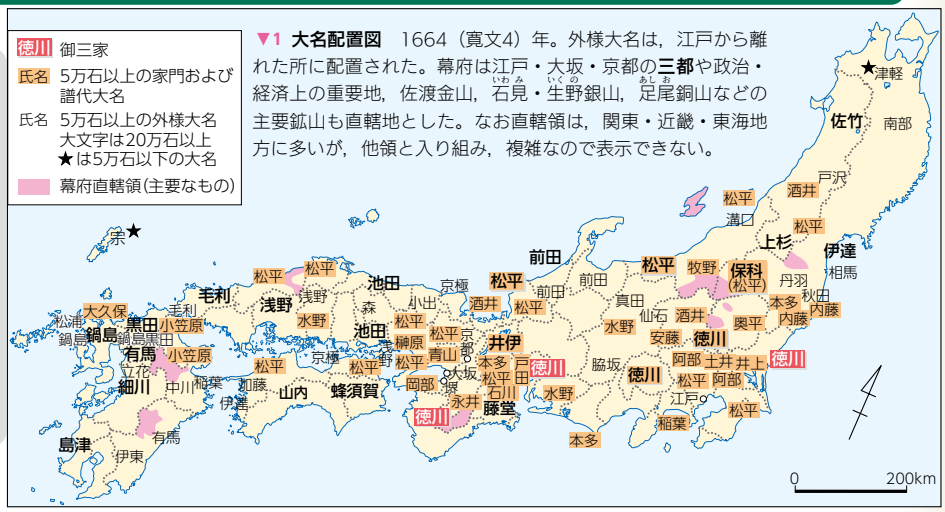
深くておもしろい！ 歴史への興味と考える力を育てる，とっておきの日本史

ユニバーサルデザインに配慮した誰もが見やすい紙面！

第3章 近世の国家・社会の展開と画期

第1節 幕藩体制の成立と近世の社会

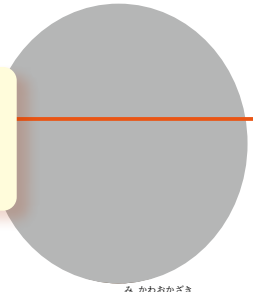
幕藩体制が長期にわたって維持されたのはなぜか



▼1 大名配置図　1664（寛文4）年。外様大名は，江戸から離れた所に配置された。幕府は江戸・大坂・京都の**三都**や政治・経済上の重要地，佐渡金山，石見・生野銀山，足尾銅山などの主要鉱山も直轄地とした。なお直轄領は，関東・近畿・東海地方に多いが，他領と入り組み，複雑なので表示できない。

疑問形のタイトルで学習目標をつかめる！

39 幕藩体制はどのようなものか



▲2 徳川家康　三河岡崎城主の子として生まれた。1590年の秀吉の小田原攻めのあと，関東に移封された。（日光東照宮宝物館蔵）

江戸幕府の成立

1598年の豊臣秀吉の死後，五大老筆頭の**徳川家康**が勢力を拡大し，五奉行の一人石田三成と対立を深めた。そして，1600年，両者は美濃の関ヶ原で激突し，家康が勝利した（**関ヶ原の戦い**）。1603年，家康は征夷大将軍となり，**江戸幕府**を開いたが，2年で将軍職を子の秀忠にゆずり，将軍職を徳川氏が世襲することを示し，自らは大御所として駿府で政治の実権をにぎった。この江戸幕府開設から明治維新までの約260年間を**江戸時代**という。

家康は1614年には大坂城を攻め，翌年，秀吉の子秀頼を自害させ，豊臣氏を攻め滅ぼした（大坂冬の陣，**夏の陣**）。家康は1616年に死去したが，2代**秀忠**，3代**家光**の時代に政権の支配体制が固められた。

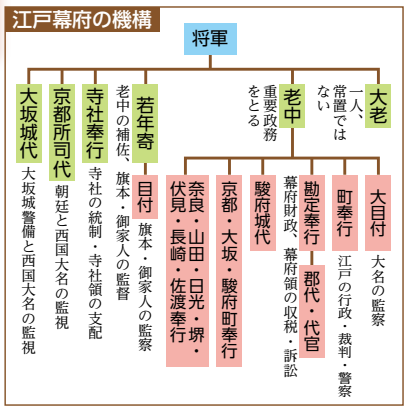
大名の統制

大名が領地を支配する組織を藩[1]とよび，統一政権としての将軍（幕府）と大名によって全国の土地と人民を支配する仕組みを，**幕藩体制**という。将軍の軍事力としては，直属の家臣である**旗本・御家人**[2]がおり，江戸に居住して幕府の軍事・行政を担当した。幕府の支配地は，直轄領（**天領**）と旗本領をあわせると全国総石高の4分の1近くを占めた。

1615年，大坂の陣の直後，幕府は大名を統制するために，**一国一城令**を出して，大名の居城を領内1か所だけに限った。さらに**武家諸法度**を制定し，大名が守るべきことがらを定めた。（→p.108）

授業に役立つ写真・図版・史料を精選！

江戸幕府の機構



完全見開き1テーマ
先生・生徒が学習の計画を立てやすい！

教科書

▶3 **宗門人別改帳**　村・町ごとにつくられ，その檀家の家族や奉公人までもが記載され，戸籍の役割をはたした。

史料 **武家諸法度**（寛永令，『別本諸法度』，一部抜粋）

一、大名・小名、在江戸の交替、相定むる所なり、毎歳夏四月中参勤致すべし、従者の員数、近来甚だ多し、且は国郡の費、且は人民の労なり、向後其相応を以て之を減少すべし、…

寛永十二年亥六月廿一日　（原漢文）

口語訳

一、大小の大名は、その在国と江戸と交互に住むように定める。毎年夏の四月中に参勤すること。そのときに従う家来の数が最近たいへん多い。そのことは領国の出費が増えることであり、また領民の負担の増大ともなる。今後は石高や家格に応じてその人数を減らしなさい。

寛永十二（一六三五）年六月二十一日

▲金地院崇伝が起草し，2代将軍秀忠が発布したのが最初で元和令とよばれる（→p.108）。その後3代将軍家光が条文を加え寛永令として発し，5代将軍綱吉は諸士法度と統合して天和令を制定した。

武家諸法度は，将軍の代替わりごとに出された。3代将軍家光のときには**参勤交代**が義務づけられ，大名は1年おきに国元と江戸の間を往復することになった。

読みやすさと内容の深みを両立した本文

江戸幕府の組織

江戸幕府の中央組織では，まず**老中**が，将軍のもとで重要政務を取り扱った。**若年寄**は，老中を補佐するとともに旗本・御家人に関する政務を取り扱った。**大目付**は大名を監察し，**目付**は旗本・御家人を監察した。このほか，寺社奉行・町奉行・勘定奉行の**三奉行**がおかれ，**寺社奉行**は寺院・神社の統制と寺社領の支配，**町奉行**は江戸の市政，**勘定奉行**は幕府財政と直轄領の支配を担当した。また，これら三奉行や他の管轄にまたがる事項についての合議機関として評定所があった。

地方では，朝廷と西国大名の監視をおこなうために**京都所司代**や**大坂城代**などをおき，堺・長崎・佐渡・奈良などの重要な地域にはそれぞれ**遠国奉行**をおいた。また全国の直轄領には**郡代**・**代官**をおいた。[3]

朝廷と寺社の統制

朝廷に対しては，1615年に**禁中並公家諸法度**（→p.109，144）を制定し，天皇の行動に規制を加えた。また，幕府と天皇の取次役の公家として**武家伝奏**を設け，京都所司代と連携しながら朝廷を監視した。1629（寛永6）年におこった**紫衣事件**[4]（→p.144）をきっかけに，幕府は朝廷への監視制度をさらに整備した。

寺院に対しては，1665（寛文5）年，各宗派に諸宗寺院法度を出して，寺院を本山から末寺にいたるまで組織させた（**本末制度**）。人々はいずれかの寺院に属し，17世紀後半ころには葬儀を通じた寺院（檀那寺）と信徒の家（檀家）との間の半永久的な関係が定着した。また，キリスト教を取り締まる必要から（→p.115）**宗門改め**を実施し，幕府禁制の宗教の信徒でないことを証明するための**宗門人別改帳**（**宗門人別帳**・**宗旨人別帳**）を村・町ごとにつくらせた。こうした仕組みを**寺請**（**寺檀**）**制度**という。神社に対しても1665年に諸社禰宜神主法度を出して統制を加えた。

2 直属家臣で1万石未満の者を直参といい，そのうち将軍に謁見できる者が旗本，できない者が御家人である。

3 幕府の役職には原則的に譜代大名と旗本が就任した。ほとんどの役職が2名以上の定員で，重要事項は合議で決定した。

4 1627（寛永4）年，後水尾天皇（在1596～1680）が幕府の許可なく高僧に紫衣の着用を認めたことは，禁中並公家諸法度に違反するとして，幕府が勅許を無効にした事件で，幕府の法度が天皇の勅許にも優先することを示した。

探究しよう

探究学習を支える実践的な問い

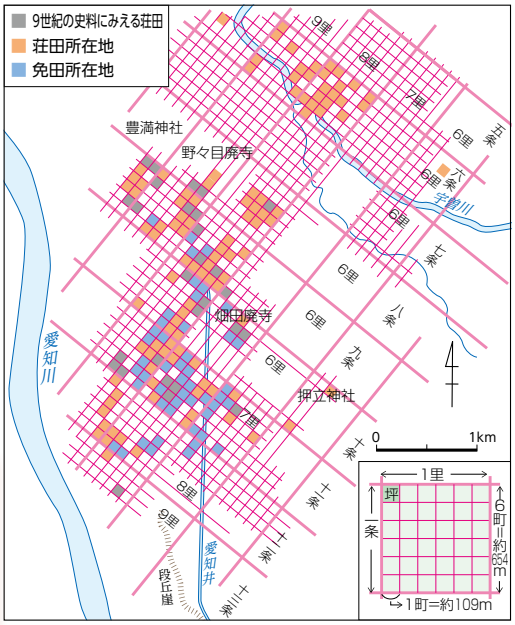
探究しよう

❶江戸幕府が大名や朝廷・寺社をどのように統制したのか説明してみよう。
❷以前の時代の政権とくらべて江戸幕府の組織にどのような特徴があるか考えてみよう。
❸身近な地域が江戸幕府とどのような関係におかれていたのか調べてみよう。

特色 1

深くておもしろい！ 歴史への興味と考える力を育てる，とっておきの日本史

第1章 中世への転換と歴史的環境



◀1 元興寺領近江国（滋賀県）愛智荘の復元図（『荘園を読む・歩く』より） 免田（太政官や国司の認定によって官物や臨時雑役が免除された田）がとびとびに存在している。これらの免田の官物や臨時雑役に相当する額（その一部の場合も多い）は，公家や寺社などの荘園領主の収入となる。荘園領主は，律令に規定された収入に相当するものとして，太政官や国司によって承認された荘園からの収入を受け取った。復元図の土地区画は条里地割で，6町四方で区切り，それぞれ1町四方に細分する。1町四方の区画はさらに10等分された。これらの水田区画の多くは古代までさかのぼり，班田収授に便宜をあたえる役割をはたした。

▶3 紀伊国（和歌山県）桙田荘絵図 もとは崇徳上皇領の荘園で，保元の乱ののちに後白河天皇（→p.56）に引き継がれ，蓮華王院領をへて，1183年には神護寺に寄進され，翌年に荘園として設立する手続きがおこなわれた。この絵図は，約40年後の1223年前後に隣接する荘園との間で，絵図に描かれている静川の水の利用をめぐる激しい争論に際して作成されたとされている（異説もある）。絵図中には牓示（荘園の境界を示す目印）が黒い点で示され，その内部に，鎮守である八幡宮や水田，家，山がひとまとまりになっていることが読み取れる。（京都市，神護寺蔵）

▶2 農民の負担

年貢	名田を単位に課税。ふつうは米で納め，年貢率は収穫のほぼ3割～5割。
公事	荘園内の特産物・手工業製品を納める。
夫役	領主の佃（直営地）の耕作や年貢・公事の運搬，館の整備や土木工事などの雑役に人夫として徴発される労働課役。

16 中世社会はどのようにして成立したのか

古代荘園から中世荘園へ

8世紀に成立した初期荘園（古代荘園）は，班田制度の崩壊とともに，10世紀には経営が不安定化したが，一部は荘園領主の政治的立場をもとに，太政官符・民部省符により租税を免除される**不輸の権**[1]を得て（**官省符荘**），さらに国司が派遣する検田使の立ち入りを拒否できる**不入の権**も獲得した。また，国司が免判を発行して租税の免除を認めることもあった（国免荘）[2]が，これは国司の交代によって収公されることも多く，荘園領主と国司の間でしばしば紛争の原因となった。

10世紀以降，朝廷が地方政治や課税の方針を転換したことにともない，規模の大きな**名**の経営を請け負って勢力をたくわえた，「**大名田堵**」[3]ともよばれる有力な農民があらわれた。*

11世紀になると，盛んに墾田を開発し大規模な農業経営をおこなう，**開発領主**[4]とよばれる層があらわれた。開発領主の一部は，国司による収公をのがれるために，年貢の収納や土地の管理などの権益をもつ**荘官**（預所・下司・公文など）となることを条件に，開発した墾田を権力をもつ中央の貴族・寺社に寄進した（寄進地系荘園）。*

開発領主より荘園の寄進をうけた貴族・寺社は**領家**とよばれた。11

＊負名体制

国司は，律令に定められた諸税のかわりとなる租税を収納するために，国内の土地を名に編成し，田堵とよばれる有力農民に名の経営を認め，その一方で租税納入の責任を負わせた。そうした田堵のことを負名といい，税の納入を田堵に請け負わせる体制は**負名体制**とよばれた。

1 免除された租税に相当するものが，荘園領主の収入となった。
2 国司が特定の土地の租税を免除する権限を使って不輸の権を得た荘園。代々の国司ごとに認定をうける手続きをとった。
3 11世紀に著されたとされる『新猿楽記』には，架空の人物ではあるが，大名田堵の実例として田中豊益という人物の農業経営が描かれている。

明確なねらいを示して内容を焦点化

問い（タイトル）に対し，焦点を絞って記述。一つのテーマの中でおさえるべきポイントを明確にしています。

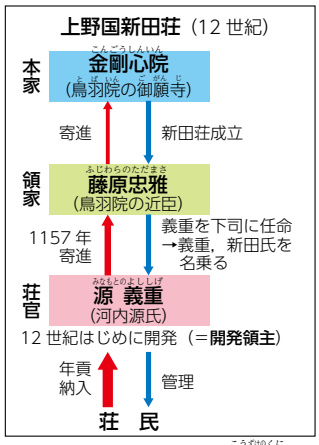
多角的に歴史の実相を解き明かし，生徒の興味を引き出す

一つ一つの事象を丁寧に解説。多角的な歴史叙述で主体的な学びの糸口としても役立ちます。

基本をおさえながらも新視点が満載！
新しい日本史が見えてくる

教科書

図1と図3を見比べて，両者にどのような違いがあるかまとめよう。



▲4 荘園の寄進（概念図） 上野国（群馬県）新田荘の例。

世紀後半になると，領家が荘園の権利をより安定させるため，さらに上級の貴族（権門勢家）や寺社に寄進する場合もあり，その寄進先は**本家**とよばれた。

領域型荘園と寺社の役割

11 世紀前半までの荘園は，官省符や国司の免判によって租税を免除された土地（免田）の集合体にすぎず，それらの土地の耕作者は，公領の田堵であった。また，各国とも公領にくらべて荘園の比率は低かった。

11 世紀後半以降，荘園のあり方は変化し，田畠だけではなく山野河川を含む領域型荘園が広く出現し，その荘園内部に新しい村落が形成されるようになる。一方で，国司は墾田の一部を公領（国衙領）に組み入れ，国内の公領を律令制のもとでの郡・郷から，開発領主の経営する領域にもとづき新たに郡・郷・保などの単位に再編成して[5]，開発領主たちを郷司・保司に任命して徴税を請け負わせた。この変化のなかで，朝廷は荘園・公領を問わず，国司による臨時の徴税賦課（一国平均役）を確保しようと荘園整理令を発した。税目も官物・臨時雑役から年貢・公事・夫役といったものにかわっていった。

こうして，律令制で設定された「国」のもとで，律令制の郡－郷にかわって，荘園と公領が中世の地域社会の基本単位となった（**荘園公領制**）。領域をもつ荘園の間ではしばしば境界紛争が生じ，その解決には武力が必要とされ，武士が荘園に権益をもったり，荘官となるきっかけとなるとともに，現地の側でも荘園領主による調停を必要とした。荘園現地には中央の有力寺社の末寺末社が設置され，地域の中心となった。荘園公領制は，変質しながら 16 世紀の太閤検地まで続くことになる。（→ p.102）

＊「寄進地系荘園」「免田型荘園」「領域型荘園」

摂関期の荘園も中世の荘園もどちらも寄進によって成立しており，この点に着目して「寄進地系荘園」とよばれてきた。しかし，近年の研究では，両者の現地のあり方が大きく異なっていることから，前者を「免田型荘園」，後者を「領域型荘園」と区別することが一般的である。

4 開発領主には，都からやってきて土着した中下級貴族（武士など）や僧侶が多い。

5 この再編成により，律令制下での郡と中世の「郡」は性格が異なるものとなった。公領といっても，知行国主や在庁官人の私領化していった。

探究しよう

❶10世紀以降，地方でおこった開発のうごきを説明してみよう。

❷荘園の租税が免除される仕組みを説明してみよう。

❸荘園の租税を免除したことに対して，朝廷はどのようなことをおこなったか，説明してみよう。

新説や時代をまたぐ話題を盛り込んだ「補説」でさらに深める！

本文よりも踏み込んだ記述で理解と興味がさらに深まり，歴史のおもしろさを体感できます。

具体的な問いをもとに思考力・判断力・表現力を養う

実際の探究活動を想定した問い・作業指示で取り組みやすく，日常の授業でも活用いただけます。

特色 1

深くておもしろい！ 歴史への興味と考える力を育てる，とっておきの日本史

▲1 **桜田門外の変**　水戸藩を脱藩した浪士の一部が，江戸城に向かう途中の籠に乗った井伊大老を暗殺した。（茨城県立図書館蔵）

▲2 **横浜本町通りのにぎわい**　横浜村の住民をすべて移転させ，税を徴収する幕府の運上所を境として，東側に外国人居留地，西側に日本人商人町がわずか数か月でつくられた。幕府は横浜への出店を募ったがふるわなかったので，三井などに出店を強制した。左角には三井の店がみえる。（横浜開港資料館蔵）

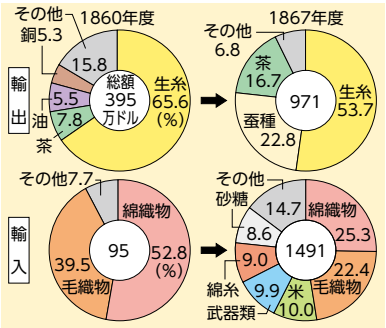
図版の解説も詳しい！

1 13代将軍家定の継嗣問題において，一橋慶喜をおしていたグループの便宜的呼称。徳川慶福をおすグループを南紀派とよぶ。

2 1858年，無勅許条約に抗議した一橋派大名に謹慎を命じたことからはじまった幕府の弾圧。翌年まで続き，処罰者は100名以上。**橋本左内**（1834～59）・吉田松陰・梅田雲浜（1815～59）・頼三樹三郎（1825～59）らが処刑された。

3 日米修好通商条約では，東海道の宿場町である神奈川を開港することになっていたが，幕府は外国人の管理や防衛もしやすい横浜村を開港地とし，新たに港や町を建設した。

▼3 **横浜港における輸出入品割合**　当初は輸出額が輸入額を上回っていたが，1866年の改税約書で輸入関税が引き下げられたことで，輸入額と輸出額が逆転した。（『増訂港都横浜の誕生』）



55 開港は国内にどのような影響をあたえたのか

将軍継嗣問題

ペリー来航直後に13代将軍に就任した徳川家定（在1853～58）には継嗣（後継ぎ）がいなかったため養子をとる必要があった。親藩（福井藩主の**松平慶永**（1828～90）など）・外様大名（**島津斉彬**・**山内豊信**（→p.139）など）や一部の幕臣（川路聖謨（1801～68）・岩瀬忠震（1818～61）など）は，御三家の水戸藩主徳川斉昭（→p.139）の実子である一橋家当主（→p.130）**徳川慶喜**（1837～1913）を継嗣におし，譜代中心で政治をおこなおうとする幕府に対して改革をうながそうとした（**一橋派**[1]）。しかし，1858年4月，譜代大名筆頭の井伊直弼（安政5）が大老に就任し，彼らのおす，将軍と血統の近い紀伊藩主徳川慶福（1846～66）（のちの**家茂**）が継嗣にむかえられた。

安政の大獄

幕府は条約勅許を得ようと朝廷への工作をおこなったが，一方，一橋派は慶喜を継嗣に推挙してもらおうと，朝廷と接近した。朝廷は水戸藩に対して無勅許条約を調印した幕府を責める**戊午の密勅**を発した。井伊大老は，これを幕政批判として，それらにかかわった大名や藩士，公卿などを前例のないほど大規模に処罰した（**安政の大獄**[2]）。しかし1860年3月（安政7・万延元），井伊は江戸城の桜田門外で水戸藩浪士らに暗殺された（**桜田門外の変**）。

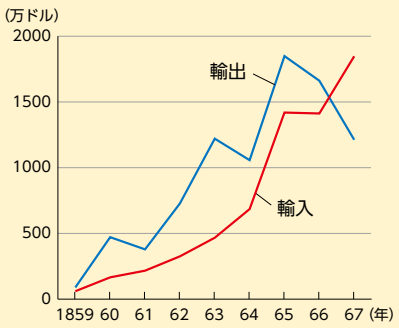
井伊の後を継いだ老中**安藤信正**（1819～71）と久世広周（1819～64）は，幕府の強硬な態度を改めて，朝廷と幕府の宥和政治（**公武合体策**）を進め，孝明天皇の妹和宮（1846～77）を将軍家茂（在1858～66）のもとに嫁がせることに成功した。一方で幕府は，その交換条件として，将来，攘夷を実行することを朝廷に約束した。しかし，1862年1月（文久2），安藤は**和宮降嫁**に憤激する尊王攘夷派浪士に襲撃されて失脚した（**坂下門外の変**）。こうして幕府の権威はますます失墜した。

事件の歴史的意義が読み取れる！

出来事の羅列ではなく，その背景，意義，影響をしっかり記述。暗記でなく，歴史を解釈して理解することを促します。

具体性のある記述で生徒自身が歴史を解釈し，その実像をつかめる

教科書



▲4 輸出入額の変遷（『幕末貿易史の研究』）

▶5 物価騰貴を風刺する錦絵　瓜ごとにさまざまな商品名が書かれている。（国文学研究資料館蔵）

▲6 安政小判（左）と万延小判（日本銀行貨幣博物館蔵）

貿易の開始とその影響

1859年（安政6）6月，**横浜**[3]・長崎・箱館で自由貿易がはじまった。日本の輸出品は**生糸**・茶・蚕種（**蚕卵紙**[4]）などがおもで，輸入品には綿織物・毛織物のほか武器・艦船・金属（鉛・錫・鉄）などが多かった。最大の貿易相手国はイギリスで，アメリカ・フランスがこれに次いだ。

生糸の輸出量の増加は，製糸業のマニュファクチュア（工場制手工業）の発達をうながしたが，国内での品不足を引きおこした。また在郷商人が直接横浜に出荷したため，これまでの江戸の問屋商人を介した流通システムが解体した。このため，幕府は1860年に**五品江戸廻送令**を出し，雑穀・水油・蠟・呉服・生糸を産地から江戸へ送ることを命じたが，あまり効果はなかった。

国内の消費物資の欠乏，金貨の国外流出[5]，**万延改鋳**による貨幣市場の混乱，幕府・諸藩の米の買い占めは，物価の高騰を招き，庶民や下級武士の生活を圧迫した。各地で百姓一揆や打ちこわしが続いていたが，下級武士の中にはその原因を開国に求め，幕府への不満をあらわすとともに，攘夷と称して，外国と取り引きする商人への襲撃事件をおこす者もあらわれた。アメリカ公使の通訳官であった**ヒュースケン**（1832～61）が惨殺されたり，イギリス仮公使館である東禅寺が二度にわたって襲撃されたりした（**東禅寺事件**）。

尊王攘夷論

『大日本史』編纂のなかから生まれた**水戸学**では，**藤田幽谷**（1774～1826）・**東湖**（1806～55）親子や**会沢安**（1782～1863）（**正志斎**）が，尊王論に外国勢力を排除しようとする攘夷論を結びつけた**尊王攘夷論**を説いた。攘夷論者である**吉田松陰**（1830～59）は，敵国研究のためにアメリカへの密航を企て，失敗後は**松下村塾**で多くの長州藩士を教育した。尊王攘夷論は，実際に外国人が日本に入ってきたことによって，狂信的な政治運動と結びつき，幕末の政治に大きな影響をあたえた。

丁寧な側注で背景や複雑な事象もよくわかる！

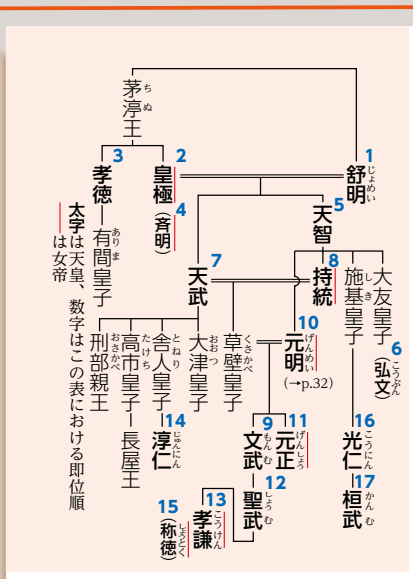
4 蛾を紙に載せて卵を生みつけさせたもの。1860年代，ヨーロッパで蚕の病気が流行したため，日本からヨーロッパへの輸出が増大した。
5 「一分銀」を小判（金貨）と交換すると，金銀交換比率は1対5となった。外国では1対15であったため，外国人は大量の銀貨（メキシコドル）を「一分銀」に交換し，さらに小判などの金貨と交換し，国外へともち出した。このため，幕府は**万延小判**など質の低い金貨を大量に発行して対応したが，はげしいインフレーションを招くこととなった。

探究しよう

❶開港によって，日本の政治・経済はどのような影響をうけたのか考えてみよう。
❷日本人は外国人に対してどのような感情をもっていたのか考えてみよう。
❸開港場とは，どんな場所だったのか調べてみよう。

特色 2

豊富な史資料，要点をおさえた記述で歴史の知識・技能をしっかり身につける！



▲1 **皇室系図(1)**　大友皇子は，明治時代に「弘文天皇」とされた。

史料　改新の詔（『日本書紀』）

其の一に曰く、昔在の天皇等の立てたまへる子代の民、処々の屯倉、及び別には臣・連・伴造・国造・村首の所有る所の部曲の民、処々の田荘を罷めよ。

其の二に曰く、初めて京師を修め、畿内・国司・郡司・関塞・斥候・防人・駅馬・伝馬を置き、及び鈴契を造り、山河を定めよ。

其の三に曰く、初めて戸籍・計帳・班田収授の法を造れ。

其の四に曰く、旧の賦役を罷めて、田の調を行へ。

（原漢文）

口語訳

一、昔から天皇が設置された子代の民や各地の屯倉（皇室の私有民・私有地）、ことに臣・連・伴造・国造・村首ら諸豪族のもっている部曲や各地の田荘（豪族の私有民・私有地）は廃止せよ。

二、はじめて都の制をつくり、畿内・国司・郡司や関所・斥候（北辺守備の人）・防人（西海防備の人）・駅馬・伝馬をおき、駅鈴や関所の木契を造り、山河によって区画を定めよ。

三、はじめて戸籍・計帳・班田収授の法をつくれ。

四、今までの力役の税制をやめて、田にかける調の税制を施行せよ。

文字史料も充実

前近代のほとんどの史料は口語訳を付し，つまずきがちな読解の助けとしています。

＊「改新の詔」の信憑性

『日本書紀』掲載の「改新の詔」は，大宝令（→p.30）の知識で書き直された部分がある。例えば，「国－郡－里」制がめざされているが，木簡によれば，「国－評－五十戸」制と考えられる。改変をどの程度とみるのか，大化改新の評価とかかわって議論がある。

8 律令国家はどのように形成されたのか

大化改新

618年に隋が滅び，628年に**唐**が中国大陸を再統一すると，唐は次々と周辺諸国を侵略していった。朝鮮半島の高句麗・百済・新羅では危機感が強まり，640年代に政治権力の集中化をめざして政変があいついだ。

これは倭国にも波及し，643年に山背大兄王（厩戸皇子の子）が**蘇我入鹿**（？～643）らに滅ぼされ，645年には入鹿とその父**蝦夷**（？～645）も**中大兄皇子**（626～671）・**中臣鎌足**（614～669）（のち藤原）らに倒された（**乙巳の変**）。皇極天皇は譲位し，弟の**孝徳天皇**（在642～645）が即位して新政権[1]が発足すると，大化の年号を定め，都を飛鳥から難波に移した。翌646年正月，「**改新の詔**」＊を発して，部民や屯倉などを廃止し，公地公民をめざす施政方針を示した。その後，冠位制の2度の改定を通じて，官人をよりきめ細かく把握するとともに，巨大な**難波長柄豊碕宮**の造営をおこなった。これら孝徳朝の一連の政治改革を**大化改新**とよぶ。

百済救援戦争

孝徳の死後，都は飛鳥にもどり，皇極が斉明天皇（在655～661）として再即位（重祚）した。斉明は飛鳥を大整備する一方，阿倍比羅夫（？～？）を東北地方に派遣して支配地の拡大をめざした[2]。

660年，百済が唐・新羅の攻撃をうけて滅亡すると，百済の復興をめざす鬼室福信（？～663）らの要請をうけて，斉明は朝鮮半島へ救援軍を送ることを決意した。遠征先の九州で斉明は死去するが，中大兄皇子の主導で救援軍が派遣され，663年に**白村江の戦い**で大敗した。唐・新羅軍の侵攻に備えて，西日本各地の防備を固め[3]，667年にはより内陸の**近江大津宮**に都が移された。

1 中大兄皇子は皇太子，阿倍内麻呂は左大臣，蘇我倉山田石川麻呂は右大臣，中臣鎌足は内臣となり，唐から帰った旻と高向玄理は政治顧問の国博士となった。

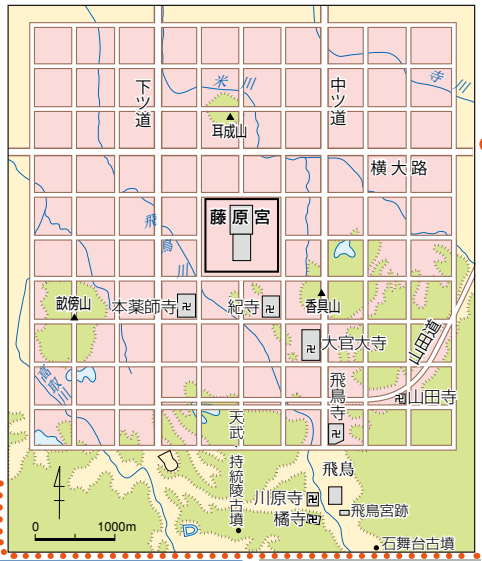
2 すでに孝徳朝に，日本海側の拠点として，渟足柵・磐舟柵（→p.38）がおかれていた。なお，阿倍比羅夫の派遣は，緊迫する東アジア情勢のなか，日本海経由で高句麗との連絡ルートを確保するねらいもあったとされる。

◀2 **難波長柄豊碕宮の復元図**（大阪市教育委員会提供）

日本史の知識を幅広く得ながら
探究のスキルをさらに磨く！

▶3 **水城と大野城**　水城は全長1km以上におよぶ。664年築。大野城は朝鮮式山城で，665年築。（九州歴史資料館提供）

? 水城・大野城の立地から何が読み取れるだろうか。



▶4 **藤原京復元図**　かつて藤原京は，横大路・中ツ道・下ツ道・山田道で囲まれた東西約2.1km，南北約3.2kmの範囲と考えられてきたが，現在は東西10坊，南北10条の約5.3km四方とする説が有力。藤原宮は京域の中央に位置し，同時代の新羅の王京（慶州）と類似する。近年では，中国南朝の都であった建康城（現在の南京）の影響も指摘されている。

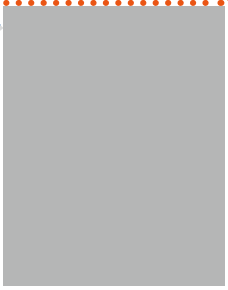
視覚資料も豊富に掲載

文章だけでは捉えにくい内容も，地図や絵を用いて理解を助けます。

中大兄は，668年に7年間の称制[4]をへて即位し（**天智天皇**），670年には全国を対象とした初の戸籍（**庚午年籍**）[5]をつくり，律令の制定をめざした[6]。

（称制661～668，在668～671）

? なぜ山田寺の本尊が興福寺に残されているのだろうか。



▲5 **興福寺の仏頭**　蘇我倉山田石川麻呂の建立した山田寺の本尊。685年に開眼供養がおこなわれた。（奈良県，興福寺蔵）

壬申の乱と天武・持統朝

668年に高句麗が滅びると，唐との関係が悪化した新羅は，倭国に急速に歩み寄ってきた。

こうしたなか，672年，天智天皇の弟である**大海人皇子**（？～686）と，子である**大友皇子**（648～672）との間で，皇位継承をめぐる内乱がおきた（**壬申の乱**）。これに勝利した大海人は，**飛鳥浄御原宮**で即位し（**天武天皇**，在673～686），天皇中心の中央集権国家の建設をめざした。その際，唐と国交が断絶していたこともあり，倭国に頻繁に使節を派遣してきた新羅や，百済・高句麗からの亡命者の知識をおもに活用した。681年，律令・歴史書の編纂を開始し，684年には**八色の姓**[7]を制定して，豪族の身分序列を再編した。（→p.34）**藤原京**の建設にも着手し，倭国初となる銅銭（富本銭）を鋳造した。

必要十分な用語を歴史の文脈の中で理解できる

本文では語句の意味をきちんと理解できるよう記述。細かな用語は側注で補いました。さくいん語数は約2900。

天武が死去すると，その皇后が称制し，689年に飛鳥浄御原令[8]を施行した。翌690年に即位すると（**持統天皇**，称制686～689，在690～697），20年ぶりに戸籍（**庚寅年籍**）を作成し，694年には藤原京へ遷都した。藤原京は碁盤目状に区画した条坊制を備えた都城で，藤原宮の主要な建物には瓦が葺かれた。

白鳳文化の形成

7世紀後半から8世紀初頭にかけて，大化改新から藤原京の時代までの文化を，**白鳳文化**とよぶ。中国の南北朝時代の文化の影響もなお残されていたが，一方で新たな唐初期の文化が取り入れられ，力強く清新な文化が形成された。**大官大寺**・**薬師寺**（本薬師寺）などの大規模な官寺が建設され，中央・地方の豪族たちの氏寺も多数造営された。仏像彫刻では**興福寺の仏頭**，絵画では**法隆寺金堂壁画**（1949年焼失），**高松塚古墳壁画**，キトラ古墳壁画が代表的である。和歌や漢詩も盛んにつくられた。

3 九州に防人・烽火をおき，大宰府の北側に水城，西日本各地に**朝鮮式山城**を築いた。

4 即位前の皇太子や皇后が天皇の代行をすること。

5 氏姓を正す根本台帳として永久保存とされた。

6 近江令が制定されたようであるが，体系的な法典なのか議論がある。

7 真人・朝臣・宿禰・忌寸・道師・臣・連・稲置。

8 浄御原律は完成しなかったとする説が有力。

探究しよう

❶「改新の詔」の具体的な内容を整理してみよう。

❷なぜ何度も遷都がおこなわれたのか考えてみよう。

❸1世紀から7世紀までの東アジア情勢と倭国の国家形成との関係を考えてみよう。

特色 2

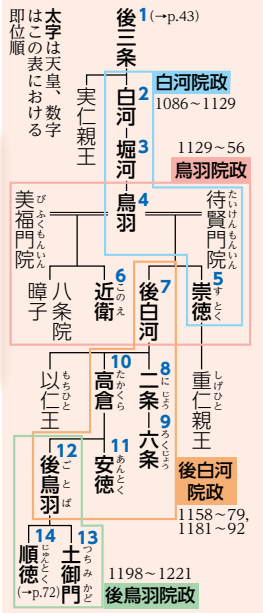
豊富な史資料，要点をおさえた記述で歴史の知識・技能をしっかり身につける！

多様な史資料から歴史に迫れる

写真や地図，模式図，系図など資料の種類も豊富に掲載。立体的な歴史像をつかむことができます。

図に対するクエスチョンから探究できる

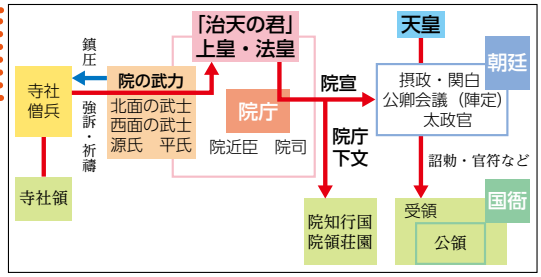
授業の導入や議論・論述の手がかりにもなる問いを随所に置きました。



▲1 皇室系図（2）

◀2 **南都の僧兵による強訴**　南都とは奈良の興福寺・東大寺，北嶺は比叡山の延暦寺を指した。いずれも当時の世俗的な寺社勢力の象徴であった。図は興福寺の僧兵が朝廷の使者に強訴しているところ。強訴のとき，このように武装し，袈裟で頭と顔を包んで目だけを出した僧兵が，大衆（衆徒）の中心として活躍した。（「天狗草紙」模本，東京国立博物館蔵）

？ 院の権力がどのような位置を占めるかまとめてみよう。



▶3 **院政構造図**　院とは，本来は上皇などの御所を指すが，転じて，上皇自身を指す言葉として用いられた。院におかれた家政機関を院庁とよぶ。

18 中世の国家はどのように形成されたのか

院政のはじまり

藤原頼通との外戚関係にない**後三条天皇**は，摂関家も例外とせずに荘園を整理[1]するなどして，天皇を中心とする国政改革を進めた。次の白河天皇（在1072～86）は，父の後三条が皇太子に指名した異母弟（実仁）の死去を機として，1086年に幼少の息子に皇位をゆずり（堀河天皇（在1086～1107））（1071～85），自分の子孫に皇位を継承させるために，**院政**を開始した。摂関政治が天皇との外戚関係にもとづく政治で，そのために外戚によって皇位が左右されることがあったのに対して，院政とは，上皇（退位した天皇）が天皇との父子（あるいは祖父と孫）関係によって天皇の統治権を掌握[2]しておこなう政治である。院政をおこなう上皇を「**治天の君**」という。

院政は，実務に長けた下級貴族や受領層などを近臣として権力基盤に取りこんだ。また，北面の武士を設けて御所の警備にあてた。あくまで国政の中心は太政官だったが，実際には**院宣**や**院庁下文**が重要な命令となり，太政官や諸国の受領をうごかした。院政は，自らののぞむ皇子への皇位継承を目的にはじまり，独自の権力基盤を築いた白河上皇（院政1086～1129）以後，鳥羽（院政1129～56）・後白河（院政1158～79, 1181～92）の3人の治天の君が政治を左右した約100年間を**院政時代**とよぶ。

中世荘園の成立

荘園の多くは，「本家－領家－下司」という重層的な支配と荘園からの収入（「職」[3]）を獲得・配分する系列にまとまった。12世紀にこのような重層的な土地支配体制が確立してくると，その頂点となるのは，国政に影響力をもち，受領に命

1 これを**延久の荘園整理令**という。このとき，**記録荘園券契所**を設置し，一定の基準に満たない荘園は，停止して収公した。また，藤原氏出身ではない大江匡房（1041～1111）などの有能な実務官人を登用した。

2 院政と摂関家とを対立的にみる見方がかつては主流だったが，白河上皇は摂関家とも協調しており，院政時代には，摂関家は外戚関係とは関係なく摂関の地位を父子間で継承する家として確立した。

3 下司職のように職務と得分の取得権が一体となったものを「職」といったので，この仕組みを「職の体系」とよんでいる（→p.51図4）。

4 「○○院」という院号をあたえられた女性で，上皇と同じ待遇である。藤原道長の姉で，一条天皇の生母であった藤原詮子（東三条院，961～1001）が初例で，院政期以降，天皇の母や后妃，皇女に女院号があたえられるようになった。

様々な史資料を活用しながら日本史を深堀りできる！

教科書

史料 独占禁止法改正の経緯（平成八年度公正取引委員会年次報告）

持株会社については、昭和二十二年の独占禁止法の制定以来、…その設立・転化が全面的に禁止されてきた。しかし、…経済界を中心にこれまで数次にわたりその規制を緩和すべきとの要請が行われてきたほか、最近においては、企業活動のグローバル化、我が国経済における産業の空洞化の懸念といった内外の諸情勢の変化を背景として、規制緩和を推進する観点から規制の在り方を見直すべきとの主張がなされていた。

史料 持株会社の解体（「持株会社ノ解体ニ関スル覚書」抜粋、一九四五年）

三　日本帝国政府ハ…、三井本社、安田保善社、住友本社及ビ株式会社三菱本社、並ニ三井、岩崎、安田及ビ住友一家ノ家族若クハ一切ノ彼等ノ代行者ニヨル一切ノ動産若クハ不動産（右ニハ証券並ニ其ノ他ノ所有権、負債又ハ支配権ノ証拠物件ヲ含ム）ノ売却贈与譲渡又ハ移転ヲ禁止スベシ。

足し，戦前は非合法とされた**日本共産党**も再建された。

占領期の政治は，冷戦の開始（→ p.246）などの国際情勢のもと，GHQ の占領政策と食糧難や不況への対策を訴える社会運動の圧力のなかでゆれうごいた。その結果，戦前の政党政治の流れを引き継ぎつつも，当初は圧倒的な多数党が生まれず，自由党などの自由主義勢力や社会党・進歩党などの左派・中道勢力などが連立や分裂，統合をくり返した。

占領期の政治

1946 年 4 月，戦後初の総選挙がおこなわれ，日本自由党が第一党となった。しかし，選挙直前に日本共産党をのぞく各政党から大量の公職追放者を出したことや，大選挙区制を採用したこともあって，過半数をとることができなかった。鳩山一郎の公職追放をうけて，新たに日本自由党の党首となった**吉田茂**が，幣原喜重郎にかわり進歩党との連立によって内閣を組織した。

新憲法の制定や農地改革を進めた第 1 次吉田内閣に対し，経済政策に反発する労働運動がもりあがり，新憲法公布後の 1947 年におこなわれた総選挙[3]では，自由党が敗北した。吉田内閣にかわって，選挙で躍進し，第一党となった社会党の**片山哲**が，民主党（進歩党が再編された）に国民協同党を加えた 3 党の連立内閣を組織した。片山内閣は労働省の設置を実現し，統制による経済の安定をめざしたが，**炭鉱国家管理問題**や予算をめぐる内部対立が表面化して，半年あまりで総辞職した。

1948 年 3 月には片山内閣と同じ 3 党の連立で，民主党の芦田均が内閣を組織した。しかし，芦田内閣は**昭和電工事件**で倒れ，10 月には第 2 次吉田内閣が誕生した。与党の民主自由党は，政権を維持できなかった左派・中道連立政権への不満を追い風に翌年 1 月の総選挙で勝利し，戦後初の過半数政党となった。こうして，多数党を与党とした吉田内閣が，冷戦を背景に転換するアメリカの対日政策のにない手となった。

？ GHQはなぜ持株会社を解体させようとしたのだろうか？　その持株会社がのちに復活したのはなぜだろうか？

＜地域の視点＞

◆農地改革と東北の大地主

農地改革は，近世以来の大地主にも大きな打撃をあたえた。山形県酒田市を拠点とした本間家は江戸時代中期に本間光丘が事業を拡大して大規模に田地を集積し，のちに「日本一の地主」とよばれた富豪家であった。山林などの資産は残ったものの1500町以上ともいわれた田畑は試験田4.1町歩を残して解放され，地域政財界における影響力を低下させていった。本間家は同様に多くの土地を失った秋田県の池田家，宮城県の斎藤家など東北地方のほかの大地主とともに広大な邸宅が文化財として保存され，往時の繁栄を伝えている。

共通テストのトレーニングとしてもおすすめ！

日常の学習で様々な史資料に触れることで，入試やその先のキャリア，情報リテラシーの育成にも役立てることができます。

2 325社が指定されたが，占領政策の転換にともない，実際に分割されたのは日本製鉄・三菱重工業など11社のみであった。また，財閥解体において，財閥系銀行は解体されなかったため，以後経済再建の核となり，銀行を中心とした企業集団が形成された。

3 1947年の総選挙は，中選挙区制がとられた。

探究しよう

❶農地改革はどのような成果をあげ，どのような課題を生んだのか，説明してみよう。

❷1945年～48年の間に短命な政権が続いたのはなぜか考えてみよう。

❸戦後改革は，それまでの社会をどうかえたのか，その影響について説明してみよう。

特色 2

豊富な史資料，要点をおさえた記述で歴史の知識・技能をしっかり身につける！

第2章 歴史資料と原始・古代の展望

第1章の学習をもとに原始・古代について知りたいことをあげてみよう

第１章では，黎明期の日本列島のようすについて学んだ。この学習を通じて感じた疑問を整理しよう。クラスでも話し合ったり発表したりしながらまとめ，原始・古代について知りたいこと，学びたいことを問いのかたちに表現してみよう。

- 古代の社会にはどんな仕組みがあって，どのようにつくられたのだろう？
- 中国大陸や朝鮮半島の人々とはどんな交流があったのだろう？
- こののち，日本列島にはどんな国ができるのだろう？
- 新しくできた国に，人々はすんなりと従ったのだろうか？

問いの例　日本列島において，どのようにして国家が形成され，展開していったのか

問いをもとに資料を読み取って仮説を立ててみよう

第１章で学んだ歴史は，石器・土器・木器・金属器・骨角器・人骨などの遺物や，住居・墓・貝塚・水田・灌漑施設などの遺構といった考古資料にもとづいている。一方，第３章以下で取りあげる時代の歴史は，文献などの文字資料・絵画資料などからも追究することができる。ここでは邪馬台国を素材として，古代国家の成立過程について，考古資料と文字資料を用いながら考えてみよう。

史資料を読み取り，仮説を立てる

知りたいこと，学びたいことを問いのかたちに表現し，仮説を立てて各時代を展望できるように導いています。

邪馬台国はどんな国だったのだろうか？ ―「魏志倭人伝」からみた邪馬台国

邪馬台国は，３世紀末に中国で編まれた歴史書『三国志』（→p.21）のうち，いわゆる「魏志倭人伝」に登場する。この史料は，①倭の諸国とそこへの道のり，②倭の風俗・社会・政治，③倭と魏の外交について記す。

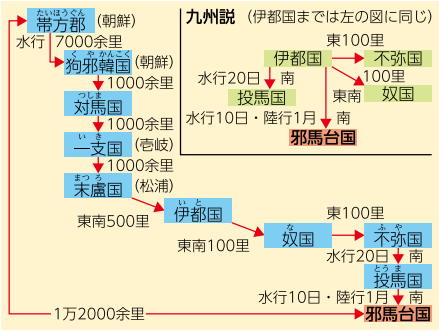
①から導かれる邪馬台国の所在地については，図１の解釈をもとに，近畿地方（畿内）とする説と，九州地方とする説を中心に，活発な論争が展開されている。この論争の行方により，その後のヤマト政権の評価も大きくかわるだけに，目が離せない。

しかし，古代国家の形成を考えるうえでは，②がより重要である。史料１からは，当時の倭国のようすや，邪馬台国の女王卑弥呼がどのような政治をおこなっていたのかを知ることができる。

- 倭国や邪馬台国のようすについて，史料１からわかることをあげてみよう。
- 邪馬台国は中国の魏とどのような関係にあったのだろうか。史料２から考えてみよう。

考古資料からはどんな古代国家の姿が見えるだろうか？

一方，「魏志倭人伝」は，魏の立場で編纂された史料であるため，一定の限界もある。そこで，考古資料が注目される。史料２に，倭の女王（卑弥呼）



▲1 **邪馬台国までの道のり**　「魏志倭人伝」にもとづき，朝鮮半島の帯方郡から邪馬台国までの距離と方角をあらわしたもの。

史料 1 「魏志倭人伝」（一）

租税を収納するために、倉庫がある。国々には市があり、そこで取引がなされ、大倭にこれを監督させている。女王国（邪馬台国）より北には、特別に一人の大率を置き、諸国を検察させており、諸国は恐れ憚っている。（大率は）常に伊都国を治所としており、倭国の中で（魏王朝の）刺史のような役割をはたしている。…下戸が大人と道路で会えば、（下戸は）後ずさりして草むらに入る。言葉を伝え説明する際には、うずくまったり、ひざまずいたりして、両手は地面について、恭順の意をあらわしている。…（卑弥呼の）居所である宮室は、楼観（物見やぐら）や城柵を厳かに設けており、常に人々がいて武器をもって守衛している。…卑弥呼が亡くなったため、大きな冢をつくった。その径は百余歩（約一四〇メートル）あった。供として葬られた者は、奴婢百人あまりであった。（口語訳）

具体的な事例で実践的に
歴史研究の手法を学べる！

教科書

第5章　現代の日本の課題の探究

これまで学んできたことがらをふまえ，現代の課題の背景となる歴史について，さまざまな資料を活用しながら探究してみよう。また，その成果をまとめ，クラスで発表したり，議論したりしてみよう。

身近な地域や身の回りのできごと，最近のニュースなどから，題材を探そう。その際には以下のようなテーマからアプローチしてみよう。

①社会や集団と個人：ある事件が社会にあたえた影響や，人々がそのなかでどのように考え行動していたかを探る。

②世界の中の日本：身近な地域の歴史が，アジアや世界の歴史とどのように結びついていたのかを探る。

③伝統や文化の継承と創造：身の回りでおこなわれている祭礼・行事などの歴史を調べ，どのように受け継がれてきたのか，どのように変容してきたのかを探る。

主題を設定する
―1．江戸時代の火山災害

Aさんや Bさんは，近年，日本で大きな災害が続いていることに関心をもった。そして日本史の学習を通じて，歴史上も地震や噴火などがくり返しおきたことを知った。そこで教科書にも載っている江戸時代の天明期におこった浅間山の噴火を題材に，次のような問いを設定して探究することにした。(→p.134)

Aさんのテーマ

大きな災害がおこると社会や人々の暮らしは多大な影響をうけ，復興にもさまざまな課題がある。歴史の中ではどのような災害があり，人々はどのように復旧・復興を進めたのだろう？

Bさんのテーマ

マスメディアやインターネット，SNSが発達した現代では，災害に関する情報が飛び交う。正確な情報だけでなく誤った情報も広がることもある。昔は災害についてどのような情報があり，人々はそれをどのようにして集め，伝えたのだろう？

問い　人々は災害とどのように向き合ってきたのか

関連するテーマ：①社会や集団と個人

資料を集め，仮説を立てる

主題に関する資料を集めよう。

- 図書館やインターネットで関係する文献や記事，資料集などを検索してみよう。
- 博物館・資料館では，地元の歴史に関する資料を収集・保管していることが多い。学芸員などに助言をもらうのもよいだろう。
- 過去の災害については，さまざまな団体が調査・研究成果をまとめ，公表している場合がある。石碑や供養塔などが建てられていたり，伝承が残されたりしている地域もある。現地調査もしてみよう。

浅間山天明大噴火の概要

浅間山は長野県と群馬県の境に位置する。歴史上，しばしば噴火をくり返していたが，江戸時代の1783（天明3）年におきた噴火は最大規模のものである。噴火は4月7日（旧暦。以下同じ）にはじまり，7月6日から8日にかけて最高潮をむかえた。134ページ図1は7月7日のようすを山の

生徒自らの探究をバックアップ！

科目のまとめとして，課題を設定し調べていく過程を，具体的な題材を取り上げて示しました。

▼1 浅間山と関東地方

特色 3

地域・日本・世界の歴史がつながる！視野が広がる！

第2編 中世の日本と世界

簡潔な概説で時代を的確に把握できる

時代の変化・推移・特徴を簡潔にまとめました。

中世とは，宋元時代の中国の経済・文化の影響をうけながら，古代に生まれた「日本」が列島に根づいていく時代であった。蒙古襲来を例外として本格的な対外戦争のない中世の国家は，「小さな政府」となり，戸籍や土地台帳をつくって人や土地を管理・保護することはなかった。自分の身（権利）は自分で守るという自力救済の風潮が広がり，紛争や自然災害が恒常化すると，武士が台頭して国家の軍事力をになうようになるとともに，祈りのにない手として寺社が社会的・文化的に大きな役割をはたした。支配者層は公家（貴族），寺社勢力や武家（幕府）に分裂し，そのもとで地域社会も成長したが，それらを統合するのが荘園制というシステムであった。

日本と世界の歴史をダイナミックに見渡せる編扉

12世紀の東アジア

遼の支配下にあった女真族は，12世紀はじめに金を建国すると遼を滅ぼし，ついで宋を攻めた。宋は1127年に長江流域にのがれたが（南宋），国内では流通・経済が発達し，開発が進んで各種産業も発展した。唐の衰退後，日本の支配者層は孤立主義をとり，朝貢は衰えたが，民間の海上交易が盛んになり，日本でも平氏が日宋貿易を推進した。

13世紀，モンゴルのチンギス＝ハンとその子孫たちは，ユーラシア大陸の広大な地域を征服して巨大な帝国を築いた。東部ユーラシアでは金を滅ぼしたのち，高麗を服属させ，日本や東南アジアにも侵攻した。帝国は元朝を含めて大きく四つの国にわかれ，ゆるやかに結合していた。そのもとで陸と海の交易路が結ばれ，ユーラシアの交易は空前の活況を呈した。

歴史総合の範囲外となる前近代のアジア・世界をしっかりカバー

地図と詳しい解説で東アジア・世界の歴史を俯瞰でき，より深く立体的に日本史を理解できます。

13世紀のユーラシア

厳島神社（広島県廿日市市）

15世紀のアジア

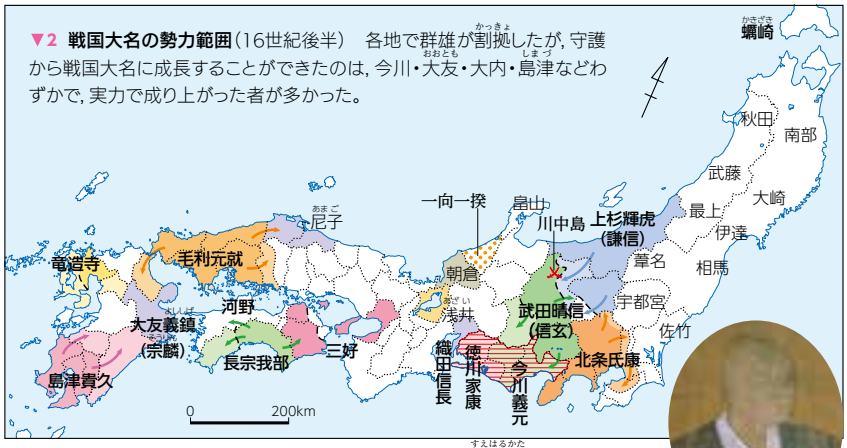
モンゴル帝国は，14世紀半ばから解体がはじまり，東アジアでは新たに成立した明朝が元朝を北へ追いやった。明朝は朝貢制度をととのえ，高麗にかわった朝鮮王朝や，琉球王国，日本の室町幕府将軍などと朝貢・冊封にもとづく関係を結んだ。また，インド洋沿岸地域にも使者を派遣して朝貢をうながした。一方，朝貢によらない貿易を求めた商人の中には武装して海賊行為をする者（倭寇）もあらわれ，東アジア諸国はその鎮圧に苦心した。

特色 3

地域・日本・世界の歴史がつながる！視野が広がる！

「一国史」にとどまらない，広い視野からの歴史叙述

日本国内の動きも世界の動きと結びつけて理解できるように記述しました。



▼2 **戦国大名の勢力範囲**（16世紀後半）　各地で群雄が割拠したが，守護から戦国大名に成長することができたのは，今川・大友・大内・島津などわずかで，実力で成り上がった者が多かった。

中国地方　7か国の守護であった大内氏が1551年に重臣陶晴賢（1521～55）に倒され，陶氏もその4年後に安芸の国人**毛利元就**（1497～1571）に滅ぼされた。

九州地方　伝統的な勢力である薩摩の**島津氏**，豊後の**大友氏**のほかに**竜造寺氏**が台頭。

四国地方　国人出身の**長宗我部氏**が台頭。

東北地方　地頭出身の**伊達氏**が台頭。

関東地方　伊勢宗瑞（のちの北条早雲）の子氏綱（1487～1541）が武蔵・安房をおさえ，孫**氏康**（1515～71）が古河公方を破って関東一円に勢力をはった（→p.94）。

中部地方　守護代出身の長尾景虎（のちの**上杉謙信**，1530～78）が越後をおさえ，甲斐を根拠に信濃へと勢力を拡大した**武田晴信**（信玄，1521～73）と川中島（長野市）で何度も激突した。また，駿河では**今川義元**が勢力をのばし，美濃では斎藤道三（？～1556）が守護土岐氏を倒して勢いを強めた。

▲3 **北条早雲**　幕府奉公衆伊勢氏の一族の出身。（神奈川県，早雲寺蔵）

▶4 **石見銀山**　16世紀に本格的な開発がはじまった。写真は坑道の入口。（島根県大田市）

ころ，朝鮮から「灰吹法」とよばれる銀精錬技術が伝えられると，大量の銀生産がはじまった。[4]

戦国大名とアジアの動向

石見銀山産の銀は純度が高く，日本列島を訪れるようになったヨーロッパ人によっても「ソーマ銀」[5]として高く評価され，アジア貿易の決済手段として，広く中国大陸へももちこまれた。15世紀後半から16世紀にかけて，明では銅資源が枯渇して銅銭の質が下落し，主たる支払い手段が銀や紙幣にかわった。また，日明貿易が衰え，倭寇の密輸ルートも明に抑圧された。

こうした東アジア世界の変化をうけて，日本では，洪武通宝や永楽通宝などの渡来銭の供給量では，流通経済の需要を満たせなくなった。このため，市場では，粗悪銭（割銭・私鋳銭，鐚銭）などの受け取り拒否（撰銭）が頻繁におこり，流通に混乱をきたすことが多くなった。戦国大名や幕府は，くり返し**撰銭令**[6]を出して粗悪銭と良銭との交換比率を定め，条件つきで流通させようとしたが，あまり効果はなかった。

その結果，流通経済の発達していた西日本一帯では，銭による決済はしだいに姿を消し，米による決済に移行した。戦国大名にとって兵糧米の確保は絶対必要だったうえに，米が物品貨幣の役目をはたしていたからである。そして，税負担や軍事動員の基準も，銭を基準にする**貫高制**から米を基準にする石高制にかわった。一方，経済的に後進地域であった東日本では，永楽通宝をもととする貫高制が続いていた。こうした日本列島の流通や生産表示方法に関する東と西の違いも，東アジア世界と深くかかわる貨幣量の絶対的不足に起因していたのである。

3 市場税や営業税を免除したり，座の独占販売などの特権を廃して，自由な商業活動を認めた法令。

4 その技術は，但馬国（兵庫県）生野銀山，佐渡国（新潟県）鶴子銀山，甲斐国黒川金山にも伝えられて鉱産の増大につながった。

5 石見銀山の中心大森地区の中世・近世の地名「さま」，あるいは「佐摩村」にもとづくよび方。

6 大内氏が1485（文明17）年にはじめて出し，幕府も1500（明応9）年に出した。

探究しよう

❶戦国大名の分国統治にはどのような共通点と相違点があるか考えてみよう。

❷戦国時代の経済や社会は日本列島を取り巻く国際環境とどのような関係にあったのかを考えてみよう。

❸戦国大名の分国統治の特色と国際環境の変化を模式図にしてみよう。

アジアや世界と連動した日本史が見えてくる！

教科書

第1章　近世への転換と歴史的環境

▲1 南蛮船の入港（「南蛮屏風」，国立歴史民俗博物館蔵）

◀2 南蛮寺　京都にあった南蛮寺（教会や修道院など）を描いたもの。寺内には宣教師がいる。寺の外では見世棚で土産品が売られている。（「京都南蛮堂図扇面」，神戸市立博物館蔵）

世界史部分も詳しく記述

要所で東アジアや世界といった国際環境と関連づけ，世界史探究を履修しない生徒も世界史的背景を捉えられるようにしました。

35 近世初頭の東アジア情勢はどのようなものか

ヨーロッパ勢力の登場

15世紀後半から16世紀にかけて，ヨーロッパ諸国は，彼らにとって未知の世界に乗り出した。その先頭に立ったのがスペインとポルトガルである。スペインは西をめざし，中南米大陸の大部分を植民地とした。さらに太平洋に進出し，フィリピン諸島の植民地化を進め，1565年にマニラ・メキシコ間に太平洋横断航路を開いた。ポルトガルは，南米の航海領域に植民地（現在のブラジル）を建設したほか，アフリカ以東に進出した。1511年にはマラッカを占領し，ついで明に貿易を求めたが許されなかった。

鉄砲・キリスト教の伝来と後期倭寇

そのころ，中国で銀の需要が高まる一方，日本では，銀生産が急増し，中国産の生糸や絹織物・陶磁器などへの需要が高まり，日中間の貿易が求められるようになった。しかし明の朝貢貿易体制は機能しなくなっており[1]，中国系の人々（華人）を中心とする民間の密貿易がこの地域の交流をになうようになった。明に貿易を拒否されたポルトガルもこれに参加した。1540年代から銀を求めて多数の中国船が日本に来航するようになり，鉄砲やキリスト教もこのルートから伝来した。

1542年（天文11），種子島に中国船が漂着[2]し，領主種子島時堯（1528～79）は乗船していたポルトガル人から2挺の**鉄砲**を購入し，家臣にその用法と製法を学ばせた。その技術は和泉の

▼3 鉄砲をもつ足軽　銃の筒先から火薬と弾をつめる先込め式で，なれると15秒間に1発くらいの速さで撃てた。（『雑兵物語』，東京国立博物館蔵）

▼4 鉄砲（種子島時邦氏所有）

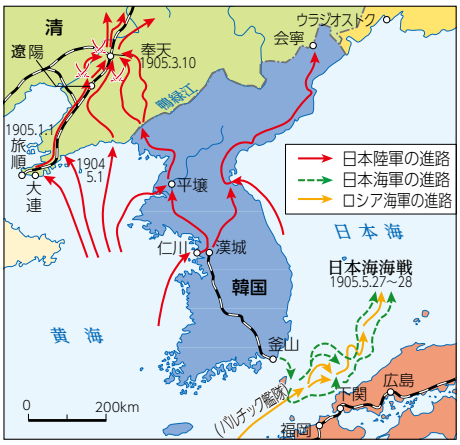
1 背景には寧波の乱や遣明船の途絶，倭寇の活動などがある（→p.79）。
2 1543年との説もある。
3 プロテスタント（新教）に対抗して，カトリック（旧教）の発展と布教のために，スペイン人のザビエルやイグナティウス＝ロヨラ（1491～1556）らが結成。

＊倭寇の頭領王直

鉄砲を種子島に伝えた船の船長は，中国の商人王直（？～1559）である。王直は，中国と日本や東南アジア方面を結ぶ海上の密貿易をおこなうなかで，当時アジアに進出していたポルトガル人とも交流があったと考えられる。そののち，王直は明政府のきびしい取り締まりを避けて五島や平戸に移ると，倭寇の頭領として海上に一大勢力を築いた。拠点となった平戸は，貿易でにぎわうようになった。

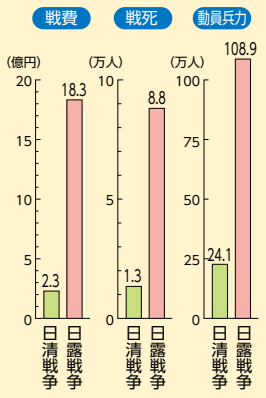
特色 3

地域・日本・世界の歴史がつながる！視野が広がる！



◀1 日露戦争要図

◀2「三笠」艦橋の東郷平八郎　日本海海戦直前の戦艦三笠の艦橋のようすを描いている。画面中央が東郷平八郎（1847～1934），右から3人目が作戦担当の参謀秋山真之（1868～1918）。（東城鉦太郎画「三笠艦橋の図」，記念艦三笠蔵）



▲3 日清・日露戦争の比較（『日本史料集成』）

70 日露戦争はどのような戦争だったのか

日露戦争

1904年2月8日，日本軍は韓国の仁川や中国の旅順（明治37）でロシア艦隊を攻撃し，**日露戦争**がはじまった。日本軍はたちまち朝鮮半島のほとんどを占領すると，韓国・中国の国境をこえて満州に進撃して，後退するロシア軍を追って北上した。

開戦前，国民は，世界最強の陸軍国と思われていたロシアと戦うことに強いおそれと緊張感をもった。しかし，開戦後の連戦連勝の報道によって，緊張感は熱狂へとかわった。祝勝会や提灯行列が全国各地でおこなわれた。動員兵士数は日清戦争にくらべてはるかに多く，約100万人にもおよんだ。こうしたなか，幸徳秋水（1871～1911）・堺利彦（1870～1933）ら社会主義者は『平民新聞』で反戦論を展開し，キリスト者の**内村鑑三**（→p.181）も非戦論[1]を主張した。また，**与謝野晶子**（1878～1942）や大塚楠緒子（1875～1910）は，詩などで反戦・非戦の情をうたったが[2]，これらの声は国民の戦勝感によってかき消されがちであった。

日露戦争では，18億3000万円という多額の戦費を必要とした。桂太郎内閣は内債で6億4000万円を募集したが，それでも足らず，外債7億円を同盟国のイギリスや好意的中立を保つアメリカで募集した。また，大幅な増税をおこなったため，消費者物価が高騰した。

日本軍は，多数の死傷者[3]を出しながら旅順を陥落させ，1905年3月に奉天（現在の瀋陽）を占領した。さらに，同年5月，ヨーロッパ方面から回航されてきたロシアのバルチック艦隊を**日本海海戦**で破った。◆

日比谷焼き打ち事件

日本は兵員・兵器の補給や戦費調達の点で限界に達し，ロシアも国内に革命状況をかかえ，ともに戦争を続けられる状況ではなかった。アメリカ大統領セオドア＝ローズヴェルト（1858～1919）の斡旋で，アメリカのポーツマスで日本とロシアの講和会議が開かれ，1905年9月，日本全権小村寿太郎とロシア全権ウィッテ（1849～1915）の間

1 日清戦争を「義戦」とした内村鑑三は下関条約の内容をみて，朝鮮の独立確保が日本の進出の口実にすぎないことを知り，以後，「戦争の利益は強盗の利益である」として，戦争の絶対的廃止を説いた。

2 与謝野晶子は雑誌『明星』（1904年9月号）で戦地にいる弟を嘆いて「君死にたまふこと勿れ」と題する反戦詩を，大塚楠緒子は雑誌『太陽』（1905年1月号）で戦地の夫を思う妻の心情を詩にした「お百度詣で」を発表し，注目を集めた。

3 日露戦争後，戦没者を英霊としてまつった忠魂碑が，日本各地の小学校の校庭や神社の境内などに多数建設された。

身近な地域にも歴史への入口がある！

自分の身の回りにも歴史と交わるものがあることに気づくことができます。

ローカル・ヒストリーと結びつく記述で，歴史がもっと近くなる！

◀4 **ああ増税**　元老・御用商人などは，日露戦争によって行賞を得たが，一般国民は，「増税」という行賞しか得られなかったという風刺。（『東京パック』明治41年5月20日号）

▲6 **愛媛県松山のロシア人捕虜収容所**

▶5 **日比谷焼き打ち事件**　市街電車を焼き打ちする民衆。

で講和条約が結ばれた（**ポーツマス条約**）。その内容は，ロシアは(1)日本の韓国に対する指導・保護・監理措置を認める，(2)清朝政府の承認を条件に，旅順・大連の租借権と東清鉄道南部支線（長春－大連・旅順間）を日本へ譲渡する，(3)北緯50度以南の南樺太を日本へ割譲する，(4)沿海州・カムチャツカ半島における日本の漁業権を承認する，というものであった。

増税や物価高に苦しんでいた民衆は，高揚した戦勝感のなか，賠償金の獲得を強く求めていた。しかし，ポーツマス条約で賠償金が得られないことがわかると，東京の日比谷公園で開かれた講和問題同志連合会主催の国民大会に，数万人の民衆がつめかけた。さらに民衆と警官との乱闘をきっかけに東京全市で暴動がおこり，内相官邸や警察署・派出所，キリスト教会などが破壊された（**日比谷焼き打ち事件**）。警察だけでは収拾不能と判断した桂内閣は戒厳令を施行し，軍隊を出動させた。

日露戦争における日本の勝利は，インドやベトナムなど，西欧列強の植民地であったアジアなどの諸民族に刺激をあたえ，民族運動が活発化した。しかし，日本自体は，アジアの諸民族の期待を裏切って，新しい帝国主義国としてアジア諸民族にのぞむことになる。

日本の満州進出

1906年，日本は，関東州[4]を統治するために旅順に**関東都督府**を設置し，一般行政と警察を担当させた。関東都督には現役の陸軍大将・中将が任命され，旅順－大連・長春間の鉄道を守備するため，軍隊を指揮下においた。また同年，旅順・長春間の鉄道を経営する機関として，**南満州鉄道株式会社**（**満鉄**）が設立された。この満鉄は，総裁・副総裁が天皇の勅裁をへて政府によって任命される国策会社であった。満鉄は，満州産の大豆などの農産物を輸送するだけでなく，撫順・煙台の石炭採掘業や水運業・電気業，鉄道付属地内の土木・教育・衛生に関する行政もおこなった。

＜地域の視点＞

◆**捕虜と松山**

明治国家は西欧列強から「文明国」として認知されることを強く意識したため，昭和期と違って，戦争捕虜の扱いが人道的であった。日露戦争では松山収容所を最初として，全国で29か所に開設された。松山収容所は将校の収容率が高いこともあって，捕虜の待遇がよく，例えば将校は決まった曜日・時間に市内を散歩することも可能であった。

地域の歴史と日本史・世界史を結ぶ〈地域の視点〉

地域と歴史のつながりを重視する第4編（近現代）には補説〈地域の視点〉を設けました。

4 ポーツマス条約で，日本はロシアが清から獲得した満州における権益を譲渡されたが，これには，清朝政府の承認という条件があった。そこで日本は，1905年末にその権益の譲渡を清朝政府に認めさせた。ポーツマス条約でロシアから受け継いだ遼東半島の日本の租借地は，万里の長城の東端の山海関以東にあたるために，関東州とよばれるようになった。

探究しよう

❶日露戦争に対してどのような意見があったのか調べてみよう。
❷身近な地域からどれくらいの兵士が動員されたか調べてみよう。
❸なぜ日比谷焼き打ち事件がおきたのか考えてみよう。

特色 4

歴史を掘り下げ興味を引き出す 32テーマの多彩なコラム

東アジア・世界とのつながりを捉えられるテーマも充実！

もっと知りたい 日本史 4

硫黄の交易にみる東部ユーラシアと日本列島

中国大陸における硫黄の需要

こんにち，化石燃料の燃焼から発生する硫黄酸化物は，酸性雨などの主要原因物質として，地球環境全体への悪影響が心配されている。しかし，かつては，火山国である日本列島産の硫黄は11～16世紀の東部ユーラシア（東アジア・中央アジア東部・東南アジアを含む地域）の歴史のなかで重要な役割をはたしてきたことが，近年の研究で注目されている。

中国大陸では，宋（960～1126北宋，1127～1279南宋）の建国にもかかわり，遼（契丹）や金（女真），あるいは西北辺の西夏（タングート）など東北アジア諸民族の軍事的対立が長く続くことになった。また，宋は軍事的緊張に備えて財源を確保するため，海外交易に力を入れ，海商たちの活動を奨励し，輸入品に課税した。そして戦いを有利に進めるため，火器を実戦に投入した。この火器に使われた火薬（黒色火薬）は，硝石・木炭・硫黄（自然硫黄）の絶妙な配合が不可欠であり，硝石と木炭は中国大陸でも調達できたが，硫黄の産地は宋の領域にはなかった。そこで，宋は，10世紀末より周辺の火山国である日本列島，あるいは遠く西アジアや中央アジア，同じく火山国であるインドネシアのジャワ島（イジェン山など）からもたらされる硫黄を，好んで受け入れたのである。

中世日本の硫黄を追って

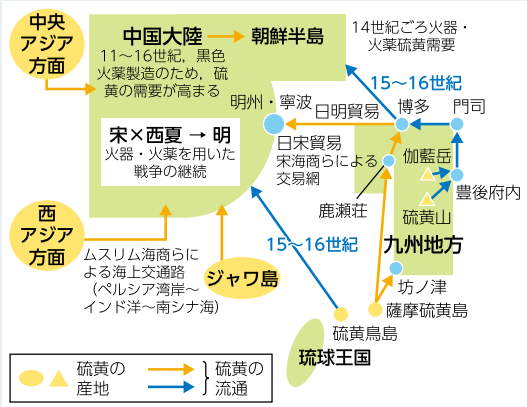
では，日本列島はこれにどのような役割をはたしたのだろうか。もっとも有力視されているのは「鬼界が嶋」「貴賀が嶋」などとも表記される，現在の鹿児島県鹿児島郡三島村の硫黄島（薩摩硫黄島）で採掘された硫黄が，大宰府・博多を経由し，宋の海商たちによって中国大陸へ輸出されていたという説である。

11世紀半ばに成立した『新猿楽記』では，「八郎真人」という商人の商圏は「貴賀が嶋」にもおよび，彼の扱う商品のうち「本朝」（日本）の産物として「硫黄」があがる。また，『平家物語』巻2「有王」「僧都死去」の段には，「九国の商人」が島に通い，島の山頂付近で採掘された硫黄を買い取っていた記述がある。その通交ルートは主として九州西部から，大宰府・博多方面にのびていたことが推定されている。11世紀末には，宋が西夏との戦いを背景に，日本産硫黄を大量に買いつけたことが明らかになってきた。つまり，10世紀末から13世紀にかけて，宋の海商たちは，大宰府・博多に中国産の書籍・医薬品・銅銭などをもたらし，大量の硫黄や木材（造船材・棺桶材・仏寺の建材）をその帰り荷としたのである。

日本産硫黄の輸出は，14～16世紀も変容しながら続いた。ユーラシアの広い地域を支配したモンゴル帝国の統治が続いたため，火器・火薬が世界に広がったうえに，14世紀末には明から高麗・朝鮮王朝に火薬や火砲が伝わったため，朝鮮半島域での需要も増していった。これに対し，九州東部，ことに大分県にあるくじゅう連山の硫黄山や伽藍岳を産出地として，大友氏や大内氏が統治した博多から対馬の宗氏などの手をへて，朝鮮半島に輸出されるルートも確立された。

一方，増える中国大陸での需要にこたえたのは，明と冊封を結んだ琉球王国の硫黄鳥島（現在の沖縄県島尻郡久米島町）で産出された硫黄と推定されている。琉球王国成立以前の三山でも硫黄は冊封を得る朝貢品として重視され，多いときには4隻の船に7万斤（約42トン）を積載したという。このように日本列島は，硫黄の輸出を通じて東部ユーラシアの歴史の動向と深いかかわりをもっていたのである。

▼ **硫黄の交易ルート（概念図）** 15～16世紀，海商たちは中国大陸と朝鮮半島への輸出でたがいの権益をおかさないよう，一種の「すみわけ」をおこなっていたと考えられる。



本文記述を補完し
多視点・新視点でさらに深める

教科書

地域の歴史 6　近世の琉球と奄美

「古琉球」から「琉球口」へ

近世の琉球は1609（慶長14）年の島津氏（薩摩藩）の軍事的征服からはじまる。幕府は島津氏の琉球領有と支配を認めたが，中世以来，明の朝貢国であった琉球王国は存続させた。薩摩藩は琉球全土を検地し，藩主は国王尚寧に領地を安堵する文書をあたえ，日本型の封建的主従関係のもとにおいた。琉球から薩摩に派遣する年頭使が1613（慶長18）年にはじまって定例となり，1624（寛永元）年に「道之島」（奄美3島）を蔵入地とした。1631（寛永8）年には那覇に在番奉行をおき，国王の代替わりや行政・中国関係や海防まで管理・統制し，キリスト教や日本風の髷・髪・衣装などを禁止した。日本と琉球の間のヒト・モノの往来は，薩摩藩の管理下におかれ，渡航・居住は薩摩藩の役人か船頭・水主（水夫）などに限られた。

その一方で幕府は，1620年代に明との講和交渉に見切りをつけ，中国との関係は，「通信」（国交）を避け，「通商」（民間の貿易）だけを維持するという方針に転換した。島津氏の琉球征服で警戒心を強めた明も，1633年に新国王尚豊を琉球国王に冊封した。翌年，薩摩藩は，尚豊の代替わりを感謝する使節（謝恩使）を将軍家光に送ったが，このとき幕府は琉球の役割を「唐口の商売」（中国貿易）とした。1639（寛永16）年にポルトガルと断交した際，幕府は対馬藩・薩摩藩に，それぞれ朝鮮口・琉球口で中国産生糸・絹織物などの輸入に努めるように命じている。

なお謝恩使は，将軍の就任を祝う慶賀使とともに定例となり，ペリー来航の直前まで続いた。

▲ **奄美での砂糖の取り引き**　幕末に薩摩藩士によって描かれたもの。（『南島雑話』，奄美市立奄美博物館蔵）

近世の琉球と奄美

薩摩藩の支配を通じて，近世琉球の国家・社会・文化が形成された。まず，古琉球以来の伝統的な宗教儀礼と政治を切り離して，王府の組織を合理化し，黒糖・ウコンなどの専売制によって王府財政の再建がはかられた。藩へ年貢などを上納するため，農村支配を整備・強化し，農業生産を奨励したので，王国は貿易型から農業型に変貌した。人口も増加し，首都首里と那覇が都市として発展し，それまで在留していた外国人（華人・朝鮮人・日本人など）も琉球人の戸籍に編入された。士族と百姓からなる身分制が確立し，士族を中心に伝統社会・文化が成熟して，歌謡集「おもろそうし」の編纂などがおこなわれた。

中国（明・清）との朝貢貿易は琉球王国の解体（1872［明治5］年）までおこなわれたが，藩の出資による代理貿易であり，日中両国政府の政策や明清交替などの政治変動などで，藩が期待したほどの利益はあがらなかった。そのかわりとなったのが，年貢（貢米・貢糖）と琉球の特産物，とくに黒糖の専売である。

黒糖は王府・藩を通して大坂市場で売られて大きな利益をあげ，藩財政の主要な柱となった。日本人の生活水準が向上するとともに，黒糖の需要も高まっていき，19世紀にはそのほとんどを薩摩藩がまかなった。その70％以上を生産した奄美3島は，実質的な藩の植民地として，黒糖生産のためのモノカルチャー社会とされ，貨幣の流通も禁止されるなど，きびしい搾取のもとにおかれた。

◀ **琉球の使節**　1710（宝永7）年，江戸城へ向かう琉球使節の一行。（「琉球中山王両使者登城行列」，国立公文書館蔵）

日本各地の歴史をピックアップ

北海道・沖縄をはじめとする地域に着目して歴史を掘り起こします。

地域の歴史

○東国御家人の移住―西遷御家人・北遷御家人（p.65）
○古代・中世の蝦夷地とアイヌ（p.81）
○関東の戦国時代―後北条氏による関東統一への道（p.94）
○九州地方と東アジア海域世界（p.106）
○近世の蝦夷地とアイヌの人々（p.116）
○近世の琉球と奄美（p.117）
○元禄大地震と大津波（p.145）
○近代の蝦夷地・北海道（p.166）
○近代の琉球・沖縄（p.167）
○関東大震災（p.213）
○都市への空襲と模擬原爆投下訓練（p.234）
○復員と引揚げ―舞鶴港（p.245）
○沖縄と基地（p.254）

特色 4

歴史を掘り下げ興味を引き出す 32テーマの多彩なコラム

一次史料を読み解くおもしろさを実感

史料をひもときながら，歴史の新たな側面を探究します。

もっと知りたい日本史

○奈良時代の政治史と木簡（p.37）
○仏教からみる古代史（p.46）
○国風文化を生み出した東アジアの変動（p.47）
○硫黄の交易にみる東部ユーラシアと日本列島（p.64）
○中世の随筆から読み解く社会と「唐物」（p.80）
○秀吉の対外政策（p.107）
○近世社会を構成したさまざまな人々（p.128）
○江戸時代の朝幕関係（p.144）
○近代漫画の先駆者北沢楽天（p.197）
○戦時下の植民地と満州（p.235）
○アジアの解放（p.244）
○『昭和天皇実録』にみる昭和天皇の幼少期（p.266）
○戦後の文化（p.267）

もっと知りたい 日本史 1

奈良時代の政治史と木簡

平城宮木簡第１号

1961年，厳寒の平城宮跡の発掘現場で，古代のゴミ穴から約40点の木簡がみつかった。その中の平城宮木簡第１号（右下写真）はひときわ目を引いた。現在，日本では飛鳥時代以後の40万点以上の木簡が出土しているが，これほどおもしろい木簡にはなかなかお目にかかれない。

これは，寺が小豆１斗，醬（醬油）１斗５升，酢，末醬（味噌）を請求するという内容。請求先はみえないが，一緒に出土した木簡や，「羹所」（羹はスープ）と書かれた土器もあわせて考えれば，宮廷全体の食膳を取り扱った大膳職と推定できる。

末尾には３月６日という日付があるが，年紀はみえない。木簡は紙にくらべて日常性が高く，すぐに用済みとなることもあって，年紀はしばしば省略された。幸いなことに，一緒に出土した木簡の中に，天平宝字５（761）年が１点，同６年が３点含まれており，第１号木簡もそのころのものと推定できる。

そして注目すべきは，「竹波命婦」である。『続日本紀』という奈良時代の正史には，常陸国筑波郡出身の采女（天皇や皇后などの身の回りの世話をする女官）である壬生小家主女が何度か登場する。彼女は称徳天皇の食膳を担当し，破格の出世もとげており，かなりのお気に入りであったらしい。

以上から注目されるのは，孝謙上皇（のちの称徳天皇）が天平宝字６年５月23日以降，平城宮に隣接する法華寺に居住していた，という事実である。この木簡の「寺」は法華寺とみてまちがいない。

奈良時代政治史の一断面

なぜ，孝謙上皇は法華寺にいたのか。それは，孝謙上皇が道鏡を寵愛するようになり，それを淳仁天皇がいさめ，仲たがいしたからであった。さらに，孝謙上皇は五位以上の貴族を前にして，祭祀・小事は淳仁天皇がおこなうが，国家の大事・賞罰は自分がおこなうと宣言した。淳仁天皇を擁立した恵美押勝（藤原仲麻呂）も徐々に追いこまれ，天平宝字８年９月11日に反乱をおこし，同月18日に敗死してしまう。（→p.33）

つまり，平城宮木簡第１号は，天平宝字７年ないし同８年の３月６日に，法華寺に居住していた孝謙上皇が，筑波命婦を介して，平城宮内の大膳職に対して，食材・調味料を請求した木簡である，と考えることができる。『続日本紀』をひもとくことにより，当時の緊迫した政治情勢のなかで，この木簡が作成されたようすが浮かびあがってくるわけである。

恵美押勝の乱の緒戦は，皇権の象徴ともいえる駅鈴（駅馬の利用証）・内印（天皇御璽）の掌握をめぐって争われた。その影響であろうか，奈良時代末の衛府関係の木簡群の中に，午後９時から午前５時まで，２時間交代で兵士が駅鈴を守ったことを記した木簡がみつかっている。

また，恵美押勝の乱では，大がかりな処罰がおこなわれたことが知られる。実際，人事をつかさどる式部省の役所跡から出土した木簡の削屑の中にも，仲麻呂派であることを理由に免職の扱いをうけたことを生々しく伝えるものがある。

ごくありふれた日常を記す木簡であるが，時に政治史の一コマを垣間見せてくれるのである。

▶ **平城宮木簡第1号**　少し文字が欠けているのは，用済みになった際，意図的に割ったことによる。宛先を記さないのは，当事者にとって自明であったため。

◀ **「仲麻呂支儻」（仲麻呂派）の免職を示す木簡**

□不弟申送省判依仲麻呂支儻除□

（表）寺請　小豆一斗　醬一□（斗カ）五升（大床所）　酢　末醬等
（裏）右四種物竹波命婦御所　三月六日

（写真はいずれも奈良文化財研究所提供）

新鮮な驚きと発見が続々！
読み物としても楽しめる！

教科書

女性の歴史 5 新しい女

職業婦人の増加

大正時代には，女性たちの社会進出が進み，一定の雇用関係のもとに働いて報酬を得る職業婦人が増加した。職業婦人が増加したことは，女性の生活にとっては産業革命に匹敵するほどの大きな変化であり，家制度の束縛から解放されるという意味をもった。しかし，その裏には，女性の低賃金という問題が隠されていた。男性教員二人分の賃金で女性教員３～４人を雇うことができるという，雇う側にとっての低賃金の魅力が，職業婦人が増加する最大の要因であった。

当時の初任給は，小学校の男性教員が 12 ～ 20 円，巡査 15 円，大学卒の銀行員 40 円，高等文官試験合格の公務員 70 円で，国会議員の月俸は 250 円，総理大臣の月俸は 1000 円であった。

一方，右の絵は，大正時代はじめの女性労働者の給料を示したものである。右下に描かれた「判任官」（下級の公務員）は月俸 25 円，和服の上に白いエプロンをかけた女性はカフェーとよばれた喫茶店の女給で月俸 8 円，輸出業を支えた工女は月俸 6 円である。裸体のモデルは半日 50 銭で，月に 20 日働いても月給 10 円にすぎないが，裸体モデルが職業として登場したことがわかる。

新しい女

職業婦人の増加や雑誌『婦人公論』，『主婦之友』など女性向け出版文化の展開により，女性の社会進出や家族・夫婦についての議論がもりあがりをみせた。

1911（明治 44）年，平塚らいてうら５人の女性を発起人に，与謝野晶子ら７人の文学者を賛助員として青鞜社が結成され，雑誌『青鞜』が創刊された。この名称は，18 世紀のなかごろ，文芸を談ずるイギリスの婦人たちが青い靴下すなわち青鞜（ブルーストッキング）を履いたことにちなんでつけられた。らいてうが創刊の辞として書いた「元始，女性は実に太陽であった」という文章は，女性を束縛する家制度とそれを支える上からの権威，道徳や良妻賢母に疑問をいだき，女性としての生き方を模索する若い知識層の女性たちを勇気づけた。また，らいてうが雑誌『青鞜』に発表した文章の署名は，本名の平塚明ではなく，らいてうという，平塚という姓を冠していないひらがなの４文字であった。奥村博史との結婚に際し，『青鞜』（1914 年２月）に発表した「独立するに就いて両親に」では，「現行の結婚制度に不満足な以上，そんな制度に従ひ，そんな法律によって是認してもらうやうな結婚はしたくない」と述べ，長い間婚姻届を出さなかった。

一方で，こうした新しい女たちに対する反発も強かった。らいてうたちが上流階級の出身であったこともあり，すべての女性たちから支持されたわけでもなかった。毎日の生活に明け暮れていた女性たちには，別世界での主張にすぎなかったのである。

▲「女給料取りのいろいろ」（『東京パック』1915年10月15日号）

◀ 平塚らいてう（明） 母性保護論争に加わる一方，市川房枝・奥むめおらとともに1920年に新婦人協会を結成，婦人参政権運動・消費組合運動にも関与した。

歴史を動かした女性たち

各時代の女性とその生き方，女性を取り巻く社会のあり方にスポットをあてています。

女性の歴史

○出土資料にみる先史時代の女性（p.36）
○「戦う」女性たち（p.95）
○江戸時代の遊女（p.129）
○製糸業と工女（p.196）
○新しい女（p.212）
○女性のファッション（p.255）

QRコードコンテンツ一覧

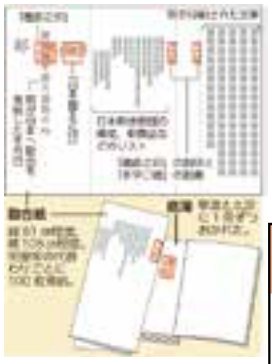
https://smz.ai/n1

教科書紙面に掲載しているQRコード(右上)は
弊社のオリジナルコンテンツや外部サイトにリンクしています。
年表や地図・グラフ, 史料などの豊富なコンテンツをぜひご活用ください。

- 年表「日本の原始・古代」
- 史料「魏志倭人伝」(1)(2)の原文
- 漢の冊封体制の模式図
- 大王家・蘇我氏系図
- 長安城の地図
- 年表「日本の中世」
- 史料『八幡愚童訓』,『関東評定衆伝』,
  貴族の日記(『勘仲記』『壬生官務家日記抄』),
  武士による幕府への報告書(「都甲文書」),
  高野山による朝廷への訴状(「興山寺文書」)の原文
- 史料『愚管抄』
- 勘合の復元図

p.79-1

●勘合



図は清代の勘合などから推測されたもの。勘合は、明の外務省にあたる礼（禮）部の印の割印と「本字〇号（號）」（〇には1～100の数字が入る）の割書を入れて日本へ発給され、日本で

- 室町時代の特産物・都市の地図
- 年表「日本の近世」
- 史料「武家諸法度」元和令,
  「禁中並公家諸法度」の原文
- 儒学と諸学問に関する
  おもな著作の一覧表
- 史料「公事方御定書」
- 史料「海国論」(本多利明『経世秘策』),
  「身分社会批判」(安藤昌益『自然真営道』)
- 年表「日本の近代・明治期」,
  「日本の近代・大戦期」,「日本の現代」
- 戊辰戦争要図

■ 伊能忠敬日本図

■ 民撰議院設立建白書

p.87-1 (1)

●室町時代の特産物

- 自社コンテンツ

■ 外部サイト

本文の内容に対応させつつ，視覚的理解が深まり，より多くの情報に触れられるよう配慮しています。

- おもな官営事業の一覧表
- 生糸の生産量と輸出量のグラフ
- 小作地率の変化のグラフ
- おもな近代文学の作品の一覧表
- 日本の第一次世界大戦への参戦（青島の占領）を示す地図，
- 史料「二十一か条の要求」
- 主要国の国際連盟加盟と脱退年を示す図，地図「三・一独立運動の広がり」
- 大正・昭和初期の人文科学，大正～昭和初期のおもな文学作品の一覧表

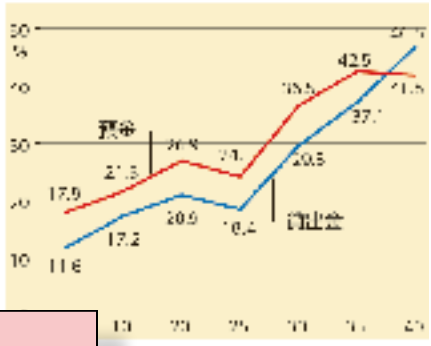
■ 漸次立憲政体樹立の詔
■ 国会開設の勅諭
■ 大日本帝国憲法

- 五大銀行の全国普通銀行に占める割合を示すグラフ，史料「改正治安維持法」
- 軍事費の増加を示すグラフ
- 沖縄戦要図
- ドッジ－ライン前後の輸出入の推移のグラフ
- 地価の変化のグラフ
- 史料「浅間大変覚書」，「被災後の鎌原村の取り組み」（『耳袋』），旗本領の復興に関する幕府の態度（「浅間山焼砂石大変地方御用日記」），「百姓一揆のようす」（『後見草』），「噴火発生時の江戸」（『後見草』）の原文

■ 終戦の詔書
■ 日本国憲法

p.215-1

●五大銀行の全国普通銀行に占める割合



（出典『近代日本経済史要覧』）

p.161-1

●おもな官営事業

国立公文書館など各種デジタルアーカイブへのリンクもご用意。原史料にもアクセスしやすくなっています。

高等学校 日本史探究 ワークノート

Libry

デジタルサポートサイトから DL

Studyplus

- 判　　型：B5判
- ページ数：144ページ　解答別冊
- ＩＳＢＮ：978-4-389-61060-9
- 価　　格：書籍のみ　定価759円（税込）
  Libry のみ　定価759円（税込）
  Libry ＋書籍 定価1,309円（税込）

- 教科書本文にそった空欄補充で教科書の**要点を整理**し，何度も教科書を読み返すことができる仕掛けを活用することで**知識が定着**します。
- 空欄をうめながら，問題を解きながら，**重要なポイントが頭に入ってくる**内容に精選。日々の予習・復習に最適。
- １単元につき１ページの分かりやすい構成，取り組みやすい分量で**生徒の自学自習**を促します。

▶教科書 p.150～p.151

55 開港は国内にどのような影響をあたえたのか

将軍継嗣問題

○ 13 代将軍徳川家定の継嗣（後継ぎ）問題…家定には後継ぎがいなかった。
- ❶＿＿＿＿…一橋家当主❷＿＿＿＿を継嗣におす勢力。
  福井藩主❸＿＿＿＿などの親藩大名や薩摩藩主❹＿＿＿＿・土佐藩主**山内豊信**ら外様大名が中心。
  （対立）
- 南　紀　派…紀伊藩主徳川慶福を継嗣におす勢力。譜代大名が中心。
  →譜代大名筆頭の大老❺＿＿＿＿は徳川慶福を将軍継嗣に決定。
  1858 年に，慶福は❻＿＿＿＿と改名して 14 代将軍に就任。

安政の大獄

○❼＿＿＿＿…井伊大老が，一橋派や条約調印を批判する勢力を大弾圧。
- 前水戸藩主**徳川斉昭**〔慶喜の実父〕ら一橋派の大名などは謹慎処分。
- 越前藩士❽＿＿＿＿，長州藩士❾＿＿＿＿は処刑される。
  注 攘夷論者であった吉田松陰は，❿＿＿＿＿で伊藤博文ら多くの長州藩士を教育した。
- 1860 年，井伊は水戸藩浪士（脱藩士）らに暗殺される。
  …⓫＿＿＿＿

○老中⓬＿＿＿＿中心の⓭＿＿＿＿　注 公は朝廷，武は幕府のこと。
- 幕府は，**孝明天皇**の妹⓮＿＿＿＿と将軍家茂との政略結婚を進める。
- 安藤は水戸藩浪士らに襲われ老中職を罷免される。…⓯＿＿＿＿
- 桜田門外の変，坂下門外の変によって幕府の権威は大きく失墜する。

貿易の開始とその影響

○貿易の開始による経済の混乱
- 1859 年に，⓰＿＿＿＿〔神奈川に代えて開港〕・長崎・箱館で貿易開始。
- 最大の貿易相手国は⓱＿＿＿＿。
- 日本の輸出品…⓲＿＿＿＿・茶・蚕種（蚕卵紙）など。
  注 欧米への輸出によって，江戸をはじめとする国内では品不足が発生し，幕府は 1860 年に，⓳＿＿＿＿を出し，生糸・雑穀などを生産地からまず江戸の問屋に送ることを命じたが，効果はなかった。
- 金貨の流出…外国人が日本の金貨を銀と交換し，大量に国外に持ち出す。
  →幕府は質の低い⓴＿＿＿＿を大量に発行した（**万延改鋳**）ため，はげしいインフレーションを招く。
- 物価の高騰…国内物資の不足や万延改鋳によるインフレーションが原因。
- **攘夷運動**の発生…経済の混乱を引きおこしたとして外国人を排除・襲撃する。
  例 アメリカ公使の通訳㉑＿＿＿＿が江戸で暗殺される。

尊王攘夷論
- **尊王攘夷論**…㉒＿＿＿＿の**尊王論**と**攘夷論**が結びつく。
- 水戸藩士の㉓＿＿＿＿・東湖親子や会沢安（正志斎）らが中心。

❶ ❷ ❸ ❹ ❺ ❻ ❼ ❽ ❾ ❿ ⓫ ⓬ ⓭ ⓮ ⓯ ⓰ ⓱ ⓲ ⓳ ⓴ ㉑ ㉒ ㉓

73

教科書の本文に沿った空欄補充で重要事項をマスター

教科書の見開き１単元に対して１ページの構成ですっきりわかりやすく要点を整理

タブレット端末からご利用いただけるデジタル版もご用意しています！

Studyplus

紙の書籍を買うとシンプルな電子版が無料で使える
デジタル教材サービス対応【スタディプラス】
詳しくはこちら！ https://book-code.studyplus.jp/

無料

デジタル教材プラットフォーム

Libry

問題検索，学習履歴のデータ活用など多数の機能で
学習の幅が広がるデジタル教材版【リブリー】
詳しくはこちら！ https://libry.jp/

書籍購入済
＋550円

まとめ　第４編　③戦後

一問一答　各問いに答えよう。

① 1945 年に連合国が日本を間接統治するために東京においた組織をアルファベット３字で何というか。
② 1945 年に公布され，労働者の団結権・団体交渉権・争議権を保障した法律は何か。
③ 1947 年に公布され，教育の機会均等・男女共学・義務教育９年制などを定めた法律は何か。
④ 寄生地主制を解体し，自作農を増やすための一連の改革を何というか。
⑤ 財閥解体をおぎない，巨大企業の分割を進めるために公布された法律は何か。
⑥ 片山哲を書記長に，戦前の無産政党を統合して発足した政党は何か。
⑦ 石炭・鉄鋼などの重要産業に，資金・資材を集中的に投入する政策は何か。
⑧ アメリカから日本に招かれ，直接税中心の税制改革を勧告した人物は誰か。
⑨ 戦地から軍人・兵士が各家庭に戻ってくることを何というか。
⑩ 法隆寺金堂の焼損をきっかけに，1950 年に公布された法律は何か。
⑪ 共産圏に対抗するために，1949 年にアメリカを中心に結成された集団安全保障機構をアルファベット４字で何というか。
⑫ 1950 年，朝鮮戦争をきっかけにマッカーサーの要請によって創設されたものは何か。
⑬ 1951 年に調印され，翌年の日本の独立を認めた条約は何か。
⑭ 日本の独立後もアメリカ軍が引き続き駐留することを認めた条約は何か。
⑮ 1954 年に，日米間の MSA 協定にもとづき，日本の防衛と公共の治安維持を任務として発足した陸海空からなる組織は何か。
⑯ 日本民主党と自由党が合体し，自由民主党が結成されたことを何というか。
⑰ 1956 年に，鳩山一郎内閣がソ連と国交を回復した条約を何というか。
⑱ 60 年安保闘争の責任をとって退陣した首相は誰か。
⑲ 佐藤栄作内閣が韓国と国交を正常化した条約を何というか。
⑳ 1972 年に，アメリカの統治下から祖国復帰が実現したのはどこか。
㉑ 朝鮮戦争をきっかけに，アメリカ軍の日本への注文が増加したことによって生まれた好景気を何というか。
㉒ 1960 年代前半に，所得倍増をかかげ高度経済成長を進めた首相は誰か。
㉓ 1964 年，東京オリンピックの開催直前に東京・新大阪間で開通した鉄道は何か。
㉔ 石炭から石油，水力から火力による発電への変化を何とよぶか。
㉕ 1967 年に公布され，公害を発生させた事業者や国などの責任を明らかにした法律を何というか。
㉖ 1973 年の第４次中東戦争をきっかけに原油価格が高騰し発生した経済混乱を何というか。
㉗ 日中共同声明によって日本が国交を正常化した国の正式名称は何か。
㉘ 1976 年に発覚し，田中角栄前首相が逮捕された汚職事件は何か。
㉙ 新自由主義をかかげ，国有鉄道の民営化などを進めた首相は誰か。
㉚ 1993 年に，細川護熙内閣が成立したことで崩壊した政治体制は何か。
㉛ 2001 年に首相となり，郵政民営化や規制緩和を進めた首相は誰か。

解　答　欄
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱
⑲
⑳
㉑
㉒
㉓
㉔
㉕
㉖
㉗
㉘
㉙
㉚
㉛

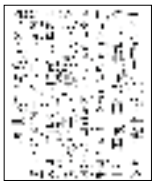
編末まとめで各時代の
重要事項を総ざらい
古代／中世／近世／明治期／
大戦期／戦後の時代ごとに
内容をまとめた一問一答と
確認問題で重要事項の
確認・復習に取り組めます

解　答　欄
a
b
c
d
e
f
g
h
i
j
k
①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
A
B
C

確認❸　年表を見て，各問いに答えよう。

1600	オランダ船（　a　）が豊後に漂着する
1609	薩摩藩の（　b　）氏が琉球王国を征服する
1613	①慶長遣欧使節がスペイン・ローマに派遣される
1633	（　c　）以外の日本船の海外渡航が禁止される
1635	（c）の海外渡航が禁止される
1637	九州で，（　d　）・天草一揆が発生する
1639	（　e　）船の来航が禁止される
1641	平戸のオランダ商館を長崎の（　f　）に移す
1711	②朝鮮使節への待遇を簡素化する　…A
1715	③金銀の流出を防ぐために，長崎貿易を制限する　…A
1792	ロシア使節（　g　）が根室に来航する　…B
1802	幕府が東（　h　）を直轄地とする
1804	ロシア使節（　i　）が長崎に来航する
1807	幕府がすべての（h）を直轄地とする
1808	イギリス船（　j　）が長崎港に侵入する （　k　）が北方を探検し，樺太が島であることを確認する
1811	④ゴローウニン事件が発生する
1825	⑤無二念打払令が発令される
1837	⑥モリソン号事件が発生する
1842	無二念打払令が緩和され，⑦薪水給与令が発令される　…C

・（　a　）～（　k　）にあてはまる語句をそれぞれ答えよ。
・①について，使節として派遣された仙台藩士は誰か。
・②の使節を何というか，漢字５字で答えよ。
・③について，この法令を何というか。
・④の事件でロシア側にとらえられた日本人商人は誰か。次から一つ記号で選べ。
　ア．大黒屋光太夫　イ．高田屋嘉兵衛　ウ．茶屋四郎次郎　エ．河村瑞賢
・⑤の法令は右の内容だが，一般的には何というか。
・⑥の事件を批判したため，渡辺崋山や高野長英などの洋学者が処罰された事件を何というか。
・⑦の法令を幕府が発令したきっかけとなった，清がイギリスに敗北した戦争を何というか。
・Aの政策を推進した儒学者は誰か。
・Bに対応した老中は松平定信だが，この時の政治改革を何というか。
・Cのときに天保の改革をおこなっていた老中は誰か。



副教材データダウンロードのご案内　NEW！！

デジタルサポートサイトから DL

このマークがついた書籍につきましては，デジタルサポートサイトから問題・解答など各種データをダウンロードしていただけます。なお，ダウンロードの際には，ご採用校様（原則10冊以上）へ「ユーザーID」と「パスワード」を発行しての利用を予定しております。ダウンロード，ID 発行などの詳細につきましては，弊社営業部にご確認いただくか HP をご確認ください。

※当ページでは，歴史総合の副教材をご案内いたします。

副教材

New

史資料と問いから考える 歴史総合トレーニング

デジタルサポートサイトから DL

- 判　　型：B5版
- ページ数：152ページ　解答別冊
- 価　　格：定価990円（税込）
- ＩＳＢＮ：978-4-389-21876-8

☑ 示された資料を読み取り、**自分で「問い」を立てられるようになる**➡問いを表現する

☑ テーマに沿って**要点をまとめ、知識を整理**➡史実の確認

☑ 数多くの資料を掲載！**多角的・多面的な考察へリード**➡史料・資料を読む

☑ 自分で立てた「問い」が、**学習を通じてどう変化したのか「まとめ」で検証！**➡まとめ

史実の確認

冒頭に単元のテーマとなる「単元を貫く問い」を明示

空欄に書き込みながら重要事項を確認できる

2 大衆の登場

◆単元をつらぬく問い
「大衆」とは何か、「大衆」の登場は政治や文化にどのような影響を与えたのか

史実の確認

1 世界史上の民衆運動
テーマ　第一次世界大戦後、「大衆」の政治参加はどのように実現していったのか

・（①　　）…社会の大部分を占める存在　→戦前は「男性」に限定
・第一次世界大戦の影響…（②　　）体制　→女性の社会進出をうながす
　→諸外国の影響を受け、民主政治の流れが日本にも波及

a．イギリス
・選挙法改正：第４回（1918年）…21歳以上の男子、30歳以上の女子に選挙権を認める
　第５回（1928年）…21歳以上の男女に平等な選挙権
　＝完全な（③　　）制の確立
　→（④　　）党内閣の成立…選挙法改正と大戦後の不況の影響

b．ドイツ
・「ヴァイマル共和国」：戦間期ドイツの通称、プルジョワ民主主義政体
・（⑤　　）を制定…当時最も「民主的」であるとして高く評価される
　特色　(1)連邦制の共和国：18の州（ラント）で構成
　　(2)男女同権の普通選挙制
　　(3)労働者の（⑥　　）権、（⑦　　）権を認める

c．イタリア
・社会主義運動の高まり…失敗
　→（⑧　　）の台頭…独裁権力のもと、国民の権利や自由が制限され、国家の利益を実現
　（⑨　　）がファシスト党を創設（1919年）、（⑩　　）主義を標榜

d．ソ連：労働者による政権の登場
・「ソ連」の成立…「ソヴィエト社会主義共和国連邦」の樹立を宣言（1922年）
　→労働者階級による政権。世界の労働運動を刺激するきっかけになる

まとめ　学習した知識と教科書等を参考に、単元のテーマを自分の言葉で説明してみよう。

70　第３部　国際秩序の変化や大衆化と私たち

2 大正デモクラシーと大衆の政治参加
テーマ　日本で「大衆」の政治参加はどのように実現していったのか

・（⑪　　）…大正期の日本で、アメリカの影響やソ連の登場を受けて広がった自由主義的、民主主義的な動き

a．日本における「大衆」の登場
・（⑫　　）事件…ポーツマス条約で賠償金が取れないことへの不満
　→多くの「国民」が参加した最初の暴動＝「大衆」の出現
・（⑬　　）…「閥族打破」「憲政擁護」がテーマ、桂太郎内閣の退陣を求める
　→桂内閣の退陣（＝大正政変）…民衆運動による最初の政権交代
　→（⑭　　）を結成し、民衆の声をくみ取る動きの加速　（例）立憲同志会の成立

b．日本における第一次世界大戦の影響
・大隈重信内閣の登場…国民に人気の政治家を起用　→「大衆」への政治的配慮
・第一次世界大戦…日本は参戦
・寺内正毅が組閣　→対ソ干渉戦争である（⑮　　）を決定
　→米価高騰による（⑯　　）…運動は全国、アジアへも波及　→寺内内閣退陣
　→初の本格的（⑰　　）である原敬内閣の登場
　・小選挙区制の導入、納税資格の引き下げによる有権者の増加
　・積極政策…地方での高等教育の充実など

c．普通選挙運動と治安維持法
・（⑱　　）…非政党内閣である清浦奎吾内閣の登場がきっかけ
　スローガン：「普選断行」「行政整理」「貴族院・枢密院改革」
　→清浦は選挙で敗北、退陣　→護憲三派である加藤高明内閣の登場

d．加藤高明内閣
・日ソ基本条約（1925年）…ソ連の成立を受けて、日ソの国交樹立
・（⑲　　）公布（1925年）…（⑳　　）主義運動の取り締まり
・普通選挙法（1925年）…衆議院議員選挙法の改正
　→納税資格制限を撤廃、25歳以上の男子に選挙権、30歳以上の男子に被選挙権
　＝「大衆」の範囲は拡大したものの、一方ではそれが制限される結果となった

まとめ　学習した知識と教科書等を参考に、単元のテーマを自分の言葉で説明してみよう。

テーマごとに**要点をおさえて，知識を整理**

以降の史料・資料を用いた考察・記述問題「史料・史料を読む」でも必要な**知識を効率的におさえる**

史料・資料を読む

3 女性の社会進出

資料 7　各時代の女性の様子

図 1 「家の光」（1860年）

図 2　流行の服装の勤労女性（第一次世界大戦中）

図 3　車から降りるフラッパー（1920年代）

資料 8　1920年代のアメリカの女性に対する描写

流行の変化――短いスカート、ボーイッシュな姿態、細身でロー・ウェストのドレス、化粧品の思いきった使いかた――などは、アメリカ女性の理想像がほんとうに変わったことを表している（同時に、それは女性の好みに関する男性の理想の変化かもしれない）。女性たちは、自由――いままで彼女たちを非活動的な生活に縛りつけてきた拘束から離れて、働いたり遊んだりする自由――のことばかり考えていた。だが、彼女たちが求めていたものは、初期の婦選論者が麦わら帽をかぶり、黒っぽいスーツを着、踵（かかと）の低い靴をはいてやったような男性および男性の要求からの自由ではなかった。一九二〇年代の女性は、ゴルフ場や事務所にいるときでさえも、男をうっとりさせたいと願っていた。週末になると髪を切り、簡単な小さな帽子をかぶり、ニッカーボッカーをはくフラッパーな小娘も、絹の靴下とハイヒールを手放そうとはしなかった。戦後女性の理想は、豊かな成熟や、老練な知恵や、修練をつんだ優雅さではなかった。

（F.L.アレン、藤久ミネ訳『オンリー・イエスタデイ』ちくま文庫、1993年）

問 5　フランスのファッションデザイナーで、女性の社会進出とともに、シンプルで動きやすい 資料 7 の図 3 のような服装をデザインした人物を答えなさい。　（　　）

問 6　女性の理想像は、時代が変わると同時にどのように変化していっただろうか。資料 7、8 を参考に述べよう。

76　第 3 部　国際秩序の変化や大衆化と私たち

文字史料や写真資料など，様々な種類の資料を多数掲載
文字史料：約100点
写真：約40点
統計・地図：合計約50点

資料から読み取るポイントの意識付け，資料どうしの関連を考察する問いも盛り込み，**多面的・多角的な考察へリード**

副教材

史料・資料を読む

1 冷戦の終結が日本や世界にどのような変化をもたらしたのだろうか

資料 1　湾岸戦争終結後に掲載された新聞記事

「ありがとうアメリカ。そして地球家族の国々」。イラクからの解放を国際社会に感謝するため、クウェート政府が11日付のワシントン・ポスト紙に掲載した全面広告の国名リストに、湾岸の当事国を除けば多国籍軍への世界最大の財政貢献国である「日本」がなかった。日本と同様、兵力の直接提供を担だドイツは載っている。……

日本政府は今のところ、この広告に対して措置をとることを「大人げない」として、あえて静観の構えだが、この広告が「評価されない日本」「何をしようとしているのか分からない日本」のイメージを一層定着させることを、恐れている。

（『朝日新聞』1991年 3 月12日）

資料 2　湾岸戦争後の日本外交の反省

湾岸危機の諸問題について日本が行った多額の資金協力を始めとする様々な協力は時間の経過とともに、国際的にも評価されるようになっている。しかし、湾岸危機の近況が国際社会を支配していた段階においては、日本の協力について「遅過ぎる、少な過ぎる」という批判や日本の協力に人的側面の協力が含まれていないことについての批判があった。

（外務省『1991年版外交青書』）

問 1　資料 1、2 から、湾岸戦争の対応で日本がどのような点で批判されたのか考えよう。

問 2　日本の対応が批判された理由を、冷戦終結後の国際環境の変化と結び付けて考えよう。

資料 3　PKO 協力法成立を受けてのシンガポール政府の反応を伝える新聞記事

PKO 協力法の成立について、東南アジア諸国には肯定的な見方が広がっているが、シンガポール政府は十五日、改めて日本の国際貢献は平和的活動に限られるべきだ、と明確な歯止めを要求した。

同国は外務省が同法を「日本がカンボジアの国連活動を支援し、国際的責務を果たすことに道を開いた」と位置付ける一方で「非戦闘活動のみでの貢献が許されている」と平和的貢献だけに限定されていることを強調した。その上で、日本の軍事大国化への懸念については「過去の行為と将来の地域での役割をアジアの国々にどう示すかだ」と過去の謝罪を含めた日本の明確な態度表明にかかっていることを指摘した。

（『北海道新聞』1992年 6 月16日掲載）

130　第 4 部　グローバル化と私たち

資料 4　村山談話（1995年 8 月15日発表）

いま、戦後50周年の節目に当たり、われわれが銘記すべきことは、来し方を訪ねて歴史の教訓に学び、未来を望んで、人類社会の平和と繁栄への道を誤らないことであります。

わが国は、遠くない過去の一時期、国策を誤り、戦争への道を歩んで国民を存亡の危機に陥れ、植民地支配と侵略によって、多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に対して多大の損害と苦痛を与えました。私は、未来に誤り無からしめんとするが故に、疑うべくもないこの歴史の事実を謙虚に受け止め、ここにあらためて痛切な反省の意を表し、心からのお詫びの気持ちを表明いたします。また、この歴史がもたらした内外すべての犠牲者に深い哀悼の念を捧げます。

敗戦の日から50周年を迎えた今日、わが国は、深い反省に立ち、独善的なナショナリズムを排し、責任ある国際社会の一員として国際協調を促進し、それを通じて、平和の理念と民主主義とを押し広めていかなければなりません。

問 3　日本の PKO への派遣決定はアジアにどのような反応をもたらしただろうか、資料 3 を参考に答えよう。

問 4　冷戦の終結により、日本を取り巻く環境はどのように変わったのだろうか。次の(1)〜(3)について考えよう。

(1)アジアの一員としての日本を取り巻く環境はどのように変わったのか考えよう。

(2)世界の一員としての日本を取り巻く環境はどのように変わったのか考えよう。

(3)この先の日本にはどのような姿が求められているのか考えよう。

記述問題も問題集に
書き込んで解答できる

問いを表現する

各部の導入として，資料から**自分なりの“問い”（学習テーマ）**を設定します

第3部「国際秩序の変化や大衆化と私たち」の問いを表現する

◆以下にあげる資料は「国際秩序の変化や大衆化」の歴史に関連するものです。これらの資料を読み解きながら、これから「国際秩序の変化や大衆化と私たち」を学習するうえで、自分にとっての「国際秩序の変化や大衆化」を読み解くための「問い」を表現しよう。

1　国際関係の緊密化

資料 1　年表：1920〜30年代の国際的な動き

年	できごと
1919	ヴェルサイユ条約締結
1920	国際連盟成立
1921	ワシントン会議…海軍軍縮条約（※1）などを締結
1925	ロカルノ条約…ヴェルサイユ条約の再確認
1926	ドイツ、国際連盟加盟
1928	パリ不戦条約
1930	ロンドン軍縮会議（※2）

※1　列強間で主力艦の保有比率を定める
米：英：日：仏：伊
＝5：5：3：1.67：1.67

※2　補助艦の保有比率を定める
米：英：日＝10：10：7

問 1　資料 1 と中学校までの学習から、1920年代はどのような時代だったといえるか考えよう。

2　アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭

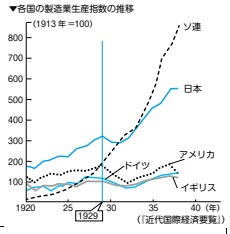
資料 2-1　アメリカ合衆国の債務・債権

1914年
54億ドルの債務 → 1920年末
90億ドルの債権

イギリス・フランスへの債権（推計）
18億3500万ドル（1917年7月時点）

資料 2-2　各国の製造業生産指数の推移

▼各国の製造業生産指数の推移



（「近代国際経済要覧」）

問 2　資料 2-1、2 から、アメリカが20世紀初頭に世界経済をリードした要因は何か考えよう。また、ソ連が着実に生産力を伸ばしているのはなぜだろうか。

58　第3部　国際秩序の変化と大衆化と私たち

2　植民地の独立

資料 3-1　1945年〜49年に独立した国
1950年〜59年に独立した国
1960年に独立した国

①モーリタニア　②セネガル　③マリ　④コートジボワール　⑤ブルキナ・ファソ　⑥ニジェール　⑦ベナン　⑧トーゴ　⑨チャド　⑩ナイジェリア　⑪カメルーン　⑫中央アフリカ共和国　⑬ガボン　⑭コンゴ共和国　⑮コンゴ民主共和国　⑯マダガスカル　⑰ソマリア

資料 3-2　20世紀初頭の世界

問 3　第二次世界
また、資料 3-1

ナイジェリア	
モロッコ	
インド	

問いを表現

以下の 5 つのキーワードから、特に興味・関心を持ったものを 2 つあげよう。

【5 つのキーワード】
「国際関係の緊密化」／「アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭」／「植民地の独立」／「生活様式の変化」／「大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化」

これまでの資料の読み解きで生じた疑問点をふまえて、「私にとっての国際秩序の変化や大衆化を読み解くための問い」を表現してみよう。その際には、上で選んだキーワードから、疑問に感じた点やこれから学んでいきたいことを、「問い」の形で表現しよう。

※「問い」については、巻頭の「問いの例」も参照

問い	
この問いを立てた理由	

まとめ

「国際秩序の変化や大衆化と私たち」のまとめ

◆ 20 世紀に入り国際社会がめまぐるしく変化していく中で、「大衆社会」が形成されていきました。第 3 部のまとめとして、次の 2 つの資料を用いて、「統合・分化」という観点から「大衆化」を考えてみましょう。

問 1　これまでの学習を振り返り、あなたが第 3 部の最初に設定した「問い」について、わかったことや考察したことをまとめてみよう。

1　2019 年 11 月に中国で最初に確認された新型コロナウィルス（COVID-19）は、その後全世界に感染が拡大し、私たちの生活も様々な面で制限され、大きく変容しました。しかし歴史を振り返ると、このようなウィルスの流行は過去にもあり、例えば 1918 〜 20 年にはインフルエンザが世界的に大流行し、日本では「スペインかぜ」と呼ばれました。このような伝染病の歴史から「大衆化」を考えよう。

資料 1　「スペインかぜ」流行時の資料

図 1 当時の啓発ポスター①　図 2 当時の啓発ポスター②　図 3 当時の日本の女学生

「マスク」をかけぬと…

死亡者数
（1 億人との説も）
日本：約 5,500 万人）
感染症情報センター）

資料 2　新型コロナウィルス感染症の資料　（厚生労働省ホームページ）

図 1 新型コロナウィルス感染拡大防止の啓発ポスター

感染拡大防止
マスク！
手洗い・手指消毒！
ゼロ密！
飲食店の感染リスク低減にご協力をお願いします！
ダメ！
一人ひとりのご協力が大切です

図 2 感染者数と死亡者数（2022 年 8 月末時点）

	感染者数	死亡者数
世界	約 6 億 154 万人	約 649 万人
日本	約 1877 万人	約 4 万人

問 2　資料 1「ス

同じ点	
違う点	

問 3　現代の感染
びかけに従った

問 4　資料 3、4 から、当時ドイツと日本で「排除」されたのは、どういった人たちだったのか。

ドイツ	日本

問 5　特定の集団が「排除」されるようになった理由は何だったのか、考えよう。

問 6　資料 1・2、資料 3・4、コロナ下における現代の社会を比較して、共通点を探そう。また、その共通点を手掛かりに、自分なりに「大衆」とは何かを定義しよう。

共通点
「大衆」とは何か

まとめ①　これまでの取り組みから、「私は大衆なのか」考えよう。

導入で設定した“問い”を見直しつつ，学習内容を振り返り，**歴史と現代社会について考察**し，次の単元の学習につなげます

解答・解説

④代表なくして課税なし　⑤トマス＝ジェファソン
⑥独立宣言　⑦ロック　⑧ワシントン　⑨パリ条約
⑩合衆国憲法　⑪アンシャン＝レジーム　⑫ルイ 16 世
⑬三部会　⑭国民議会　⑮バスティーユ牢獄（監獄）
⑯人権宣言　⑰恐怖政治　⑱ナポレオン　⑲皇帝
⑳ナポレオン法典　㉑ウィーン会議　㉒ナショナリズム
㉓自由主義　㉔ギリシア　㉕スペイン　㉖七月革命
㉗二月
㉙サル　王国
㉛ビス
㉞西部
㊲奴隷

解答のパターンを複数ご用意しています

史料・資料を読む

問 1
(1)ボストン茶会　(2)①先住民（インディオ）　②東インド
(3)（例）仲間と仲間ではない人を区別するため。／先住民に罪をなすりつけようとしたため。／ドラマチックな演出をするため。／モラルエコノミー（茶を捨てるのはもったいないという経済的合理性よりも茶の貿易の自由がイギリスにより奪われたという道徳的な経済性を重んじる行為）としての儀礼的行為（シャリヴァリ）。

問 2
(1)ワシントン
(2)（例）アメリカの紙幣にはジェファソンやジャクソン、リンカンなど政治家が多く、民主主義の確立に貢献した人物が多い。一方日本は、福澤諭吉といった思想家や夏目漱石や樋口一葉といった文豪など政治家ではない人物が多い。
解説 20　梅子、北里柴三
(3)（例）　の国がどのよ　国の歴史を国

派生点にもふれた解説をおこなっております

問 3
下線部分：（例 1・第 1 条）人は、自由かつ権利において平等なものとして生まれ、そして生存する（例 2・第 10 条）その意見の表明が法律の定める公の秩序を乱さないかぎり
なぜそれが大事だと思うか：（例 1）フランス革命前の絶対王政の不平等かつ不自由な点を否定し、新しい原理を提唱しているから。（例 2）自由や平等が制限される条件としての、公共の福祉について明言しているから。

問 4（例）フランス革命をつぶそうとする勢力（オーストリア等）に対して、革命によって自ら樹立した自分たちの祖国を守ろうという意識（ナショナリズム）を高めることを意図している。

問 5
(1)（例）
銃を構えている兵士：フランス（ナポレオン）軍で、冷酷で無慈悲な侵略者として描かれている（没個性、顔が描かれていない）。
倒れている人：スペイン反乱の犠牲者で、圧倒的な弱者として描かれている（非武装）。
手を挙げている人：正義を貫きスペインを守ろうとしたマドリード市民で、殉教するイエスになぞらえて描いている。

解説 ポーズ、右手の聖痕、人
絵の左端の母子像から読み取
(2)（例）ナポレオン軍への怒
たいという感情。

問 6（例）教育によって人々が君主や法に対し　才的になることや、社会的上昇を果たすこと。

根拠を明確に示して内容を充実させています

問 7（例）フランスやアメリカのような市民を中心とした革命を通じて勝ち取った自由や平等を具現化するための国民国家ではなく、国王や貴族を中心とした、民主主義ではなく戦争を通じて達成された上からの近代化であるため、君主権が強くなっている。

まとめ
(1)（例）領域内の住民を国民として統合することによって形成される国家形態であり、統合の手段として教育や軍隊、国家や国旗、共通の度量衡や言語、文化、あるいは憲法（現在においてはオリンピックなどの祝祭典等も）等が用いられる。他方で国民国家は国民としての規範を伴うため、必然的に国民に含まれないものを排除することになる（少数民族への抑圧や、性差別等の問題）。また、市民革命によってではなく国王や貴族を中心として形成される国民国家においては、権威主義的だったり、国民の自由や権利が制限される傾向がある。
解説 フランスやアメリカのような共和主義的な国民国家と、ドイツや日本のような君主権の強い権威主義的な国民国家を比較するとわかりやすい。
(2)（例）国民とは、教育や軍隊、国家や国旗、共通の度量衡や言語、文化、あるいは憲法等を通じて国家に統合されており、同胞意識や祖国への愛着を形成することが多い。他方で、国民ではない他者に対して同じ地球市民として対等かつ複眼的な視点で関係を取り結ぶことが望まれるが、われわれとわれわれ以外、という二分法は時に他者への優越感や差別意識等につながることもある。
解説 スポーツの国際試合や海外旅行など、他者が明確に意識される時に浮かび上がってくるのが国民意識である。それは「国民であること」を通じた連帯をもたらすこともあるが、同時に他者の排除にも容易につながることもあるため、そのことへの自覚が重要となる。

4　立憲体制と国民国家②　→ p.38 ～

史実の確認

①王政復古の大号令　②廃藩置県　③明治維新
④岩倉具視　⑤西郷隆盛　⑥大久保利通　⑦洋務運動
⑧李鴻章　⑨中体西用　⑩日清修好条規　⑪日朝修好条規
⑫樺太・千島交換条約　⑬琉球処分　⑭沖縄県
⑮自由民権運動　⑯伊藤博文　⑰内閣制度
⑱大日本帝国憲法　⑲欽定憲法　⑳天皇大権
㉑貴族院（衆議院）　㉒衆議院（貴族院）　㉓大津事件
㉔陸奥宗光　㉕領事裁判権　㉖小村寿太郎　㉗関税自主権

史料・資料を読む

問 1　①権力（国家権力）　②人権（国民の権利・自由）
問 2
資料 2 (1)国民　(2) 11

指導用資料デジタルコンテンツ・教材活用一覧

授業準備から評価までを徹底サポート！

指導者	学習者

授業のまえに

指導者

板書作成
- 指導書【PDF】
- 指導書「指導と研究」
- 板書例【Word】
- デジタル板書【PPT】

プリント作成
- 授業プリント【Word】
- 教科書図版や写真【JPEG】
- 教科書本文テキスト【Word】
- プリント素材データベース

学習者

予習
- 教科書 QR コンテンツ
- 一問一答問題【Word】
- 教科書準拠ワークノート

授業のなかで

指導者

視覚資料・プリント作成
- デジタル板書【PPT】
- 授業プリント【Word】
- 思考ツール【Word】
- 白地図, 法令データ【Word】
- シンプル版デジタル教科書（指導者用）

学習者

授業
- 授業プリント【Word】
- 学習者用デジタル教科書
- 教科書準拠ワークノート

※青で記載の資料は，デジタル指導書をご購入いただいた際，クラウド上で最新のデータをご利用いただけます

先生の指導や，生徒の学習をサポートする デジタル教材と書籍を用意しています

指導者	学習者

授業のあとに

復習用教材作成

- 教科書準拠ワークノート【Word】
- 単元振り返りシート【Excel】
- 一問一答問題【Word】

復習

- 教科書準拠ワークノート
- その他副教材

- 単元振り返りシート【Excel】
- 一問一答問題【Word】

テスト・評価

試験問題作成

- 定期試験問題【Word】
- 共通テスト，センター試験過去問【Word】
- ルーブリック評価表【Excel】
- プリント素材データベース

テスト

- 定期試験
- 確認テストや小テスト

Web サポート

デジタルサポートサイトから DL

弊社の副教材をご採用いただくと，デジタルサポートサイトから問題・解答など各種データをダウンロードしていただけます。なお，ダウンロードの際には，ご採用校様（原則 10 冊以上）へ「ユーザー ID」と「パスワード」を発行しての利用を予定しております。ダウンロード，ID 発行などの詳細につきましては，弊社営業部にご確認いただくか HP をご確認ください

教師用指導書ラインナップ

高等学校 日本史探究 指導と研究〈書籍版指導書〉

▶B5版　544ページ　▶定　価：17,600円（税込）　◆ISBN:978-4-389-60648-0
▶デジタル指導書セット　▶定　価：42,900円（税込）　◆ISBN:978-4-389-60654-1

- 単元ごとの授業の展開案や板書例，事項の解説，参考文献に加え，**教科書の内容＋αの史資料**などを盛り込んだ**授業準備を全面サポートする充実の内容**です。
- 書籍版に P.44 ～54 のコンテンツデータは付属しません。データが必要な場合はデジタル指導書セットをご購入ください。

Point1
単元の学習目標を明示

Point3
導入例や具体的な学習活動例と評価の観点，「探究しよう」の活用例など，実践的な指導案を示しています

94　第2編　中世の日本と世界

16　中世社会はどのようにして成立したのか　教科書 pp.50～51

学習目標　中世荘園や荘園公領制の成立過程を知ることで，古代と中世の違いを説明できるようになる。

板書例（本単元で身につけたい知識）　黒丸数字は「探究しよう」の番号

1．古代荘園から中世荘園へ
・10 世紀：初期荘園の行きづまり
・一部の荘園領主が不輸・不入の権を得る
・朝廷だけでなく，国司も租税の免除を認める
・多くの名の経営を国司から請け負う大名田堵の出現
・11 世紀：開発領主の出現と開発
国司による収公をのがれるために土地を中央の貴族・寺社（領家）に寄進，開発領主は荘官に
寄進をうけた貴族・寺社は上級者（本家）に寄進
本家（天皇家・摂関家）
↑　寄　進
領家（中央の貴族・寺社）
↑　寄　進
荘官（開発領主）

2．領域型荘園と寺社の役割
・11 世紀前半まで：免田型荘園
11 世紀後半以降：領域型荘園
・領域型荘園
田畠だけではなく，山野河川・村落を含む
・国司による公領の再編成
律令制の郡・郷
→開発領主の支配領域である郡・郷・保
・一国平均役（臨時税）の賦課
→その準備としての荘園整理令
・税目の変化
官物・臨時雑役→年貢・公事・夫役
・荘園と公領（郡・郷・保）が地域の基本単位に
＝荘園公領制
変質しながら太閤検地まで続く
・境界紛争
武士の軍事力も貴族・寺社の調停能力も必要
・荘園内に現地を守るための寺社を設置
↑中央の末寺・末社

授業の展開

導入例
・東アジアの変動と国風文化との関係について振り返る。
・かな文字の出現が文学に与えた影響を復習する。
・10～11 世紀の社会状況と浄土思想の関係を再確認する。

展開1　古代荘園から中世荘園へ
▶ 10 世紀～ 11 世紀前半に起こった変化を確認する。
知技 ➡板書例
▶探究しよう❶❷を，教師の説明や教科書をもとにまとめ，グループでそれを共有する。思判表
探究しよう❶ 10 世紀以降，地方でおこった開発のうごきを説明してみよう。
探究しよう❷ 荘園の租税が免除される仕組みを説明してみよう。

展開2　領域型荘園と寺社の役割
▶教 p.51 図 3「紀伊国桛田荘絵図」について，以下の作業を行い，その結果をグループで共有する。知技 態度
①荘園の境界を線で囲う　②荘園の内側に何があるかを見つける　③荘園の外側に何があるかを見つける　④絵図が作られた 12 世紀後半の出来事を教科書の年表から探す。
▶ 11 世紀前半までの荘園の例である，教 p.50 図 1「元興寺領近江国愛智荘の復元図」と，教 p.51 図 3 との違いをグループで考えさせる。思判表
▶ 11 世紀後半以降の荘園について確認する。知技
➡板書例
▶探究しよう❸を，教師の説明や教科書をもとにまとめ，グループでそれを共有する。思判表
探究しよう❸ 荘園の租税を免除したことに対して，朝廷はどのようなことをおこなったか，説明してみよう。

まとめ
古代から中世の転換は，荘園公領制が土地制度の基礎となったことによるものであり，荘園公領制は 16 世紀まで変質しながら続くことを確認する。

Point4
「主体的・対話的で深い学び」に対応した，資質向上に寄与します

Point2
単元ごとにおさえたい知識項目をまとめた実用的な「板書例」をご用意しています

高等学校 日本史探究
デジタル指導書〈クラウド配信版〉

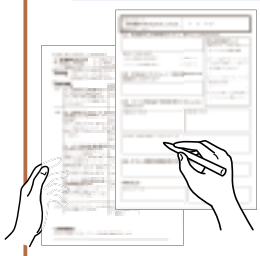
▸定　価：25,300円（税込）　◆ISBN:978-4-389-60642-8
▸書籍版指導書セット　▸定　価：42,900円（税込）　◆ISBN:978-4-389-60654-1

- 指導にすぐ使える **オールインワンパッケージ**
- 指導書・教科書の **デジタルコンテンツが満載**
- **いつでも，どこでも使えるクラウド配信版**のプリント作成アプリもご用意 P.52
- ご要望に応じて **DVDでの提供も可能**

収録データ

17種 約700ファイル（JPEG 含めず）

●書籍版指導書PDF P.44



各テーマの授業の流れ，ポイント，図版・資料の活用方法や，内容を掘り下げるための**発展的な問いかけ例，指導上の留意点**などをまとめています。授業の流れやポイントを理解させ，**自ら考える学習**を促します。

●デジタル板書 PPT P.46

板書例を**パワーポイントデータ**でご用意。**授業でそのまま使える内容**で先生方の負担を軽減します。
オリジナルスライドへの加工も簡単。

●板書例	Word	指導書 PDF の板書例を Word 化	P.45
●教科書PDF	PDF	全ページを収録	P.48
●教科書本文テキスト	Word	本文＋側注データを収録	P.48
●教科書図版・写真	JPEG	プリント作成に活用できる	P.48
●教科書準拠ワークノート	Word	書籍版のワークノートを Word 化	P.49
●定期試験問題	Word	知識の定着や思考力をはかる問題などを収録	P.51
NEW ●授業プリント	Word	デジタル板書を Word 化，プリントアウト用素材	P.47
NEW ●一問一答問題	Word	小テスト、授業補足の予習復習に	P.51
NEW ●思考ツール	Word	様々な目的に使えるテンプレート集	P.50
NEW ●単元振り返りシート	Excel	自己分析や目標設定・評価に活用できる	P.49
●QRコードコンテンツ一覧	各種形式	教科書のQRコードにリンクしている独自素材など	P.32
●シラバス案・ルーブリック等	Excel	指導案の作成に	P.58
●白地図・法令データ	Word/JPEG	補足資料，作業学習に活用できる	P.50
●共通テスト・センター試験過去問	Word	2015 ～ 2023 年の過去問，共通テスト試作問題収録	
NEW ●シンプル版デジタル教科書	PDF	手軽に電子黒板等で活用できる	P.54

デジタル指導書収録コンテンツ

指導書PDF PDF

単元ごとの授業の展開案や板書例，用語解説，参考文献に加え，
教科書の内容＋α の史資料などを盛り込んだ
授業準備を全面サポートする充実の内容です。

Point 2
実践的で具体的な指導案で
授業の構築をサポート

Point 1
単元の
学習目標を
明示

214　第３編　近世の日本と世界

42 江戸幕府の政治はどのように推移したのか

教科書 pp.118～119

学習目標
・安定期に入り，幕府政治にどのような変化が現れたか，諸資料をもとに話し合い表現する。
・綱吉の政治について，価値観の転換が図られた政策について，図や史料をもとに考察する。
・新井白石の政治について，儒学を支柱に法・制度・機構が整備されていった状況を理解する。

板書例（本単元で身につけたい知識）　黒丸数字は「探究しよう」の番号

1．幕藩体制の安定
・３代将軍家光までの政治
　大名の改易・減封による牢人（浪人）の増加
　かぶき者の出現…平和に適合できない武士の集団
　1651 年　慶安事件：由井正雪が反乱を計画
・４代将軍家綱の政治　改易の減少策
　1657 年　明暦の大火
　末期養子の禁止の緩和
　1663 年　殉死の禁止❶
　各藩における藩政の確立
　　…家老を中心とした行政組織の整備
・名君の登場　保科正之（会津），徳川光圀（水戸）

2．徳川綱吉の政治
・側用人政治への転換：柳沢吉保の重用
・学問の奨励
　儒学の奨励：林信篤の登用，湯島聖堂の建設
　生類憐みの令：過度の動物愛護に社会が混乱　❷
・財政難とその対応
　①原因　金銀産出量の激減，明暦の大火後の復興，将軍家の浪費
　②対応　荻原重秀の登用，元禄金銀の発行
　　→物価の上昇　❸
・1702 年　赤穂事件…歌舞伎で上演
・1707 年　富士山の噴火（宝永大噴火）

3．新井白石の政治（正徳の治）
・朝幕関係の融和：閑院宮家の設置
・外交儀礼の整備
　朝鮮通信使の待遇の簡素化
　「日本国大君」から「日本国王」へ改称
・貨幣改鋳
　正徳金銀：金銀含有率を改鋳前にもどす
・1715 年　海舶互市新例：金銀の海外流出を制限

授業の展開

導入例
・教 p.118 図２「江戸時代初期の大名の改易数」から，３代将軍家光まではどのような政治が行われていたのかを考えさせる。思判表　態度
・教 p.118 史料「生類憐みの令」を読み，感想を出し合い，グループで共有する。思判表　態度

展開１　幕藩体制の安定
▶探究しよう❶を，教師の説明や教科書をもとにまとめ，グループでそれを共有する。思判表　態度
　探究しよう❶ 殉死することについて，殉死する家臣の気持ちになって話し合ってみよう。
留意点：４代将軍家綱の補佐役として会津藩の保科正之が選ばれたのは，彼が家光の異母弟であった史実に留意させる。

展開２　徳川綱吉の政治
▶探究しよう❷❸を，教師の説明や教科書をもとにまとめ，グループでそれを共有する。思判表　態度
　探究しよう❷ 生類憐みの令を出した綱吉の政治はよい政治だったのか，話し合ってみよう。
　探究しよう❸ 明暦の大火後，自分ならば江戸をどのように再建するか，話し合ってみよう。
▶ 教 p.119 図４「吉良邸に乗りこむ元赤穂藩藩士」や参考となる資料を用意し，「赤穂義士」あるいは「忠臣蔵」として知られる事件を取り上げ，その内容や後の社会的影響についてまとめ，グループで共有する。思判表　態度

展開３　新井白石の政治
▶学者としての新井白石の業績について『西洋紀聞』や『采覧異言』（教 p.142）などの著作を通じて理解させる。知技

まとめ
４代家綱の代になると，改易や転封を繰り返し，牢人を増加させ社会不安を招いた結果となった政治を改め，儒学を奨励し，封建的秩序を理論づけ，幕府支配体制の安定を図った。

Point 3
単元の「探究しよう」に則して導入・展開・まとめ
までの授業構成を1ページで簡潔に提示

指導をより豊かにする充実のコンテンツ

第３章　近世の国家・社会の展開と画期／第１節　幕藩体制の成立と近世の社会　215

図１　**江戸城の５層の天守**　江戸城は３代将軍家光の時にほぼ完成した。総構は内郭と外郭とからなる。内郭は最内郭（内城）の本丸・二の丸・三の丸・西の丸と中曲輪に相当する吹上郭・北の丸・西の丸などからなり，その規模はほぼ大坂城の全郭にあたる。現在の皇居（本丸・二の丸・西の丸・吹上郭）部分だけでも 115 万㎡ある。外郭は外濠と隅田川および江戸湾に囲まれた部分である。高さ 13.8m の石垣上に 44.8m の５層の天守閣が建ち，３ｍの金の鯱が輝いていたが，明暦の大火で焼失した。本図は国立歴史民俗博物館所蔵の「江戸図屏風」で，左は御府内の左端にあたる目黒・碑文谷・品川から，右端は川越・鴻巣方面までが描かれている。３代将軍家光の事績を記念するような作品である。製作年代は，明暦の大火（1657 年）で江戸城の天守が焼け落ちる以前の 17 世紀中頃と推定されている。

図２　**江戸時代初期の大名の改易数**　大名の改易については，まず関ヶ原の戦いや大坂の陣に加担した家が改易されており，それ以降は大名が後継ぎを決めないうちに死去したために起こる，いわゆる末期養子の禁止による改易がある。これは譜代大名といえども容赦しなかったことがわかる。さらに法令違反による改易がある。また，国替えも多く行われている。江戸時代を通じて国替えがなかったのは，加賀・薩摩・仙台など数藩に過ぎない。

史料　**生類憐みの令**　護持院の僧侶隆光の「後継ぎができないのは，前世で殺生を多くした報いなので，生類を慈しむことが必要。特に綱吉は戌年の生まれなので，犬を大事にしなければならない」という進言が，この法令の動機であるという俗説がある。これは『三王外記』というきわめて信憑性の低い史料の語るところであったが，さらに新井白石が『折たく柴の記』で「罪かうぶれる者，何十万人という数を知らず」としたこともあり，すっかり「悪法」という評価が定着したかにみえた。しかし，こうした見方は否定されてきている。まず，「生類憐みの令」という名の法令は単一では存在しない。1685（貞享２）年に江戸町内に触れられた「将軍の御成り先で，犬猫をつなぐことは無用」に始まる総数 135 に及ぶ法令の総称である。この内訳は，犬関係(33)，馬関係（17），鳥関係（40），その他（45）である。その他には，捨て子，捨て病人関係も含まれている。この政策は，人々，特に武士の「精神構造」を変えようとしただけに，反発も大きかったといえよう。綱吉の後を継いだ家宣は，就任するとすぐに「生類憐みの事は，先代のごとくいよいよ守るべき御旨といえども，（中略）罪の出てくる事有るまじくはからうべし」（『徳川実紀』）というように，法自体の廃止ではなく，取り締まりをしないという形で臨んだ。法の趣旨は継承されたというべきであろう。

図３　**明暦の大火**　1657（明暦３）年に発生した江戸三大火事の一つで，江戸城をはじめ大名屋敷から民家まで江戸の町の 60％が焼け，死者 10 万人を数えたという。その火事の様子を描いたのが本作である。田代幸春の江戸後期，1814（文化 11）年の作品である東京都江戸東京博物館所蔵の「江戸火事図巻」の一部。後世の作ではあるが，大火の中で消防にあたる人々や逃げまどう群衆が見事に描かれている。別名を振り袖火事といい，江戸開府以来の大火であった。正月 18 日，本郷丸山の本妙寺から出火した火は北西の風にあおられて，神田・日本橋・深川にも及んだ。また，翌日には小石川からも出火し，江戸城天守・本丸も焼失する大火となった。同日麹町からも出火し，芝の増上寺が火災に見舞われた。明暦の大火が被害甚大であったのは，火災時に「車長持ち」に荷物を入れて避難しようとした者が多かったために道がふさがれ，人が思うように動くことができなかったり，「車長持ち」に火が移ったりしたためであるとされている。

?の手引き　明暦の大火後に，江戸の町は大きく姿を変えていった。防災を重視した町づくりが始まった。まず，徳川御三家を城外に移し，江戸城周辺にあった大名・旗本屋敷をさらにその外側に移転させ，寺社地は江戸の郊外に移転させた。これによって江戸の市街地は拡大し，より大きな都市として発展した。はからずも大火後の都市改造はその後の江戸の発展につながったことになる。また，各所に火除けのための空き地や広小路を作った。今も上野広小路などの地名が残っている。さらに神田川を拡幅し，大川（現隅田川）に両国橋がかけられた。舟運を利用して再建のための大量の材木買付など経済活動が活発になった。

図４　**吉良邸に乗りこむ元赤穂藩士**　葛飾北斎は，文化期（1804 ～ 18）を中心に「忠臣蔵」の揃物をいくつか描いている。斜め上からの視点で，遠近法を使い，奥行きを感じさせる風景表現の中に『仮名手本忠臣蔵』各段の場面を描き込んでいる。この図は 11 段目にあたる。「仮名手本」とは，手習塾などで用いた，ひらがな 47 文字の習字の手本のこと。47 文字を赤穂四十七士にかけている。また，時代設定を室町時代にし，登場人物の名前もすべて実名を用いず，「仮名」にしたことも意味しているという。初演時は，実際の赤穂事件から 50 年も経っていないので，幕府の目が厳しかった。そして「忠

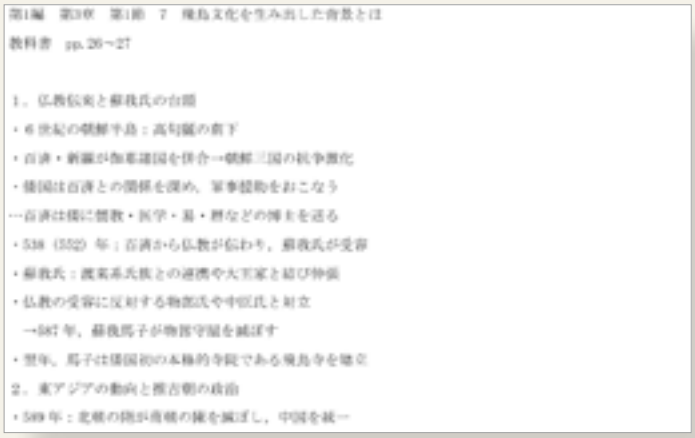
Point4

各単元ごとの図や史資料の解説も充実しています

Point5

より深い授業が展開できるよう，図版に付した問いの手引きや，教科書内容を補足する教材も紹介しています

板書例　Word



第1編　第3章　第1節　7　飛鳥文化を生み出した背景とは

教科書　pp. 26～27

1．仏教伝来と蘇我氏の台頭

・6 世紀の朝鮮半島：高句麗の南下

・百済・新羅が伽耶諸国を併合→朝鮮三国の抗争激化

・倭国は百済との関係を深め，軍事援助をおこなう

…百済は倭に儒教・医学・易・暦などの博士を送る

・538（552）年：百済から仏教が伝わり，蘇我氏が受容

・蘇我氏：渡来系氏族との連携や大王家と結び伸張

・仏教の受容に反対する物部氏や中臣氏と対立

→587 年，蘇我馬子が物部守屋を滅ぼす

・崇峻，馬子は倭国初の本格的寺院である飛鳥寺を建立

2．東アジアの動向と推古朝の政治

・589 年：北朝の隋が南朝の陳を滅ぼし，中国を統一

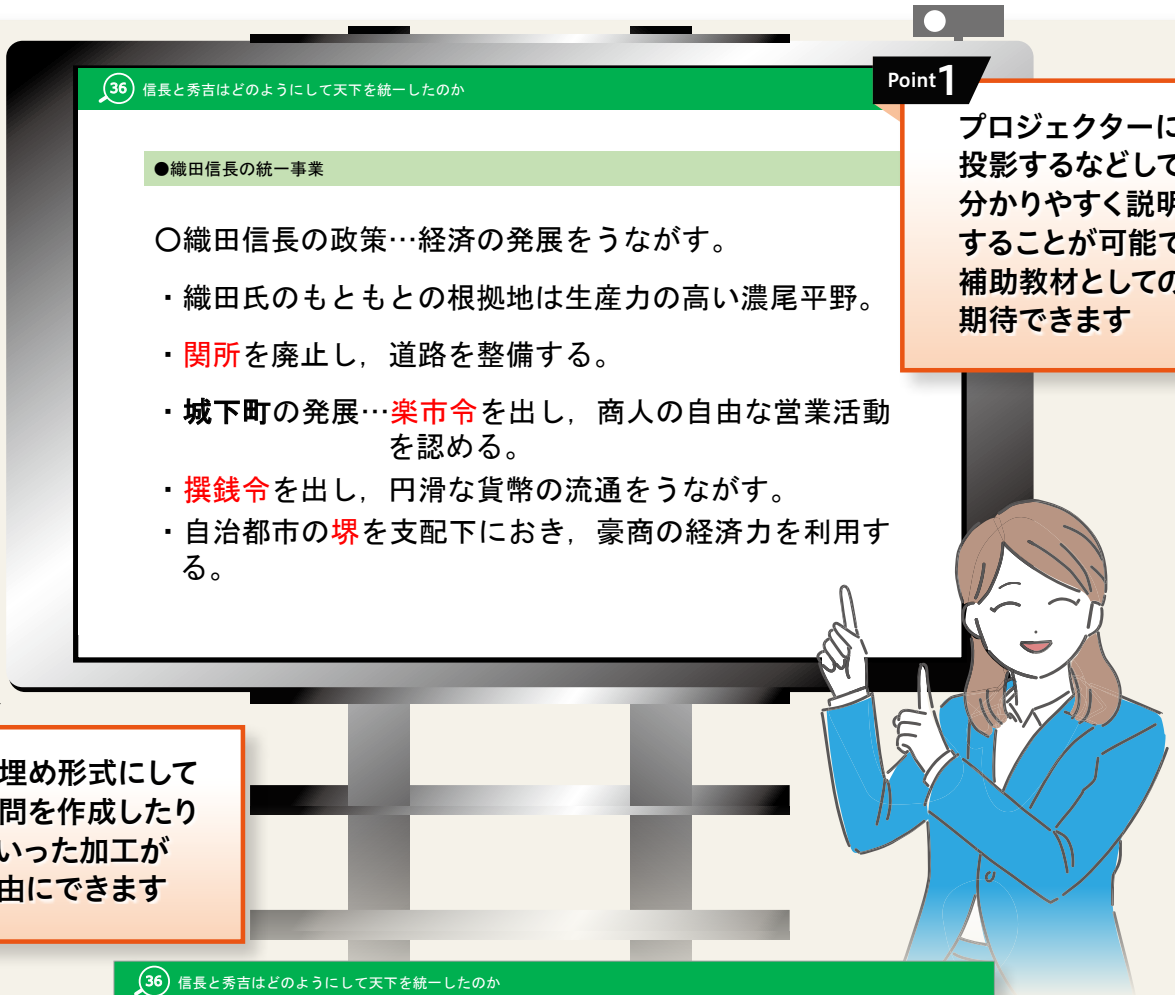
Point6

授業をサポートする実用的な単元ごとの板書例は加工のしやすいwordデータでもご用意しています

デジタル指導書収録コンテンツ

デジタル板書 PowerPoint

- 電子黒板などで利用できるパワーポイントの板書スライドをご用意しました。
- 準拠ワークノートをパワーポイント化，先生方の授業準備の負担を軽減します。

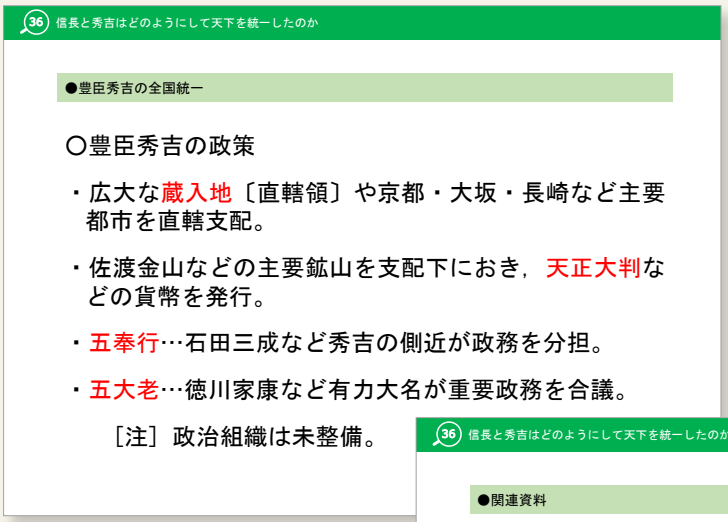


Point 1
プロジェクターに投影するなどして，分かりやすく説明することが可能です。補助教材としての活用が期待できます

Point 2
穴埋め形式にして小問を作成したり，といった加工が自由にできます

Point 3
学習内容に対応した図版もまとめて表示

指導をより豊かにする充実のコンテンツ


36 信長と秀吉はどのようにして天下を統一したのか

●豊臣秀吉の全国統一

○豊臣秀吉の政策

・広大な蔵入地〔直轄領〕や京都・大坂・長崎など主要都市を直轄支配。

・佐渡金山などの主要鉱山を支配下におき，天正大判などの貨幣を発行。

・五奉行…石田三成など秀吉の側近が政務を分担。

・五大老…徳川家康など有力大名が重要政務を合議。

［注］政治組織は未整備。

Point 4

解説もスムーズに，
生徒の理解も
深まりやすい！

36 信長と秀吉はどのようにして天下を統一したのか　関連資料

●関連資料

▼教科書 p. 101：天下統一関連地図

Point 5

地図や史資料を
視覚的におさえる
ことが可能

授業プリント Word

デジタル板書を Word データ化し，重要語句の穴埋め問題にも利用できるプリントアウト用素材もご用意しております

⑤ ヤマト政権はどのように倭国をまとめていたのか

㉑ 明治の思想・教育・学問の特色は何か

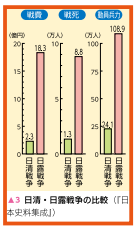
※紙面はイメージです。内容が変更になる可能性があります。

デジタル指導書収録コンテンツ

教科書PDF PDF

◀1 日露戦争要図

◀2「三笠」艦橋の東郷平八郎　日本海海戦前の戦艦三笠の艦橋のようすを描いている。画面中央が東郷平八郎（1847～1934），右から3人目が作戦担当の参謀秋山眞之（1868～1918）。（東城鉦太郎画「三笠艦橋の図」，記念艦三笠蔵）



▲3 日清・日露戦争の比較（『日本史料集成』）

1 日清戦争を「義戦」とした内村鑑三は下関条約の内容をみて，朝鮮の独立確保が日本の進出の口実にすぎないことを知り，以後，「戦争の利益は強盗の利益である」として，戦争の絶対的廃止を説いた。

2 与謝野晶子は雑誌「明星」（1904年9月号）で戦地にいる弟を嘆いて「君死にたまふことなかれ」と題する反戦詩を，大塚楠緒子は雑誌「太陽」（1905年1月号）で戦地の夫を思う妻の心情を詩にした「お百度詣で」を発表し，注目を集めた。

3 日露戦争後，戦没者を英霊としてまつった忠魂碑が，日本各地の小学校の校庭や神社の境内などに多数建設された。

70 日露戦争はどのような戦争だったのか

日露戦争

1904年2月8日，日本軍は韓国の仁川や中国の旅順でロシア艦隊を攻撃し，**日露戦争**がはじまった。日本軍はたちまち朝鮮半島のほとんどを占領すると，韓国・中国の国境をこえて満州に進撃して，後退するロシア軍を追って北上した。

開戦前，国民は，世界最強の陸軍国と思われていたロシアと戦うことに強いおそれと緊張感をもった。しかし，開戦後の連戦連勝の報道によって，緊張感は熱狂へとかわった。動員兵士数は日清戦争にくらべてはるかに多く，約100万人にもおよんだ。こうしたなか，幸徳秋水・堺利彦ら社会主義者は『平民新聞』で反戦論を展開し，キリスト者の**内村鑑三**も非戦論を主張した。また，**与謝野晶子**や大塚楠緒子は，詩などで反戦・非戦の情をうたったが，これらの声は国民の戦勝感によってかき消されがちであった。

日露戦争では，18億3000万円という多額の戦費を必要とした。桂太郎内閣は内債で6億4000万円を募集したが，それでも足らず，外債7億円を同盟国のイギリスや好意的中立を保つアメリカで募集した。また，大幅な増税をおこなったため，消費者物価が高騰した。

日本軍は，多数の死傷者を出しながら旅順を陥落させ，1905年3月に奉天（現在の瀋陽）を占領した。さらに，同年5月，ヨーロッパ方面から回航されてきたロシアのバルチック艦隊を**日本海海戦**で破った。

日比谷焼き打ち事件

日本は兵員・兵器の補給や戦費調達の点で限界に達し，ロシアも国内に革命状況をかかえ，ともに戦争を続けられる状況ではなかった。アメリカ大統領セオドア＝ローズヴェルトの斡旋で，アメリカのポーツマスで日本とロシアの講和会議が開かれ，1905年9月，日本全権小村寿太郎とロシア全権ウィッテの間で講和条約が結ばれた（**ポーツマス条約**）。その内容は，ロシアは(1)日本の韓国に対する指導・保護・監理措置を認める，(2)清朝政府の承認を条件に，旅順・大連の租借権と東清鉄道南部支線（長春－大連・旅順間）を日本へ譲渡する，(3)北緯50度以南の南樺太を日本へ割譲する，(4)沿海州・カムチャツカ半島における日本の漁業権を承認する，というものであった。

184　第4編　近現代の地域・日本と世界

◀4 **ああ増税**　元老・御用商人などは，日露戦争によって行賞を得たが，一般国民は，「増税」という行賞しか得られなかったという風刺。（『東京パック』明治41年5月20日号）

▶5 **日比谷焼き打ち事件**　市街電車を焼き打ちする民衆。

▲6 **愛媛県松山のロシア人捕虜収容所**

増税や物価高に苦しんでいた民衆は，高揚した戦勝感のなか，賠償金の獲得を強く求めていた。しかし，ポーツマス条約で賠償金が得られないことがわかると，東京の日比谷公園で開かれた講和問題同志連合会主催の国民大会に，数万人の民衆がつめかけた。さらに民衆と警官との乱闘をきっかけに東京全市で暴動がおこり，内相官邸や警察署・派出所，キリスト教会などが破壊された（**日比谷焼き打ち事件**）。警察だけでは収拾不能と判断した桂内閣は戒厳令を施行し，軍隊を出動させた。

日露戦争における日本の満州は，インドやベトナムなど，西欧列強の植民地であったアジアなどの諸民族に刺激をあたえ，民族運動が活発化した。しかし，日本自体は，アジアの諸民族の期待を裏切って，新しい帝国主義国としてアジア諸民族にのぞむことになる。

日本の満州進出

1906年，日本は，関東州を統治するために旅順に**関東都督府**を設置し，一般行政と警察を担当させた。関東都督には現役の陸軍大将・中将が任命され，旅順－大連・長春間の鉄道を守備するため，軍隊を指揮下においた。また同年，旅順・長春間の鉄道を経営する機関として，**南満州鉄道株式会社**（**満鉄**）が設立された。この満鉄は，総裁・副総裁が天皇の勅裁をへて政府によって任命される国策会社であった。満鉄は，満州産の大豆などの農産物を輸送するだけでなく，撫順・煙台の石炭採掘業や水運業・電気業，鉄道付属地内の土木・教育・衛生に関する行政もおこなった。

＜地域の視点＞

◆捕虜と松山

明治国家は西欧列強から「文明国」として認知されることを強く意識したため，昭和期と違って，戦争捕虜の扱いが人道的であった。日露戦争では松山収容所を最初として，全国で29か所に開設された。松山収容所は将校の収容率が高いこともあって，捕虜の待遇がよく，例えば将校は決まった曜日・時間に市内を散歩することも可能であった。

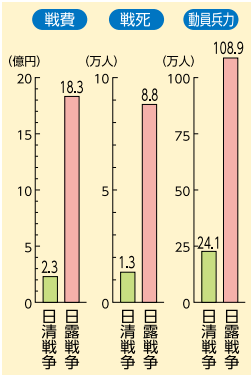
4 ポーツマス条約で，日本はロシアが清から獲得した満州における権益を譲渡されたが，これには，清朝政府の承認という条件があった。そこで日本は，1905年末にその権益の譲渡を清朝政府に認めさせた。ポーツマス条約でロシアから受け継いだ遼東半島の日本の租借地は，万里の長城の東端の山海関以東にあたるために，関東州とよばれるようになった。

探 究しよう

❶日露戦争に対してどのような意見があったのか調べてみよう。
❷身近な地域からどれくらいの兵士が動員されたか調べてみよう。
❸なぜ日比谷焼き打ち事件がおきたのか考えてみよう。

第3章　近現代の地域・日本と世界の画期と構造　185

教科書図版・写真 JPEG



▲3 日清・日露戦争の比較（『日本史料集成』）

Point 1

教科書掲載の図版・写真は
1つずつJPEG形式でも収録
プリントやスライド作成に便利

教科書本文テキスト Word

70　日露戦争はどのような戦争だったのか

日露戦争

1904年2月8日，日本軍は韓国の仁川や中国の旅順でロシア艦隊を攻撃し，日露戦争がはじまった。日本軍はたちまち朝鮮半島のほとんどを占領すると，韓国・中国の国境をこえて満州に進撃して，後退するロシア軍を追って北上した。

開戦前，国民は，世界最強の陸軍国と思われていたロシアと戦うことに強いおそれと緊張感をもった。しかし，開戦後の連戦連勝の報道によって，緊張感は熱狂へとかわった。祝勝会や提灯行列が全国各地でおこなわれた。動員兵士数は日清戦争にくらべてはるかに多く，約100万人にもおよんだ。こうしたなか，幸徳秋水・堺利彦ら社会主義者は『平民新聞』で反戦論を展開し，キリスト者の内村鑑三も非戦論を主張した。また，与謝野晶子や大塚楠緒子は，詩などで反戦・非戦の情をうたったが，これらの声は国民の戦勝感によってかき消されがちであった。

日露戦争では，18億3000万円という多額の戦費を必要とした。桂太郎内閣は内債で6億4000万円を募集したが，それでも足らず，外債7億円を同盟国のイギリスや好意的中立を保つアメリカで募集した。また，大幅な増税をおこなったため，消費者物価が高騰した。

日本軍は，多数の死傷者を出しながら旅順を陥落させ，1905年3月に奉天（現在の瀋陽）を占領した。さらに，同年5月，ヨーロッパ方面から回航されてきたロシアのバルチック艦隊を日本海海戦で破った。

日比谷焼き打ち事件

日本は兵員・兵器の補給や戦費調達の点で限界に達し，ロシアも国内に革命状況をかかえ，ともに戦争を続けられる状況ではなかった。アメリカ大統領セオドア＝ローズヴェルトの斡旋で，アメリカのポーツマスで日本とロシアの講和会議が開かれ，1905年9月，日本全権小村寿太郎とロシア全権ウィッテの間で講和条約が結ばれた（ポーツマス条約）。その内容は，ロシアは（1）日本の韓国に対する指導・保護・監理措置を認める，（2）清朝政府の承認を条件に，旅順・大連の租借権と東清鉄道南部支線（長春–大連・旅順間）を日本へ譲渡する，（3）北緯50度以南の南樺太を日本へ割譲する，（4）沿海州・カムチャツカ半島における日本の漁業権を承認する，というものであった。

増税や物価高に苦しんでいた民衆は，高揚した戦勝感のなか，賠償金の獲得を強く求めていた。しかし，ポーツマス条約で賠償金が得られないことがわかると，東京の日比谷公園で開かれた講和問題同志連合会主催の国民大会に，数万人の民衆がつめかけた。さらに民衆と警官との乱闘をきっかけに東京全市で暴動がおこり，内相官邸や警察署・派出所，キリスト教会などが破壊された（日比谷焼き打ち事件）。警察だけでは収拾不能と判断した

指導をより豊かにする充実のコンテンツ

教科書準拠ワークノート Word

第4編　①　54　日本はなぜ開国したのか
教科書　pp.148〜149

アメリカの東アジア進出
・背景…中国貿易の本格化，太平洋での❶_____の活発化。
・アメリカ国内で，日本に対する開港，国交締結の要求が高まる。
・1846年，アメリカ東インド艦隊司令長官❷_____が浦賀に来航し，通商を要求。　→幕府は拒否。
和親条約の締結と日本の開港
○ペリーの来航
・1853年に，アメリカ東インド艦隊司令長官❸_____が黒船（軍艦）4隻を率いて浦賀に来航し，開国を要求。
○幕府の対応
・老中❹_____は大統領❺_____の国書を受理。
・幕府は❻_____に事態を報告し，広く諸大名や幕臣に意見を求める。
→以後，朝廷や有力大名の幕政介入を招くことになる。
・江戸湾の防衛を強化。　例 品川❼_____の建設
○❽_____…1854年に幕府がペリーと締結する。
(1)❾_____・❿_____の開港と薪水・食糧・石炭の供給。
(2)漂流民の救助。
(3)アメリカに対し一方的な⓫_____をあたえる。
(4)下田に⓬_____の駐在を認める。
○⓭_____
…1854年に幕府がロシアの⓮_____と締結する。千島列島の得撫島以北をロシア領，⓯以南を日本領とし，⓰_____は日露両国人の雑居地とする。
修好通商条約の締結とその内容
○アメリカによる通商条約締結要求…アメリカ駐日総領事⓱_____が中心。
・第2次アヘン戦争（アロー戦争）の結果，清が欧米と不平等条約を結んだことを利用し，幕府に対し平和的な通商条約締結を強く要求。
・老中⓲_____は反対派をおさえるために，条約締結の天皇の許可（＝⓳_____）を得ようとしたが，⓴_____に拒否される。
・㉑_____…1858年，大老㉒_____は勅許を得ないまま締結。日本に不利な㉓_____。
(1)神奈川・長崎・箱館・新潟・兵庫の開港と自由貿易。
(2)開港場に外国人の㉔_____を設置。
(3)江戸・大坂の開市。
(4)協定関税制。…日本には㉕_____がない。

Point 1

レイアウトを単純化した構成にしていますので，自由に加工しやすくなっています

同にわたって総理大臣を務め，さらに⑬政党も組織した。しかし⑭1909年，韓国の義兵運動の指導者安重根によって射殺された。
・（　c　）にあてはまる人名を答えよ。
・⑫によって政府から追放された人物で，立憲改進党を結成し，のちに2回にわたって総理大臣を務めたのは誰か。
・⑬について，（c）が日本の憲法の模範としたのはどこの国のものか。
・⑭について，大日本帝国憲法に規定された帝国議会を二つ答えよ。
・⑮について，1900年に結成された（c）を総裁とする政党は何か。
・⑯に関連して，翌年の1910年に日本が韓国に対しておこなったことを簡潔に述べよ。
確 認 ❷　文章を読んで，各問いに答えよう。
日本は①朝鮮国内で発生した②壬午軍乱・甲申事変などを通じて，③朝鮮の支配権をめぐって清国と対立を深めた。④日本はこの間，憲法を制定し議会制度を整えるなど，近代的な国家体制の確立に成功し，1894年に朝鮮半島で発生した（　⑤　）を最終的なきっかけにして，ついに⑥日清戦争が勃発した。翌年，国際社会の予想に反して日本の圧倒的勝利で終戦をむかえ，日清間で⑦下関条約が調印された。その後⑧三国干渉は受け入れたものの，⑨日本はアジアで唯一植民地をもつ国となった。
・①について，1876年に日本が朝鮮と締結した不平等条約を何というか。
・②壬午軍乱でクーデタをおこした国王の父は誰か，称号で答えよ。
・③に関連して，1885年に日清間で締結された天津条約の内容を説明せよ。
・④に関連して，この頃に次の主張した人物は誰か。またこの主張を漢字3字で何というか。
「支那朝鮮に接するの法も隣国なるが故にとて特別の会釈に及ばず，正に西洋人がこれに接するの風に従て処分すべきのみ」
・（　⑤　）にあてはまる語句を漢字6字で答えよ。
・⑥日清戦争の直前に日本がイギリスと締結したもので，法権の回復を実現した条約を何というか。
・⑦下関条約の清国全権は誰か。
・⑧三国干渉とは何か，簡潔に説明せよ。
・⑨について，日本が清国から割譲された植民地を統治するために，1896年に台北に設置された機関は何か。
新興国の日本に敗北した清国は，その弱体化ぶりが暴露された。その結果，⑩ヨーロッパ各国は競って清国に権益を拡大した。なかでも⑪ロシアは清国東北部の満州に勢力を拡大し，さらにその勢いは⑫朝鮮半島にもおよび，⑬日本との対立を深めた。
1904年2月，ついに⑭日露戦争が勃発した。⑮日本軍は満州を舞台とした陸上での戦いを辛うじて有利に進め，翌年5月には⑯バルチック艦隊を撃破し，6月には（　⑰　）大統領ローズヴェルトの仲介で，アメリカの（　⑱　）で⑲講和会議が

Point 2

授業や定期試験，小テストでピックアップして使用することも可能

※解答もご用意しています

単元振り返りシート Excel

高等学校 日本史探究　　単元振り返りシート

年	組	番	名前：	月	日
単元名：					
◎単元を貫く問い：					

★ 問いに対して，学習前と学習後に考えたことを具体的に書きましょう。

★ 授業で初めて知ったことや，印象に残ったことを書きましょう。

★わからなかったことや疑問に思ったこと，調べたいことを書きましょう。

★ 単元を振り返り評価しましょう。　A:十分　B：普通　C：不十分
● 内容を理解できた　[A　B　C]
● 内容は興味深かった　[A　B　C]
● 授業に意欲的に取り組めた　[A　B　C]

Point 1

目標に対してできた・できなかったを振り返り，自己分析することで次の目標を設定しやすくなります

Point 2

目的の達成に向けてどういった取り組みをしたのか学びへ向かう姿勢を具体化することで，自己の成長はもちろん，評価基準の資料としても活用できます

デジタル指導書収録コンテンツ

思考ツール Word

Point 1

比較・分類など目的によって選べる多彩な種類のツールがあり，様々なシチュエーションで思考スキルの習得，定着をサポートします

Point 2

これからの学習に求められる「思考力」とは考えるための技術。情報を収集し，整理して考え，発信するその一連のプロセスの視覚化，情報整理に便利なツールを多数ご用意しております

白地図・法令データ Word／JPEG

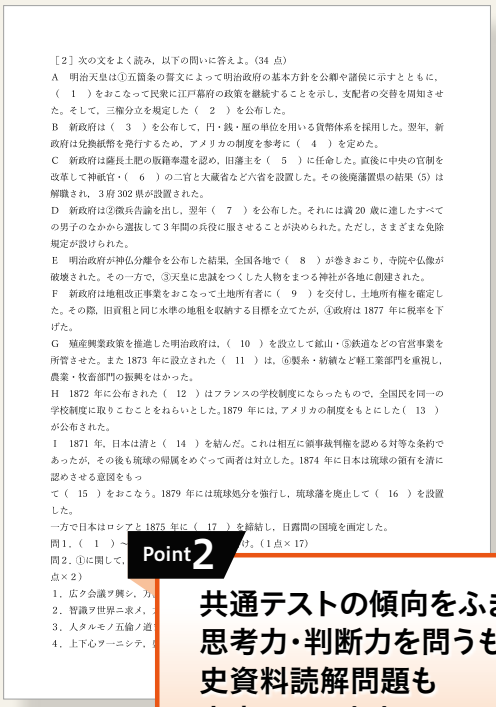
Point 1

授業内での活用だけでなく，試験問題作成の際にもお役立ていただけます

指導をより豊かにする充実のコンテンツ

定期試験問題 Word

- 「指導書 PDF」 P.44 に掲載の「定期試験問題案」の Word データ。
- そのままご使用いただけるのはもちろん，ご自身で問題の編集を行いオリジナルの問題を作成することもできます。



［2］次の文をよく読み，以下の問いに答えよ。(34 点)

A　明治天皇は①五箇条の誓文によって明治政府の基本方針を公卿や諸侯に示すとともに，（　1　）をおこなって民衆に江戸幕府の政策を継続することを示し，支配者の交替を周知させた。そして，三権分立を規定した（　2　）を公布した。

B　新政府は（　3　）を公布して，円・銭・厘の単位を用いる貨幣体系を採用した。翌年，新政府は兌換紙幣を発行するため，アメリカの制度を参考に（　4　）を定めた。

C　新政府は薩長土肥の版籍奉還を認め，旧藩主を（　5　）に任命した。直後に中央の官制を改革して神祇官・（　6　）の二官と大蔵省など六省を設置した。その後廃藩置県の結果 (5) は解職され，3 府 302 県が設置された。

D　新政府は②徴兵告諭を出し，翌年（　7　）を公布した。それには満 20 歳に達したすべての男子のなかから選抜して 3 年間の兵役に服させることが決められた。ただし，さまざまな免除規定が設けられた。

E　明治政府が神仏分離令を公布した結果，全国各地で（　8　）が巻きおこり，寺院や仏像が破壊された。その一方で，③天皇に忠誠をつくした人物をまつる神社が各地に創建された。

F　新政府は地租改正事業をおこなって土地所有者に（　9　）を交付し，土地所有権を確定した。その際，旧貢租と同じ水準の地租を収納する目標を立てたが，④政府は 1877 年に税率を下げた。

G　殖産興業政策を推進した明治政府は，（　10　）を設立して鉱山・⑤鉄道などの官営事業を所管させた。また 1873 年に設立された（　11　）は，⑥製糸・紡績など軽工業部門を重視し，農業・牧畜部門の振興をはかった。

H　1872 年に公布された（　12　）はフランスの学校制度にならったもので，全国民を同一の学校制度に取りこむことをねらいとした。1879 年には，アメリカの制度をもとにした（　13　）が公布された。

I　1871 年，日本は清と（　14　）を結んだ。これは相互に領事裁判権を認める対等な条約であったが，その後も琉球の帰属をめぐって両者は対立した。1874 年に日本は琉球の領有を清に認めさせる意図をもって（　15　）をおこなう。1879 年には琉球処分を強行し，琉球藩を廃止して（　16　）を設置した。

一方で日本はロシアと 1875 年に（　17　）を締結し，日露間の国境を画定した。

問 1．（　1　）～（　17　）に適する語を書け。(1 点× 17)

問 2．①に関して，

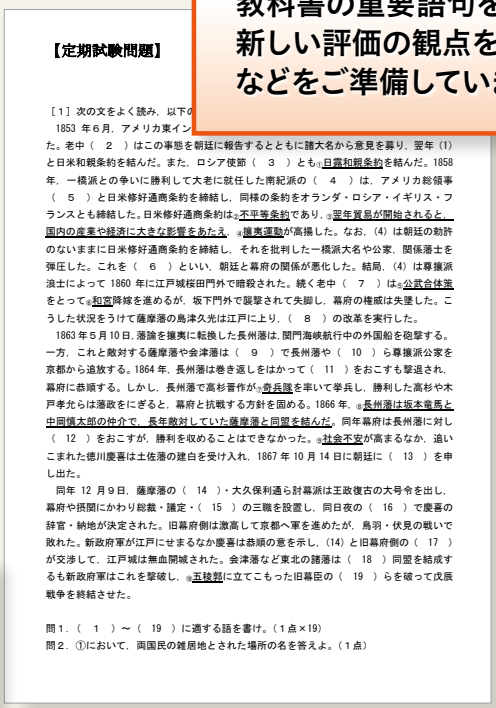
点× 2)

1．広ク会議ヲ興シ，万

2．智識ヲ世界ニ求メ，

3．人タルモノ五倫ノ道

4．上下心ヲ一ニシテ，



【定期試験問題】

［1］次の文をよく読み，以下の

1853 年 6 月，アメリカ東イン

た。老中（　2　）はこの事態を朝廷に報告するとともに諸大名から意見を募り，翌年 (1) と日米和親条約を結んだ。また，ロシア使節（　3　）とも①日露和親条約を結んだ。1858 年，一橋派との争いに勝利して大老に就任した南紀派の（　4　）は，アメリカ総領事（　5　）と日米修好通商条約を締結し，同様の条約をオランダ・ロシア・イギリス・フランスとも締結した。日米修好通商条約は②不平等条約であり，③翌年貿易が開始されると，国内の産業や経済に大きな影響をあたえ，④攘夷運動が高揚した。なお，(4) は朝廷の勅許のないままに日米修好通商条約を締結し，それを批判した一橋派大名や公家，関係藩士を弾圧した。これを（　6　）といい，朝廷と幕府の関係が悪化した。結局，(4) は尊攘派浪士によって 1860 年に江戸城桜田門外で暗殺された。続く老中（　7　）は⑤公武合体策をとって⑥和宮降嫁を進めるが，坂下門外で襲撃されて失脚し，幕府の権威は失墜した。こうした状況をうけて薩摩藩の島津久光は江戸に上り，（　8　）の改革を実行した。

1863 年 5 月 10 日，藩論を攘夷に転換した長州藩は，関門海峡航行中の外国船を砲撃する。一方，これと敵対する薩摩藩や会津藩は（　9　）で長州藩や（　10　）ら尊攘派公家を京都から追放する。1864 年，長州藩は巻き返しをはかって（　11　）をおこすも撃退され，幕府に恭順する。しかし，長州藩で高杉晋作が①奇兵隊を率いて挙兵し，勝利した高杉や木戸孝允らは藩政をにぎると，幕府と抗戦する方針を固める。1866 年，②長州藩は坂本龍馬と中岡慎太郎の仲介で，長年敵対していた薩摩藩と同盟を結んだ。同年幕府は長州藩に対し（　12　）をおこすが，勝利を収めることはできなかった。③社会不安が高まるなか，追いこまれた徳川慶喜は土佐藩の建白を受け入れ，1867 年 10 月 14 日に朝廷に（　13　）を申し出た。

同年 12 月 9 日，薩摩藩の（　14　）・大久保利通ら討幕派は王政復古の大号令を出し，幕府や摂関にかわり総裁・議定・（　15　）の三職を設置し，同日夜の（　16　）で慶喜の辞官・納地が決定された。旧幕府側は激高して京都へ軍を進めたが，鳥羽・伏見の戦いで敗れた。新政府軍が江戸にせまるなか慶喜は恭順の意を示し，(14) と旧幕府側の（　17　）が交渉して，江戸城は無血開城された。会津藩など東北の諸藩は（　18　）同盟を結成するも新政府軍はこれを撃破し，④五稜郭に立てこもった旧幕臣の（　19　）らを破って戊辰戦争を終結させた。

問 1．（　1　）～（　19　）に適する語を書け。(1 点× 19)

問 2．①において，両国民の雑居地とされた場所の名を答えよ。(1 点)

Point 1

教科書の重要語句を問う問題から新しい評価の観点をふまえた問題などをご準備しています

Point 2

共通テストの傾向をふまえた思考力・判断力を問うものや史資料読解問題も充実しています

共通テスト・センター試験過去問 Word

- 2015 ～ 2023 年センター試験・共通テスト本試験・追試験
  収録教科：世界史 A・B，日本史 A・B
  2025 年度大学入学共通テスト 試作問題『歴史総合，日本史探究』の word データを収録しています

一問一答問題 Word

- 各編ごとにご用意　小テストや授業補足の予習復習に活用できます

デジタル指導書収録コンテンツ

プリント素材データベース【クラウド版アプリ】

- 教科書単元や生徒個別の指導にあわせて簡単にプリントやテスト問題が作成できる先生方をサポートするクラウド版プリント作成アプリです。
- Web ブラウザからいつでも，どこでもアクセス可能！
- 教科書本文はもちろん，**教科書準拠ワークノートや定期試験問題，大学入学共通テスト・センター試験過去問**などの各種テスト問題を，教科書単元，科目分類，キーワード等で検索し，**Word 形式で出力**できます。また，**オリジナル素材・問題の登録も可能**です。

収録素材一覧

- 教科書本文テキスト
- 教科書図版・写真
- 板書例
- 授業プリント
- 教科書準拠ワークノート
- 定期試験問題
- 一問一答問題
- 共通テスト･センター試験過去問
- 白地図・法令データ

データベースの使用方法について

①http://datebase.shimizushoin.co.jp
よりログイン画面が開きます。

※IDとパスワードは各学校のご担当者様へ個別にお知らせいたします。

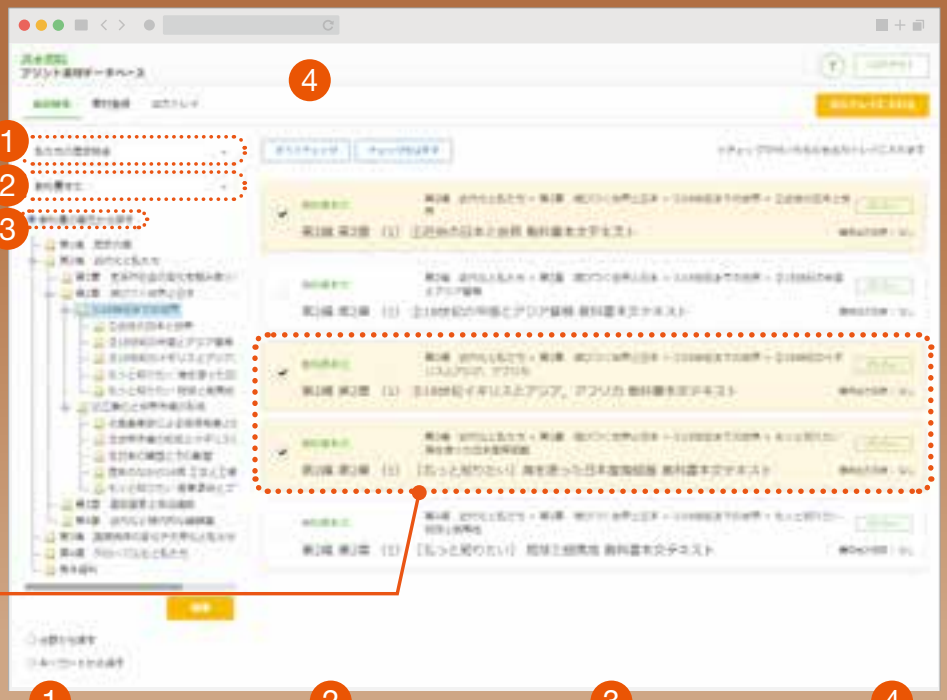
②ご利用方法については，
オンラインヘルプもご用意しています。

ご利用方法に記載されているURLから
データベースにアクセスして
インストール不要で
アプリを利用することができます

※操作にてご不明な点があれば，弊社営業部にてサポートいたしますのでご安心ください。
また，サンプル版もご用意しております。詳細は，お気軽にお問合せください。

指導をより豊かにする充実のコンテンツ

面倒なインストールはもう不要！
クラウド上で使用することが可能になりました。

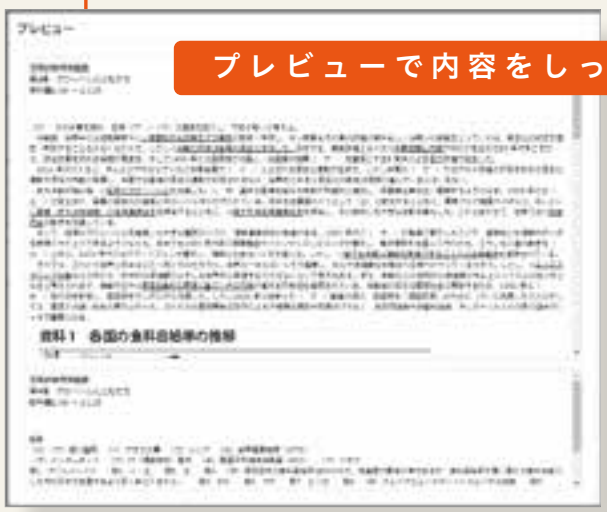


※紙面は「歴史総合」の画面です。
「日本史探究」は現在制作中です

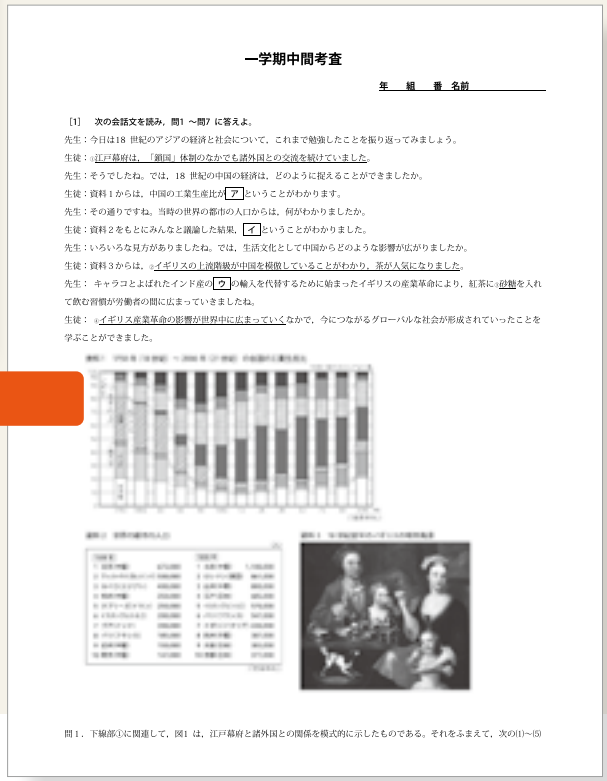
1. 教科書を選ぶ
2. 素材の種類を選ぶ
3. 「単元」・「分野」・「キーワード検索」から1つを選ぶ
4. 検索結果から問題を選ぶ

ワンクリックで出力！

プレビューで内容をしっかり確認



体裁も自由に整えられる！



解答の有無や出力位置はもちろん，
タイトルや名前記入欄なども調整可能。
プリントや試験問題作成の時間を
節約できます

デジタル指導書収録コンテンツ

シンプル版デジタル教科書 PDF

- Adobe Acrobat Reader で利用できる簡単操作の PDF 版デジタル教科書です。
- デジタル指導書に同梱されていますので，改めてご購入いただく必要がありません。

◉ジャンプ機能
目次，さくいん，本文参照ページなどクリックで該当箇所へジャンプします

※画像はイメージです。実際の画面とは異なります

◉解説ポップアップ
脚注などの番号にカーソルをあわせると，該当する注にオレンジ枠が表示されます

その他 Acrobat Reader の機能として下記のようなものが利用できます。
◉読み上げ
◉文字の色反転
◉コメント入力（文字・図形の入力，マーカー等）
◉しおり機能
など

学習者用デジタル教科書

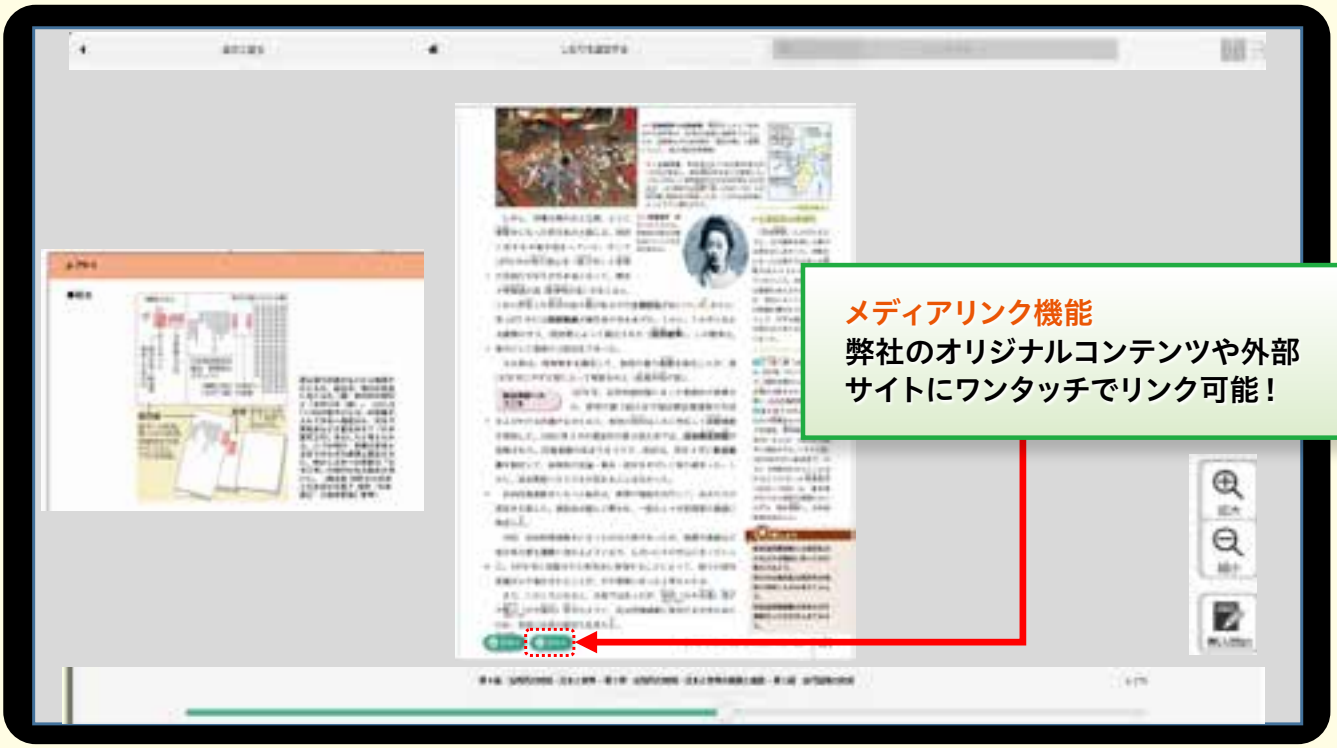
Libry

https://libry.jp/

学習者用デジタル教科書（クラウド配信版）　定価550円（税込）

注：こちらの商品はデジタル指導書未収録（別売り）です。

※画像はイメージです。実際の画面とは異なります



メディアリンク機能
弊社のオリジナルコンテンツや外部サイトにワンタッチでリンク可能！

基本機能ツールのペン・マーカーなどの色や透明度，太さなどの設定を変え，保存したりすることができます

デジタルサポートサイト

弊社のデジタルサポートサイトでは，**観点別評価規準案**や**シラバス**，**ルーブリック評価表等**はもちろんのこと，**デジタル指導書をご購入いただいた先生向けのダウンロードサービス**をおこなう予定です。
各種データをオンラインでいつでもどこでもダウンロード可能。
この他，教科書本誌**未収録のコンテンツ**などをご用意していきます。

「Libly」のご案内

Libry動作環境

対応端末	対応OS	
PC, タブレット, スマホ, Chromebookでご利用いただけます。	対応OSはiOS, Android, Windows, ChromeOSです。	詳しい動作環境はこちらからご確認ください

Libry

間違った問題の類似問題をAIが分析して自動で出題

学習者用デジタル教科書や各種副教材と連携し，多彩な学習ツールで生徒ひとりひとりに合った学習を実現するデジタル教材プラットフォームです。

これまでどおりの学習スタイルで，これまで以上の学習効果を実現

生徒向け学習ツール

Point 1 類似問題推薦機能

- 解いた問題と似ている問題を自動で最大10題推薦！
- 複数書籍横断で問題を推薦。知識の定着にピッタリ！

Point 2 学習履歴機能

- これまで取り組んできた学習履歴が「全て」蓄積
- 「間違えた問題」や「お気に入りの問題」を絞り込むことが可能で復習に便利
- 連携させたノート写真も確認可能

Point 3 問題検索機能

- 持っている全書籍横断で，取り組みたい問題を一括検索
- 「類似問題推薦機能」と組み合わせた活用もオススメ！

Point 4 復習支援機能

- 復習すべき問題を自動で推薦。知識の定着にピッタリ！

Point 5 振り返り機能

- 生徒の学習結果がグラフやカレンダーで「見える化」

Point 6 オフライン機能

- インターネットのない環境でもサクサク利用できる！

オリジナル問題配信機能　ルーブリック評価支援機能

オリジナル問題作成時に、オプションとして「ルーブリック評価」を設定することができます。評価基準の自動プリセットや，学校全体での評価基準の共有など，ルーブリック評価の運用が簡単に行なえます。

具体的な評価規準
評価の負担を軽減できます

※画面はイメージです。内容が変更になる可能性があります。

高等学校
日本史探究

新視点による日本通史と
アジア・世界

執筆者挨拶・紹介

（35・清水・日探 704 B5 判 300 ページ）

ご挨拶

本教科書の最大の特徴は，日本列島で展開された人々の歴史を，東アジアや世界といった国際環境と関連づけ，総合的に解釈する学習の視点を明確に示したことです。そのために，日本の歴史を，一国史という閉ざされた視点ではなく，世界の歴史と関連づけ開かれた視点で考察できるよう，グローバル・ヒストリーとして記述しました。時代と地域を大きく捉えながら，厳選された105のテーマごとに設定された学習課題について，生徒が自らの言葉で解答を表現することのできる教科書です。

伊藤純郎
筑波大学
教授

執筆・編修者

■ 著作者

伊藤　純郎	筑波大学教授
市　　大樹	大阪大学教授
大西　信行	中央大学特任教授
大庭　大輝	筑波大学附属高等学校教諭
佐藤　雄基	立教大学教授
千葉　　功	学習院大学教授
鶴田　　啓	東京大学教授
松丸　明弘	高千穂大学准教授
森　晋一郎	東京都立小山台高等学校教諭
森田　朋子	中部大学教授
山田　康弘	東京都立大学教授
横井　成行	海城中学高等学校教諭

（所属・役職は令和４年度のものです）

シラバス等各種資料

ホームページからダウンロードできます

シラバス案 評価規準案 | ルーブリック 評価表 | 検討の観点 内容特色 | 編修 趣意書

シラバス・評価規準案

令和　年度　「高等学校 日本史探究」(35・清水・日探704)シラバス案

教科	地理歴史科	単位数	3単位	学科		学年／学級	

●学習の目標と評価規準

科目の学習目標	・我が国の歴史の展開に関する諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解し，調査や諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ，まとめる。 ・我が国の歴史の展開に関する事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，歴史的な見方・考え方を働かせて多面的・多角的に考察，構想，表現する。 ・我が国の歴史の展開に関する諸事象について，よりよい国家や社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うともに，我が国や他国の伝統や文化を尊重する。
使用教科書／教材	高等学校地理歴史科　「高等学校 日本史探究」(35・清水・日探704)

科目の評価の観点		
【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
我が国の歴史の展開に関する諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに，調査や諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	我が国の歴史の展開に関する事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し，その解決に向けて構想したり，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりしている。	我が国の歴史の展開に関する諸事象について，国家及び社会の形成者として，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

ルーブリック評価表

		A	B	C	評価
学習内容（目次）	評価の観点	十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する	
第１章 黎明期の日本列島と歴史的環境	知識・技能	黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成，原始社会の特色を十分に理解している。	黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成，原始社会の特色を理解している。	黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成，原始社会の特色を理解していない。	
	思考・判断・表現	自然環境と人間生活との関わり，中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係，狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して，環境への適応と文化の形成について，多面的・多角的に考察し，表現している。	自然環境と人間生活との関わり，中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係，狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して，環境への適応と文化の形成について，表現している。	自然環境と人間生活との関わり，中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係，狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して，環境への適応と文化の形成について，表現できていない。	
	主体的に学習に取り組む態度	黎明期の日本列島と歴史的環境について，見通しを持って学習に取り組み，課題を主体的に追究しようとしている。	黎明期の日本列島と歴史的環境について，見通しを持って学習に取り組み，課題を追究しようとしている。	黎明期の日本列島と歴史的環境について，見通しを持って学習に取り組み，課題を追究しようとしてない。	
第２章 歴史資料と原始・古代の展望	知識・技能	原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に，複数の資料から歴史に関わる情報を収集し，適切に読み取る技能が身についている。	原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に，一つの資料から歴史に関わる情報を収集し，読み取る技能が身についている。	原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に，資料から歴史に関わる情報を収集し，読み取る技能が身についていない。	
	思考・判断・表現	前章の学習を踏まえ，黎明期の日本列島の変化に着目して，原始社会の特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現している。 歴史資料の特性を踏まえ，資料を通して読み取れる情報から，原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し，仮説を表現	前章の学習を踏まえ，黎明期の日本列島の変化に着目して，原始社会の特色について考察し，時代を通観する問いを表現している。 歴史資料の特性を踏まえ，資料を通して読み取れる情報から，原始・古代の特色について考察し，仮説を表現して	前章の学習を踏まえ，黎明期の日本列島の変化に着目して，原始社会の特色について考察し，時代を通観する問いを表現できていない。 歴史資料の特性を踏まえ，資料を通して読み取れる情報から，原始・古代の特色について考察し，仮説を表現できていない。	

検討の観点

書名 （記号・番号）	清水書院　高等学校　日本史探究 （35清水・日探704）
検討の観点	**内容の構成および特色**
内容の程度・選択 （内容の工夫）	● 学習指導要領の内容に沿い，多様な史資料が豊富に掲載され，それらを活用して考察するための問いがテーマごとに設定されており，主体的・対話的で深い学びを促す工夫がなされている。 ● 本文では基礎的事項がおさえられ，豊富な史資料と合わせて，理解しやすく構成されている。 ● コラムが充実し，生徒の興味・関心を喚起しながらより深い学習ができるようになっている。
組織・配列・分量 （全体の構成）	● 学習指導要領に準じて系統的に構成され，各編の内容の配列や分量は適切である。 ● 本文は2ページで1テーマとし，テーマごとに疑問文で学習目標が示されている。また，「探究しよう」として具体的な問いや学習活動が示されている。 ●「もっと知りたい日本史」，「女性の歴史」，「地域の歴史」というコラムが効果的に配置され，扱いやすい構成となっている。 ● 巻末には内閣総理大臣一覧や年表などが掲載されており，探究学習に活用することができる。
表記・表現・指導の工夫 （創意工夫，指導のための教材など）	● オールカラー印刷で，写真やグラフ・概念図などが効果的に豊富に掲載されており，資料を用いた探究活動を円滑に進めることができる。 ● 表記・表現は発達段階に応じて適切に表示され，本文は適度な分量でまとめられている。ふりがなやゴシックも必要かつ十分に配置されている。 ● 詳しく豊富な側注は有益で，難解な史料に口語訳を付した工夫も学習上効果的である。 ● 指導案や図版・事項解説が充実した指導書が用意され，より効果的な指導ができる。
印刷・造本配慮事項	● 活字の大きさは適切で，印刷も鮮明である。造本も堅牢である。 ● 活字にはユニバーサルデザイン・フォントが用いられるとともに，図やデザインはカラーバリアフリーに配慮した配色で，見やすく読み取りやすい紙面になっている。
新しい学習指導要領への対応	● 各時代の歴史的環境から時代を通観する問いを表現し仮説を立てる学習を丁寧に記述している。 ● 問いが豊富に掲載され，探究学習を進める上で有益である。 ● 写真や文字史料，地図，グラフなどの各種資料を用いながら，歴史的な見方・考え方を働かせて，日本史を多面的に考察できる工夫がなされている。 ● 時代の画期を見出したり，構造を把握したりするための問いやページなどが用意され，また現代の日本の課題について探究するページも詳しく記述されている。
総合的所見	● 基礎的・基本的な内容が過不足なく提示され，豊富な写真や図版なども工夫して掲載されているため，生徒の興味・関心を喚起でき，「日本史探究」の学習目標を深めることができる教科書である。 ● 生徒が歴史を学ぶ意義を見出し，意欲的に学習に取り組むことができる教科書である。
判型・その他	● B5判　300ページ（表紙・見返しを除く） ● 写真や図版の枚数：約700 ● 文字史料の点数：約70 ● 索引数：約2900項目

新課程 教科書ラインナップ

高等学校 公共
私たちがひらく未来・社会

現代社会の課題を探究し，人間と社会の在り方や未来について考察します

著　者　中野勝郎／宇南山卓／高橋雅人　他10名
判　型　B5判
頁　数　224頁
教科書番号　公共705
ISBN　978-4-389-60043-3

私たちの 公共
資料から考える現代社会の課題

社会に参画する主体として自立する事やよりよい社会を形成することを学ぶ教科書

著　者　大芝　亮／橋本康弘　他13名
判　型　AB判
頁　数　192頁
教科書番号　公共706
ISBN　978-4-389-60044-0

高等学校 新倫理
Ethics：人間の探究

先哲の思考を辿りながら，自己・他者・人間について考察します

著　者　菅野覚明／熊野純彦／山田忠彰　他10名
判　型　A5判
頁　数　232頁
教科書番号　倫理703
ISBN　978-4-389-60046-4

高等学校 政治・経済
現代をみる力 あしたを拓く力

体系的な記述で政治・経済の基礎を学び，現代日本と国際社会の諸課題を考察する

著　者　中野勝郎／栗原　久／宇南山卓／大西楠テア　他7名
判　型　A5判
頁　数　260頁
教科書番号　政経704
ISBN　978-4-389-60047-1

私たちの 歴史総合
資料から読み解く近現代の日本と世界

これからの時代に必要な歴史の学びを追求した教科書

著　者　原田智仁／伊藤純郎　他16名
判　型　A4判
頁　数　156頁
教科書番号　歴総705
ISBN　978-4-389-60045-7

高等学校 日本史探究
新視点による日本通史とアジア・世界

開かれた視点を育む「グローバル・ヒストリー」としての日本史

著　者　伊藤純郎　他12名
判　型　B5判
頁　数　300頁
教科書番号　日探704
ISBN　978-4-389-60048-8

清水書院WEBサイトは
こちらからアクセス可能▶▶▶

清水書院

https://www.shimizushoin.co.jp/

ウェブ検索ならびにURLからもご覧いただけます

学びと教育の未来をめざして
清水書院

本　　社
〒102-0072　東京都千代田区飯田橋 3-11-6 清水書院サービス第2ビル　TEL(代表):03-5213-7151

大阪支社
〒553-0003　大阪府大阪市福島区福島 2-10-19-408号　TEL:06-6131-6226

札幌営業所
〒065-0022　北海道札幌市東区北22条東3丁目 1-35-211　TEL:011-788-6861

九州出張所
〒818-0023　福岡県筑紫野市大字若江 192-4-B101　TEL:090-1031-7366